

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市深津交流館改築工事

1 現場の状況

工事場所は、現福山市深津交流館敷地及び深津庭球場、深津緑地の一部です。

2 留意事項

- (1) 工事期間中は工事の安全はもとより、周辺地域及び第三者に対して細心の安全対策を講じてください。
- (2) 工事場所付近は保育園が隣接し、周辺道路は通学路となっています。工事車両等は登下校の時間帯を避けて出入りするなど、周辺地域への配慮をお願いします。
- (3) 重機や資材の搬出入に際しては、徐行運転及び退出時は一旦停止をするとともに、タイヤ洗浄及び適宜、道路・水路清掃を行ってください。
- (4) 工事期間中は、敷地周囲の水路等への適切な汚濁防止対策を講じてください。
- (5) 木工事で使用する木材は設計図書の指定はもとより、その他の木材についても可能な限り市産材・県産材を使用するよう努めてください。
- (6) 本工事は、建設リサイクル法の対象工事に該当するため、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。
- (7) 完成通知書は、建築基準法第18条第24項第1号に基づく仮使用認定申請に伴う検査合格後に提出してください。
- (8) 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- (9) 契約後は速やかに施工計画書等を提出し、監督員の承諾を受けてください。

3 別途工事

- ・電気設備工事
- ・給排水衛生設備工事
- ・冷暖房換気設備工事
- ・ガス設備工事
- ・カーテン取付工事

4 工事における「第20回世界バラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界バラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。ついては、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

- (1) 使用するロゴは「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿った指定のデザインとしてください。
- (2) 「第20回世界バラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要です。
- (3) 使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意してください。
- (4) 大会ロゴの標示は任意事項とし、標示する際は、発注課へ連絡してください。
- (5) ロゴ標示期限は2026年（令和8年）3月31日です。
- (6) デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せってください。

5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めてください。

ア 「3つの密を避けるための手引き」の活用

各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示してください。

・ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin

イ 「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用

各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知してください。

・ http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf

※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。

例) 「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等

- (2) 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出してください。
なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とします。
- (3) 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出してください。
- (4) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合があります。
- (5) 疑義が生じた場合は、監督員と協議してください。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

＜共通仮設費＞

○労働者宿舎での密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも、その後の積算における現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とします。

＜現場管理費（業務においては直接経費）＞

○現場従事者のマスク，インカム，シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液，赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも、その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とします。

このほかにも、感染拡大防止のために必要と認められる対策については、設計変更の対象とします。

6 墜落制止用器具の着用について

労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具，胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としてください。

工事名称

福山市深津交流館改築工事

福山市建設局建築部営繕課			2023年 5月		
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長



意 匠				構 造 (特記・標準図)			
A-001	建築工事特記仕様書 No.1	-	-	S-001	構造特記仕様書	-	-
A-002	建築工事特記仕様書 No.2	-	-	S-002	鉄筋工事仕様書No.1	-	-
A-003	建築工事特記仕様書 No.3	-	-	S-003	鉄筋工事仕様書No.2	-	-
A-004	建築工事特記仕様書 No.4	-	-	S-004	木質工事特記仕様書 (1)	-	-
A-005	工事区分表	-	-	S-005	木質工事特記仕様書 (2)	-	-
A-006	付近見取図・配置図・断面図	-	-	S-006	木質工事特記仕様書 (3)	-	-
A-007	敷地求積図・面積表	-	-	S-007	木質工事特記仕様書 (4)	-	-
A-008	仕上表	-	-	S-008	地盤調査資料1	-	-
A-009	平面図	-	-	S-009	地盤調査資料2	-	-
A-010	屋根伏図	-	-	S-010	杭工法特記仕様書	-	-
A-011	立面図	-	-	S-011	地盤改良図	-	-
A-012	断面図	-	-	S-012	基礎伏図、基礎関係リスト	-	-
A-013	断面詳細図1	-	-	S-013	土台伏図	-	-
A-014	断面詳細図2	-	-	S-014	1階柱・壁伏図、金物配置図	-	-
A-015	平面詳細図1	-	-	S-015	陸梁面・梁伏図	-	-
A-016	平面詳細図2	-	-	S-016	小屋伏図	-	-
A-017	展開図1	-	-	S-017	軸組図1	-	-
A-018	展開図2	-	-	S-018	軸組図2	-	-
A-019	展開図3	-	-	S-019	軸組図3	-	-
A-020	展開図4	-	-	S-020	軸組図4	-	-
A-021	展開図5	-	-	-	-	-	-
A-022	天井伏図	-	-	-	-	-	-
A-023	建具配置図	-	-	-	-	-	-
A-024	建具表1	-	-	-	-	-	-
A-025	建具表2	-	-	-	-	-	-
A-026	部分詳細図1	-	-	-	-	-	-
A-027	部分詳細図2	-	-	-	-	-	-
A-028	部分詳細図3	-	-	-	-	-	-
A-029	家具詳細図1	-	-	-	-	-	-
A-030	家具詳細図2	-	-	-	-	-	-
A-031	建具詳細図	-	-	-	-	-	-
A-032	外構平面図	-	-	-	-	-	-
A-033	外構詳細図1	-	-	-	-	-	-
A-034	外構詳細図2	-	-	-	-	-	-
A-035	室面積計算表	-	-	-	-	-	-
A-036	法検討表	-	-	-	-	-	-
A-037	既存配置図	-	-	-	-	-	-
A-038	解体駐輪場図	-	-	-	-	-	-
A-039	解体倉庫図	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-



福山市建築工事特記仕様書

I 工事概要
1. 工事名称
2. 工事場所
3. 用途地域
4. 防火地域
5. 工事種別
6. 敷地面積
7. 建物概要
8. 別途工事

II 建築工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様

10 発生材の処理
11 建築材料等
12 特別な材料の工法
13 化学物質の濃度測定
14 アスベスト含有成形板の処理等

15 工事及び完成写真
16 完成時の提出図書

17 一般共通事項
18 監理(主任)技術者
19 工事実績情報の登録
20 別契約の関連工事との調整等
21 施工管理
22 電気保安技術者
23 施工条件

17 保証書
18 施工図及び施工計画書
19 工事現場仮囲い
20 監督員事務所
21 受注者事務所等
22 工事用水
23 工事用電力
24 引渡しまでの光熱水費
25 安全対策
26 足場その他
27 現況確認
28 埋戻し及び盛土
29 建設発生土の処理
30 処分先
31 地業工事
32 鉄筋工事
33 コンクリート工事
34 鉄骨工事

35 防犯カメラ設置
36 防犯カメラ設置
37 防犯カメラ設置
38 防犯カメラ設置
39 防犯カメラ設置
40 防犯カメラ設置
41 防犯カメラ設置
42 防犯カメラ設置
43 防犯カメラ設置
44 防犯カメラ設置
45 防犯カメラ設置
46 防犯カメラ設置
47 防犯カメラ設置
48 防犯カメラ設置
49 防犯カメラ設置
50 防犯カメラ設置

51 防犯カメラ設置
52 防犯カメラ設置
53 防犯カメラ設置
54 防犯カメラ設置
55 防犯カメラ設置
56 防犯カメラ設置
57 防犯カメラ設置
58 防犯カメラ設置
59 防犯カメラ設置
60 防犯カメラ設置
61 防犯カメラ設置
62 防犯カメラ設置
63 防犯カメラ設置
64 防犯カメラ設置
65 防犯カメラ設置
66 防犯カメラ設置
67 防犯カメラ設置
68 防犯カメラ設置
69 防犯カメラ設置
70 防犯カメラ設置

記号・略号
(一) 建 具
(二) 材 質
(三) 色 澤
(四) 形状
(五) 寸法

Table with columns for material type (e.g., シーリング用材料, 金属, 樹脂製建具), specifications, and notes. Includes details on resin types like MS-2, PU-2, PS-2 and their applications.

Table detailing construction methods for various materials like タイル張り (tile laying) and セメントモルタル (cement mortar). Includes sections for 接着剤 (adhesive) and 有機質接着剤 (organic adhesive).

Table for 造作用集成材 (prefabricated composite materials) and 造作用単板積層材 (prefabricated single-layer laminated materials). Includes specifications for wood species, thickness, and moisture content.

Table for 防虫処理 (antiseptic treatment) and other construction details. Includes information on insecticide application and material specifications for different parts of the building.

Table for シーリング材の試験 (sealing material testing) and 接着性試験 (adhesion testing). Includes test methods and standards.

Table for 天然石 (natural stone) and 取付け金物 (fasteners). Includes material quality requirements and installation methods.

Table for 伸縮調整目地 (expansion adjustment joints) and 施工後の確認及び試験 (confirmation and testing after construction). Includes joint specifications and inspection procedures.

Table for セラミックタイル張り (ceramic tile laying) and 下地コンクリート素地面 (concrete base surface). Includes tile specifications, installation methods, and base surface preparation.

Table for 製材 (processing) and 造作用針葉樹製材 (processed coniferous wood). Includes material specifications and processing methods.

Table for 広葉樹製材 (broadleaf wood processing) and 製材の日本農林規格 (Japanese Forestry Standards for processing). Includes material specifications and standards.

Table for 広葉樹製材 (broadleaf wood processing) and 製材の日本農林規格 (Japanese Forestry Standards for processing). Includes material specifications and standards.

Table for 接合部 (joints) and 防蟻・防蟻処理 (ant termite/ant termite treatment). Includes joint specifications and treatment methods.

Table for 直交集成材 (cross-grained composite materials) and 合板等 (plywood, etc.). Includes material specifications and installation methods.

Table for 合板等 (plywood, etc.) and 構造用合板 (structural plywood). Includes material specifications and installation methods.

Table for 接合部 (joints) and 防蟻・防蟻処理 (ant termite/ant termite treatment). Includes joint specifications and treatment methods.

Table for 接合部 (joints) and 防蟻・防蟻処理 (ant termite/ant termite treatment). Includes joint specifications and treatment methods.

Table for 防蟻・防蟻処理 (ant termite/ant termite treatment) and 防蟻・防蟻処理 (ant termite/ant termite treatment). Includes treatment specifications and methods.

Table for 網管製との防露巻工法 (wrapping method with mesh pipe for anti-condensation) and other construction details. Includes specifications for anti-condensation measures.

Table for 引抜き耐力の確認試験 (confirmation test for pull-out strength) and other construction details. Includes test methods and standards.

Table for 鉄鋼の垂れどめ (steel drip) and other construction details. Includes specifications for steel drip components.

Table for 軽量鉄骨天井下地 (lightweight steel frame ceiling base) and other construction details. Includes specifications for ceiling base materials.

Table for 軽量鉄骨下地 (lightweight steel frame base) and other construction details. Includes specifications for steel frame base materials.

Main specification table with multiple columns and rows, containing detailed technical requirements for building materials and construction methods.



<p>フロアリング張り (19.5.2~5)</p> <p>単層フローリング (19.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>工 法</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>大 き さ (mm)</th> <th>仕 上 塗 装</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ フローリング 1等</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> <td rowspan="3">・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> </tr> <tr> <td>・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> </tr> <tr> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ 8以上</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> </tr> <tr> <td>・ フローリング ロック 1等</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> </tr> </table> <p>複合フローリング (WPC加工) (19.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>工 法</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ 等</th> <th>防 湿 処 理</th> <th>仕 上 塗 装</th> </tr> <tr> <td>◎ 天然木化粧 複合フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り) ◎ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法</td> <td>◎ 杉</td> <td>※ 図示による</td> <td>◎ 適用する ◎ 適用しない</td> <td>◎ 塗装品 ◎ 無塗装品</td> </tr> </table> <p>◎ 表面材は広島県産材とする。 フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆、接着剤等不使用 (単層フローリングに限る)、ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 (単層フローリングに限る)、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。 ※ 製造所及び製品名 ()</p> <p>接着工法の場合の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート (19.5.5)</p> <p>畳表: 和紙タイプ</p> <p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ◎ D種 (畳表: KT-III) (19.6.2) (表19.6.1) 防虫処理 防虫加工紙を使用する場合は、業事法の承認を受けたものとする。(A、B、C種)</p> <p>敷き (19.6.2)</p> <p>せっこうボード その他ボード 及び合板張り (19.7.2~3)</p> <p>せっこうボード製品 (19.7.2) (表19.7.1~表19.7.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種・規 格</th> <th>施工箇所</th> <th>張 り 方</th> <th>厚 さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎ せっこうボード (JIS A6901) 耐水石膏ボード</td> <td rowspan="2">◎ 壁</td> <td>◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り</td> <td>◎ 9.5 (準不燃) ◎ 12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>◎ 天井</td> <td>◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">◎ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)</td> <td rowspan="2">◎ 天井</td> <td>◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り</td> <td>◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>◎ 天井</td> <td>◎ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード (プリント) (JIS A6901)</td> <td>・ 天井</td> <td>・ 直張り</td> <td>・ 目透し ・ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 吸音穴あきせっこうボード (JIS A6301)</td> <td>・ 天井</td> <td>・ 目透し ・ 突付け</td> <td>・ 9.5 (準不燃) ・ 不燃性原紙裏張り</td> </tr> <tr> <td>◎ ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)</td> <td>◎ 天井</td> <td>◎ 上張り ・ 直張り</td> <td>◎ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> </table> <p>◎ 繊維強化セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>施工箇所</th> <th>張 り 方</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>◎ けい酸カルシウム板</td> <td rowspan="3">◎ 壁 ・ 天井</td> <td>◎ 目透し ・ 突付け</td> <td>◎ 6 (不燃) ◎ 8 (不燃) ◎ 10 (不燃) ◎ 12 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>◎ 普通板 (JIS A5430)</td> <td>◎ 突付けV目地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 化粧ボード (JIS A5430)</td> <td>◎ 目透し (シーリング) ・ 突付け ・ ジョイナ</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ その他ボード</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格 等</th> </tr> <tr> <td>・ 木質系セメント板 (JIS A5404)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>◎ 合板 (19.7.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料</th> <th>樹種名</th> <th>処 理</th> <th>接着の程度、厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>◎ 普通合板</td> <td>ラウン</td> <td>◎ 防虫</td> <td>1 類 ・ 5.5 ◎ 12 ・ 15</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>シナ</td> <td>◎ 防虫</td> <td>類 ・ 4</td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td></td> <td>◎ 防虫</td> <td>類</td> </tr> </table> <p>合板のホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆、非ホルムアルデヒド系接着剤使用 (普通合板及び天然木化粧合板に限る)、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (天然木化粧合板に限る) 並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (特殊加工化粧合板に限る) とする。 合板の張付け ・ A種 ・ B種 (19.7.3) (表19.7.3)</p>	種 類	工 法	樹 種	厚 さ (mm)	大 き さ (mm)	仕 上 塗 装	・ フローリング 1等	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75以上 板長さ400以上	・ 接着工法	※ なら	・ 8以上	板幅75以上 板長さ400以上	・ フローリング ロック 1等	・ 接着工法	※ なら	・	・	・ 塗装品 ・ 無塗装品	種 類	工 法	樹 種	厚 さ 等	防 湿 処 理	仕 上 塗 装	◎ 天然木化粧 複合フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ◎ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	◎ 杉	※ 図示による	◎ 適用する ◎ 適用しない	◎ 塗装品 ◎ 無塗装品	材 種・規 格	施工箇所	張 り 方	厚 さ (mm) 等	◎ せっこうボード (JIS A6901) 耐水石膏ボード	◎ 壁	◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り	◎ 9.5 (準不燃) ◎ 12.5 (不燃)	◎ 天井	◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	◎ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)	◎ 天井	◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り	◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	◎ 天井	◎ 9.5 (準不燃)	・ 化粧せっこうボード (プリント) (JIS A6901)	・ 天井	・ 直張り	・ 目透し ・ 9.5 (準不燃)	・ 吸音穴あきせっこうボード (JIS A6301)	・ 天井	・ 目透し ・ 突付け	・ 9.5 (準不燃) ・ 不燃性原紙裏張り	◎ ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)	◎ 天井	◎ 上張り ・ 直張り	◎ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)	種 類	施工箇所	張 り 方	厚 さ (mm)	◎ けい酸カルシウム板	◎ 壁 ・ 天井	◎ 目透し ・ 突付け	◎ 6 (不燃) ◎ 8 (不燃) ◎ 10 (不燃) ◎ 12 (不燃)	◎ 普通板 (JIS A5430)	◎ 突付けV目地		◎ 化粧ボード (JIS A5430)	◎ 目透し (シーリング) ・ 突付け ・ ジョイナ		種 類	規 格 等	・ 木質系セメント板 (JIS A5404)		・		・		材 料	樹種名	処 理	接着の程度、厚さ (mm) 等	◎ 普通合板	ラウン	◎ 防虫	1 類 ・ 5.5 ◎ 12 ・ 15	・	シナ	◎ 防虫	類 ・ 4	・ 天然木化粧合板		◎ 防虫	類	<p>壁紙張り (19.8.2)</p> <p>断熱材 (19.9.3~4)</p> <p>断熱材打込み工法 (19.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法 ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ 押出法 ポリスチレンフォーム</td> <td>◎ 2種 b ・ 3種 b</td> <td>※ 25 ・ 20</td> <td>スラブ下</td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ フェノールフォーム</td> <td>1種2号</td> <td>30</td> <td>屋根</td> </tr> </table> <p>※ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材補修材 ◎ 断熱材と同材 ・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材</p> <p>断熱材現場発泡工法 (19.9.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>種 別</th> <th>厚 さ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>◎ 吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材</td> <td>※ A種 1 ◎ A種 1H 難燃性</td> <td>◎ 20</td> <td>コンクリート壁</td> </tr> </table> <p>※ 難燃性 ・ 2級 ※ 3級</p> <p>フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材 質</th> <th>寸法・高さ</th> <th>所定荷重</th> <th>耐震性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 表面仕上材 ※ 図示による ・ 帯電防止性能 ・ 漏えい抵抗</p> <p>◎ パーティション (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式種別</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>遮音性能</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>◎ スタッド式</td> <td>※ アルミ ・ スチール</td> <td>化粧鋼板</td> <td>-</td> <td>◎ 不燃 ・</td> </tr> </table> <p>パネルのホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>◎ 天井収納型間仕切壁 (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>操作方法種別</th> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>安全装置</th> <th>遮音性能</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>◎ 電動式</td> <td>アルミ (ダイノックシート貼り)</td> <td>障害物検知装置</td> <td>-</td> <td>◎ 不燃 ・</td> </tr> </table> <p>製造所 (20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材質 (下小口共)</th> <th>脚 部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※ 幅木 ・ 支柱</td> <td>・ 標準 ・ アルミ ・ SUS</td> </tr> </table> <p>金物 ※ 図示による (見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。) パネルのホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>材料の種類 ◎ 図示 (20.2.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>形状・寸法</th> <th>工 法</th> <th>フラットエンド</th> </tr> <tr> <td>・ ステンレス製</td> <td>※ タイヤ入 ※ 35mm</td> <td>※ 接着工法</td> <td>・ 有 ()</td> </tr> <tr> <td>・ アルミ製</td> <td>・ タイヤなし</td> <td>・ 埋込工法</td> <td>・ なし</td> </tr> </table> <p>◎ 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>色</th> <th>暗 線</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 鋼製黒板</td> <td>※ 焼付</td> <td>※ 緑 ・ 黒 ・ なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎ ホワイトボード</td> <td>※ ほうろろ</td> <td>◎ 白 ◎ なし</td> <td>風除室</td> </tr> </table> <p>枠 ◎ 木製 (図示による) ※ アルミ製 形状 ・ 平面 箇所 1 箇所 ◎ 平面 (行事) 1 箇所</p> <p>チョークボックス ・ アルミ製 ビクチャーレール ・ 有 (図示による)</p> <p>◎ 表示 (20.2.11)</p> <p>◎ 衝突防止表示 (図示による) () ◎ 室 名 札 (") ◎ ピク ト グ ラ フ (") ◎ 案 内 板 (") ◎ 視 覚 障 が い 者 案 内 板 () ◎ 市 章 (図示による) () ◎ 車 イ ス マ ー ク (") ◎ 施 設 名 文 字 ・ 切抜文字 ・ ステンレス 文字の大きさ (200 × 200) ◎ 箱文字 ◎ ステンレス</p> <p>ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>※ 横形 (JIS A4801)</th> <th>・ 縦形</th> </tr> <tr> <th>種 類</th> <td>※ ギア式 ・ コード式</td> <td>※ コード方式</td> </tr> <tr> <th>スラットの幅</th> <td>※ 25mm ・ 35mm</td> <td>※ 100 ・ 75</td> </tr> <tr> <th>スラットの材種</th> <td>※ アルミニウム合金</td> <td>※ アルミニウム合金 ・ クロス</td> </tr> <tr> <th>ボックス等の材種</th> <td>※ 鋼製</td> <td>※ アルミ (ヘッドレール)</td> </tr> </table> <p>きれ地の品質等 (製造所) ひだの種類</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300以上 カーテンレール 材 種 ・ ステンレス製 ※ アルミニウム製</p>	材 種	種 別	厚 さ	施工箇所	・ ビーズ法 ポリスチレンフォーム				◎ 押出法 ポリスチレンフォーム	◎ 2種 b ・ 3種 b	※ 25 ・ 20	スラブ下	・ A種硬質ウレタンフォーム				・ 硬質ウレタンフォーム				◎ フェノールフォーム	1種2号	30	屋根	材 種	種 別	厚 さ	施工箇所	◎ 吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材	※ A種 1 ◎ A種 1H 難燃性	◎ 20	コンクリート壁	施工箇所	材 質	寸法・高さ	所定荷重	耐震性能						構造形式種別	構成基材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能	◎ スタッド式	※ アルミ ・ スチール	化粧鋼板	-	◎ 不燃 ・	操作方法種別	パネル表面材・仕上	安全装置	遮音性能	防火性能	◎ 電動式	アルミ (ダイノックシート貼り)	障害物検知装置	-	◎ 不燃 ・	表面材の材質 (下小口共)	脚 部	ドアエッジ	※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木 ・ 支柱	・ 標準 ・ アルミ ・ SUS	材 種	形状・寸法	工 法	フラットエンド	・ ステンレス製	※ タイヤ入 ※ 35mm	※ 接着工法	・ 有 ()	・ アルミ製	・ タイヤなし	・ 埋込工法	・ なし	種 類	色	暗 線	施工箇所	・ 鋼製黒板	※ 焼付	※ 緑 ・ 黒 ・ なし		◎ ホワイトボード	※ ほうろろ	◎ 白 ◎ なし	風除室	形 式	※ 横形 (JIS A4801)	・ 縦形	種 類	※ ギア式 ・ コード式	※ コード方式	スラットの幅	※ 25mm ・ 35mm	※ 100 ・ 75	スラットの材種	※ アルミニウム合金	※ アルミニウム合金 ・ クロス	ボックス等の材種	※ 鋼製	※ アルミ (ヘッドレール)										<p>スクリーン (23.1.3)</p> <p>くつきマット</p> <p>◎ 厨房器具</p> <table border="1"> <tr> <th>器 具 名</th> <th>規 格 ・ 施 工 箇 所 等</th> </tr> <tr> <td>◎ 流し台</td> <td>市販品 図示</td> </tr> <tr> <td>◎ 調理台</td> <td>" 図示</td> </tr> <tr> <td>◎ コントラ</td> <td>" 図示</td> </tr> <tr> <td>◎ ガステーブル</td> <td>" 図示</td> </tr> <tr> <td>◎ つり戸だな</td> <td>" 図示</td> </tr> <tr> <td>◎ 水切だな</td> <td>" 図示</td> </tr> </table> <p>タイプ ・ 天井面付け ・ 壁面付け ◎ 図示 安全荷重 ◎ フック 耐荷重 30kg程度 2個/㎡ 吊下SUS7付 1m 30本</p> <p>◎ ブラインドボックス カーテンボックス</p> <p>◎ 既製品 (図示による)</p> <p>◎ 既製品 (図示による)</p> <p>◎ 塩化ビニル製 厚さ ※ 3mm ・ コンクリート製 (厚さ30mm) ◎ 磁器質タイル製</p> <p>合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>◎ 硬質ポリ塩化ビニル管 (※ VU ◎ VP) (21.2.1) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ・ 遠心力鉄筋コンクリート管 (※外圧管B形) 1種</p> <p>◎ コンクリート現場打ち樹 (21.2.1) 種類 ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/㎡ スラブ ※ 15cm 鉄筋種別 ※ SD295 ・ コンクリート既製樹 ・ 樹脂製樹</p> <p>◎ 埋戻しに用いる材料 (21.2.1) (表3.2.1) (21.2.1) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>◎ グレーチング (材質: スチール 耐荷重: T-20) (21.2.1) ・ マンホール (・ MHA ・ MHB) ・ 鉄板 (t = mm) ・ 樹脂製 ()</p> <p>◎ グレーチング (材質: SUS 耐荷重: T-2、T-20) (21.2.1) ・ 鉄板 (t = mm) ・ 既製コンクリート板 (t = mm)</p> <p>◎ 路床 (22.2.2~5)</p> <p>フィルター層 ※ 適用しない ・ 適用する (厚 mm) 路床安定処理 ※ 適用しない 路床の盛土材料 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (表3.2.1) (22.2.3) 路床の試験 CBR試験 ◎ 行わない ・ 行う (22.2.5) 路床締固め度の試験 ◎ 行わない ・ 行う 現場CBR試験 ◎ 行わない ・ 行う 砂の粒度試験 ◎ 行わない ・ 行う</p> <p>◎ 路盤 (22.3.2~5)</p> <p>路盤の構成 ◎ 車路: 150、歩行者用通路: 150 ・ 図示による (22.3.2) 材料 ・ 砕石クラッシュラン ※ 再生材クラッシュラン (22.3.3) ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ 締固め度の試験 ・ 行わない ※ 行う (22.3.5)</p> <p>◎ アスファルト舗装 (22.4.2~6)</p> <p>舗装厚 車路 ◎ 50 (22.4.2) 歩行者用通路 ・ 30 アスファルト ◎ 再生アスファルト ※ 60~80 ・ 80~100 (22.4.3) ・ ストレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4) 表層 ※ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ ※ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ 切り取り検査 ※ 行う (箇所) ・ 行わない (22.4.6) アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ◎ 行わない</p> <p>◎ コンクリート舗装 (22.5.2~6)</p> <p>舗装厚 車路及び駐車場 ◎ 150 (22.5.2) 歩行者用通路 ・ 70 コンクリート ◎ FC-24 S-8 (22.5.3) ・ 目地材 溶接金網 ◎ 使用する (150□×6φ) ・ 使用しない (22.5.6) コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ◎ 行わない</p> <p>◎ カラー舗装 (22.6.2~6)</p> <p>舗装厚及び種類 (22.6.2) ・ 加熱系カラー舗装 ・ 図示による ・ 50 ・ 常温系カラー舗装 ・ 図示による ・ 切り取り検査 ※ 行う (箇所) ◎ 行わない (22.6.6)</p> <p>◎ 透水性 (22.7.2)</p> <p>舗装の構成及び厚 ・ 図示による (22.7.2) アスファルト舗装 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない (22.7.2) 切り取り検査 ※ 行う (箇所) ・ 行わない</p> <p>◎ ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>インターロッキングブロック舗装 (22.8.2~3) 基層 ・ アスファルト混合物 ・ 50 ・ コンクリート版 ・ 70 クッション材 ※ 砂 ・ 空練りモルタル 種類、形状、厚さ ・ 製造所</p> <p>◎ 区画線</p> <p>路面標示用塗料 ・ 1種 ・ 2種 ※ 3種1号 (22.8.2) 色 ※ 白 塗布幅 ※ 図示 塗布厚さ ※ 1.0</p>	器 具 名	規 格 ・ 施 工 箇 所 等	◎ 流し台	市販品 図示	◎ 調理台	" 図示	◎ コントラ	" 図示	◎ ガステーブル	" 図示	◎ つり戸だな	" 図示	◎ 水切だな	" 図示	<p>◎ 補給地の確認 (23.1.3)</p> <p>◎ 植栽基盤 (23.2.2)</p> <p>有効土層の厚さ (cm) (表23.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">樹 木</th> <th colspan="4">高 木</th> <th rowspan="2">低 木</th> <th rowspan="2">芝、地被類</th> </tr> <tr> <th>12m以上</th> <th>7~12m未満</th> <th>3~7m未満</th> <th>3m未満</th> </tr> <tr> <td>樹 高</td> <td>※ 100</td> <td>※ 80</td> <td>※ 60</td> <td>※ 50</td> <td>※ 20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有 効 土 層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 樹木 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 芝及び地被類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 土壌改良材 ※ バーク堆肥 ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)</p> <p>◎ 支柱材 (23.4.2)</p> <p>支柱材 ※ 杉の焼丸太 ・ 竹 種類 ※ コウライシバ ・ ノシバ</p>	樹 木	高 木				低 木	芝、地被類	12m以上	7~12m未満	3~7m未満	3m未満	樹 高	※ 100	※ 80	※ 60	※ 50	※ 20		有 効 土 層						
種 類	工 法	樹 種	厚 さ (mm)	大 き さ (mm)	仕 上 塗 装																																																																																																																																																																																																																																																																	
・ フローリング 1等	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75以上 板長さ400以上																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・ 接着工法	※ なら	・ 8以上	板幅75以上 板長さ400以上																																																																																																																																																																																																																																																																		
・ フローリング ロック 1等	・ 接着工法	※ なら	・	・	・ 塗装品 ・ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																	
種 類	工 法	樹 種	厚 さ 等	防 湿 処 理	仕 上 塗 装																																																																																																																																																																																																																																																																	
◎ 天然木化粧 複合フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り) ◎ 釘留め工法 (直張り) ・ 接着工法	◎ 杉	※ 図示による	◎ 適用する ◎ 適用しない	◎ 塗装品 ◎ 無塗装品																																																																																																																																																																																																																																																																	
材 種・規 格	施工箇所	張 り 方	厚 さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ せっこうボード (JIS A6901) 耐水石膏ボード	◎ 壁	◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り	◎ 9.5 (準不燃) ◎ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
		◎ 天井	◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)	◎ 天井	◎ 下張り ・ 上張り ・ 直張り	◎ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
		◎ 天井	◎ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 化粧せっこうボード (プリント) (JIS A6901)	・ 天井	・ 直張り	・ 目透し ・ 9.5 (準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 吸音穴あきせっこうボード (JIS A6301)	・ 天井	・ 目透し ・ 突付け	・ 9.5 (準不燃) ・ 不燃性原紙裏張り																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)	◎ 天井	◎ 上張り ・ 直張り	◎ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 類	施工箇所	張 り 方	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ けい酸カルシウム板	◎ 壁 ・ 天井	◎ 目透し ・ 突付け	◎ 6 (不燃) ◎ 8 (不燃) ◎ 10 (不燃) ◎ 12 (不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ 普通板 (JIS A5430)		◎ 突付けV目地																																																																																																																																																																																																																																																																				
◎ 化粧ボード (JIS A5430)		◎ 目透し (シーリング) ・ 突付け ・ ジョイナ																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	規 格 等																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 木質系セメント板 (JIS A5404)																																																																																																																																																																																																																																																																						
・																																																																																																																																																																																																																																																																						
・																																																																																																																																																																																																																																																																						
材 料	樹種名	処 理	接着の程度、厚さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ 普通合板	ラウン	◎ 防虫	1 類 ・ 5.5 ◎ 12 ・ 15																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	シナ	◎ 防虫	類 ・ 4																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 天然木化粧合板		◎ 防虫	類																																																																																																																																																																																																																																																																			
材 種	種 別	厚 さ	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ ビーズ法 ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																						
◎ 押出法 ポリスチレンフォーム	◎ 2種 b ・ 3種 b	※ 25 ・ 20	スラブ下																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ A種硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ 硬質ウレタンフォーム																																																																																																																																																																																																																																																																						
◎ フェノールフォーム	1種2号	30	屋根																																																																																																																																																																																																																																																																			
材 種	種 別	厚 さ	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																			
◎ 吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材	※ A種 1 ◎ A種 1H 難燃性	◎ 20	コンクリート壁																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	材 質	寸法・高さ	所定荷重	耐震性能																																																																																																																																																																																																																																																																		
構造形式種別	構成基材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																		
◎ スタッド式	※ アルミ ・ スチール	化粧鋼板	-	◎ 不燃 ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
操作方法種別	パネル表面材・仕上	安全装置	遮音性能	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																		
◎ 電動式	アルミ (ダイノックシート貼り)	障害物検知装置	-	◎ 不燃 ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材の材質 (下小口共)	脚 部	ドアエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																				
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木 ・ 支柱	・ 標準 ・ アルミ ・ SUS																																																																																																																																																																																																																																																																				
材 種	形状・寸法	工 法	フラットエンド																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ ステンレス製	※ タイヤ入 ※ 35mm	※ 接着工法	・ 有 ()																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ アルミ製	・ タイヤなし	・ 埋込工法	・ なし																																																																																																																																																																																																																																																																			
種 類	色	暗 線	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ 鋼製黒板	※ 焼付	※ 緑 ・ 黒 ・ なし																																																																																																																																																																																																																																																																				
◎ ホワイトボード	※ ほうろろ	◎ 白 ◎ なし	風除室																																																																																																																																																																																																																																																																			
形 式	※ 横形 (JIS A4801)	・ 縦形																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	※ ギア式 ・ コード式	※ コード方式																																																																																																																																																																																																																																																																				
スラットの幅	※ 25mm ・ 35mm	※ 100 ・ 75																																																																																																																																																																																																																																																																				
スラットの材種	※ アルミニウム合金	※ アルミニウム合金 ・ クロス																																																																																																																																																																																																																																																																				
ボックス等の材種	※ 鋼製	※ アルミ (ヘッドレール)																																																																																																																																																																																																																																																																				
器 具 名	規 格 ・ 施 工 箇 所 等																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ 流し台	市販品 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ 調理台	" 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ コントラ	" 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ ガステーブル	" 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ つり戸だな	" 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
◎ 水切だな	" 図示																																																																																																																																																																																																																																																																					
樹 木	高 木				低 木	芝、地被類																																																																																																																																																																																																																																																																
	12m以上	7~12m未満	3~7m未満	3m未満																																																																																																																																																																																																																																																																		
樹 高	※ 100	※ 80	※ 60	※ 50	※ 20																																																																																																																																																																																																																																																																	
有 効 土 層																																																																																																																																																																																																																																																																						

原 設 計 株 式 会 社

福山市建設局建築部営繕課

福山市深津交流館改築工事

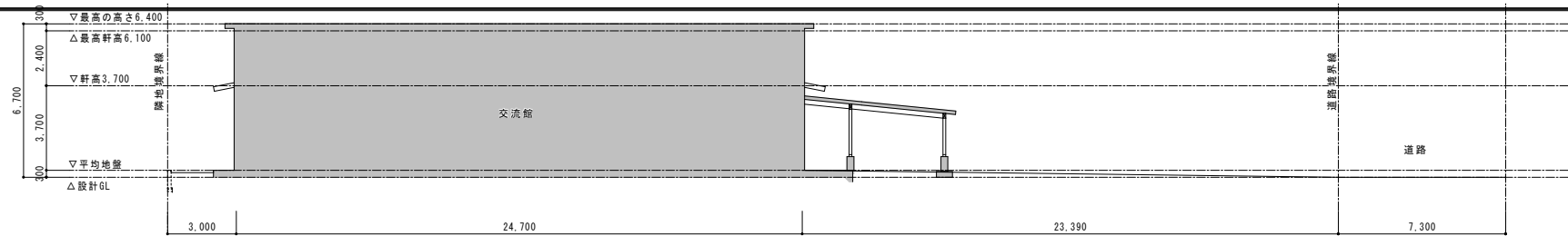
2023年 3月

建築工事 特記仕様書 No. 4

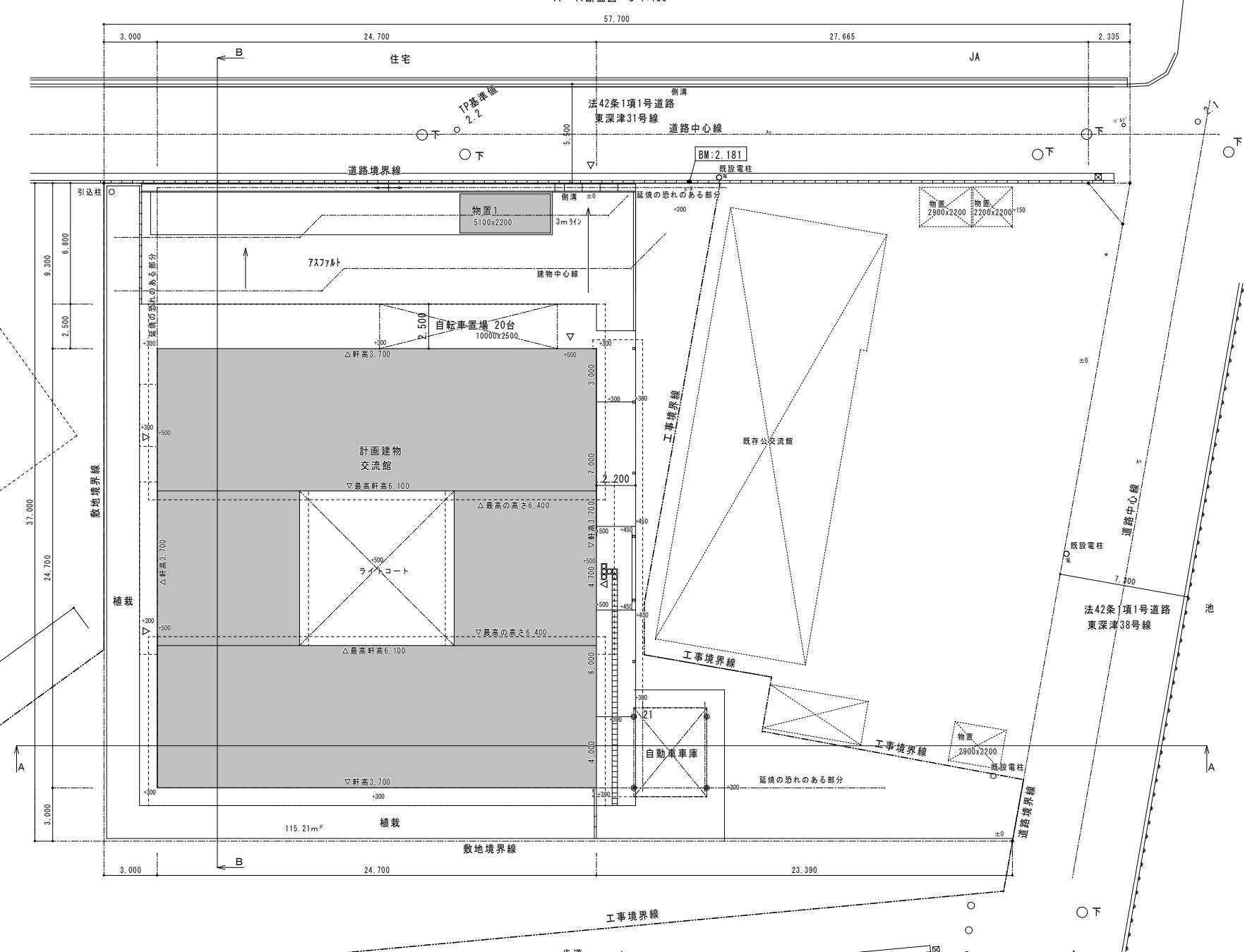
A-004



付近見取図

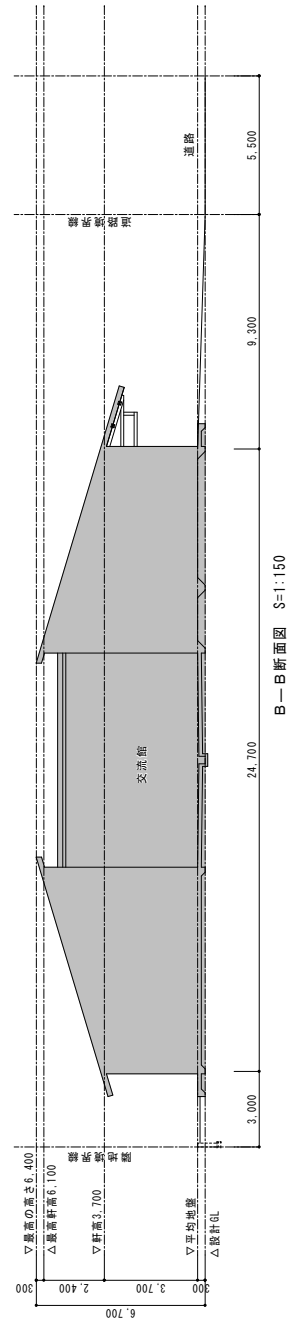


A-A断面図 S=1:150



配置図 S=1:150

※BM(H=2.181)=GL±0(表示レベルはGLからによる)

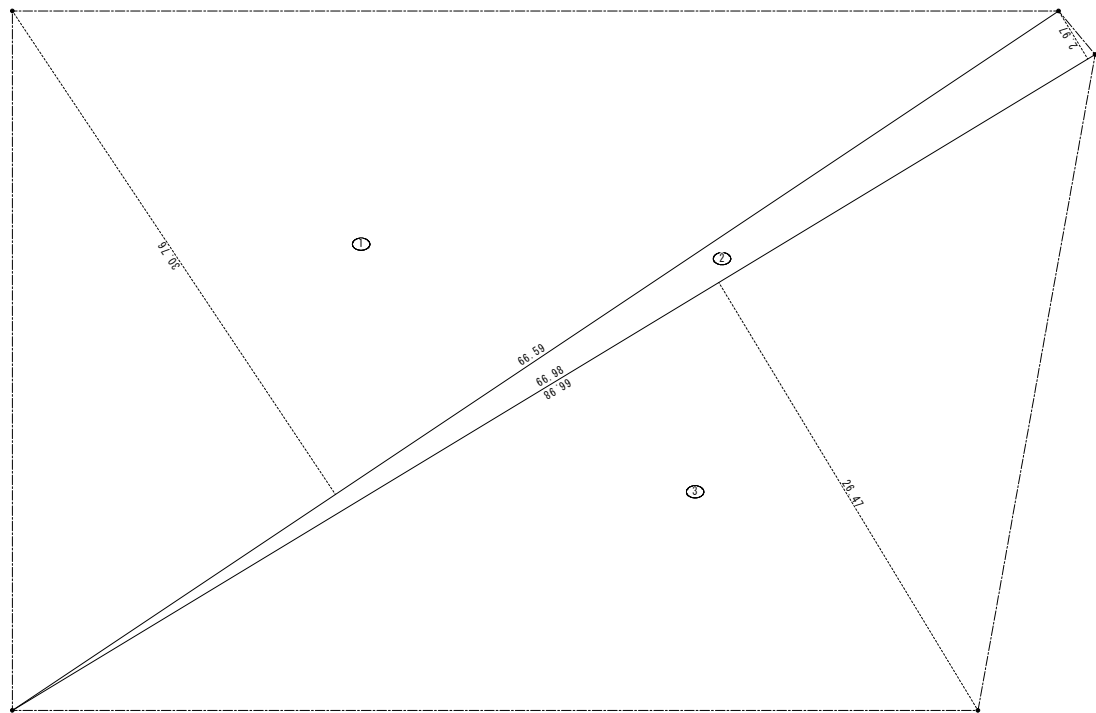


B-B断面図 S=1:150

※仮設ヤードの工事境界線の位置については、監督員及び関係者と協議の上決定すること

訂正	月日	原設計株式会社				担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	区分
		〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所 高屋知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 第9号 FAX 084-922-3214 第293830号					2023年 3月		福山市深津交流館改築工事	建築(A)
									図面名称 付近見取図・配置図・断面図	縮尺 1:150
										図面番号 A-006

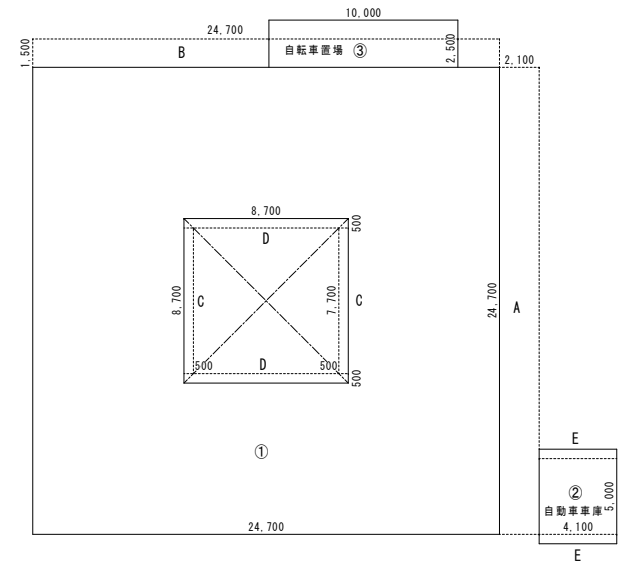
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



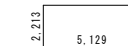
敷地求積図 (計画通知申請敷地面積)

敷地求積表

番号	底辺	高さ	面積	面積
1	66.59	30.76	2,048.3084	1,024.15420
2	66.98	2.97	198.9306	99.46530
3	66.98	26.47	1,772.9606	886.48030
合計				2,010.09980
敷地面積				2,010.09 m ²



交流館求積図



床面積 : 5.129x2.213=11.350
建築面積 : 5.129x2.213=11.350

物置1求積図

床面積計算表

階	番号	床面積算定式				計 (m ²)
1階	①	24.700	x	24.700	=	610.090
		8.700	x	8.700	=	-75.690
					=	534.400
	②	4.100	x	5.000	=	20.500
	③	10.000	x	2.500	=	25.000
					計	579.900
						579.90

延べ床面積

建築面積計算表

階	番号	床面積算定式				計 (m ²)		
交流館	①	+	②		=	554.900		
床面積	A	24.700	x	2.100	=	51.870		
	B	24.700	x	1.500	=	37.050		
	C	7.700	x	0.500	x	2.000	=	7.700
	D	8.700	x	0.500	x	2.000	=	8.700
	E	4.100	x	0.500	x	2.000	=	-4.100
					計	656.120		
						656.12		

建築面積

面積計算表

建物	新築		計 (m ²)
	交流館	物置1	
床面積	579.90	11.35	591.25
建築面積	656.12	11.35	667.47

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

訂正	月日	


原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所在地島根知事登録第22(1)0409号
 TEL 084-922-3213 一級建築士
 FAX 084-922-3214 第293830号 甲斐 宣行

担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課
-	2023年3月	
作図	変更年月	

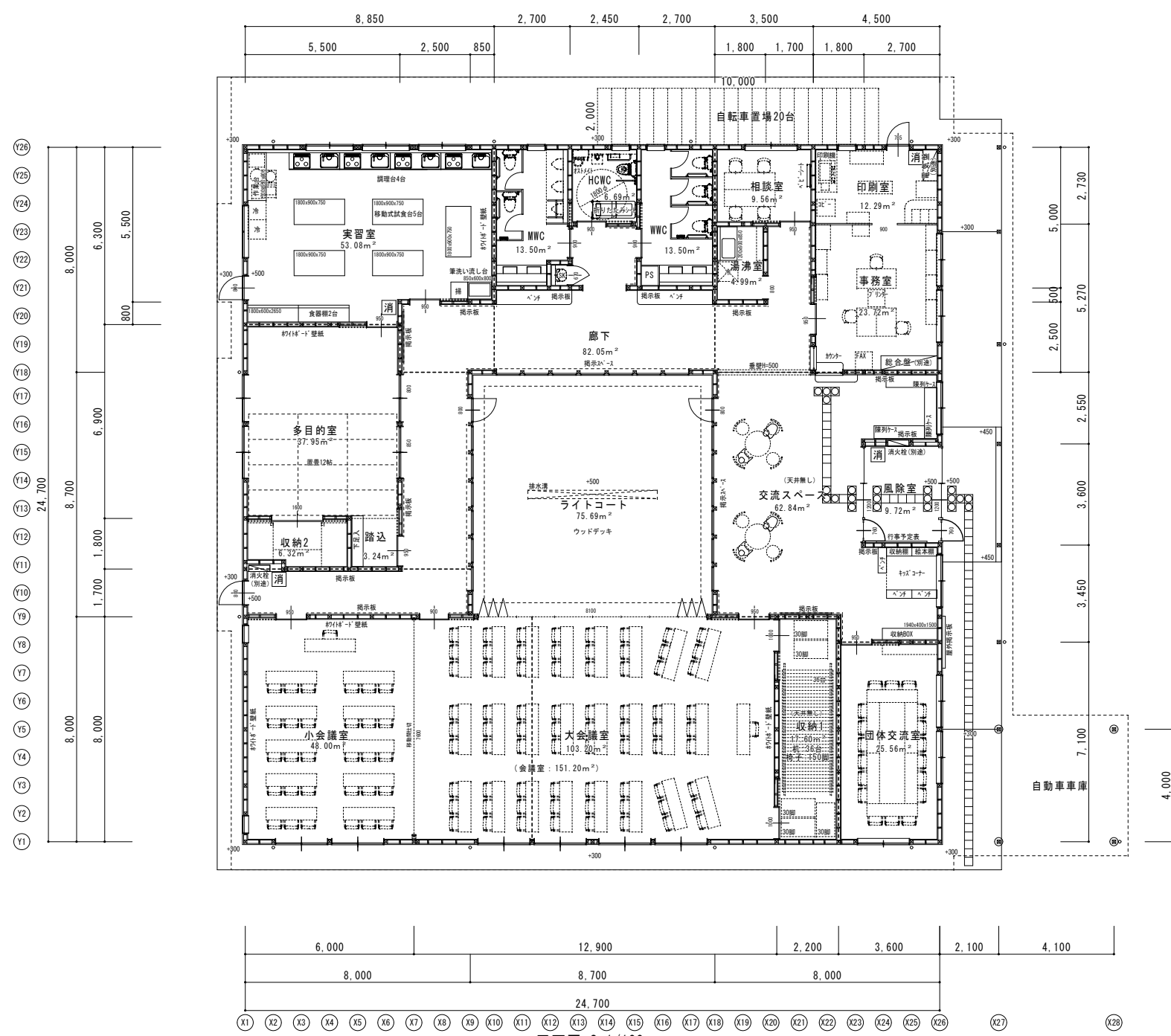
工事名称	福山市深津交流館改築工事
図面名称	敷地求積図・面積表

縮尺	1:200	区分	建築(A)
図面番号	A-007		

□外部 仕上表						
部位	仕様	部位	仕様	構造仕様	□特記事項	
屋根	タテハゼ葺き 塗装溶融55%7&ミ&ム&重鉛合金めっき鋼板 t=0.5 換気押え ゴムアスファルトルーフィング 940 野地板：ラワン合板t=12 通気垂木：45x75@400 断熱材：フェノールフォーム t=30 野地板：構造用合板t=12 垂木45x90@400 破風・鼻隠し：繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板	雨樋	軒 樋：塗装溶融55%7&ミ&ム&重鉛合金めっき鋼板製 大型箱樋 (タニタ：HACO GH12号同等) 壁 樋：塗装溶融55%7&ミ&ム&重鉛合金めっき鋼板製 φ90	屋根：不燃 タテハゼ葺き カラーGL t=0.5 NM-8697 外壁：防火構造 屋外側 金属系サイディング t=15 (PC030BE-0703) 屋内側 石膏ボード t=12.5 (NM-8619) 屋外側 ラスカットt=9+既調合軽量モルタルt=10mm以上 (PC030BE-0002) 屋内側 石膏ボード t=12.5 (NM-8619)	※カーテン、ブラインド、ジュタン類は防火加工品とする。 ※コンロより側方15cm、上方100cm以上可燃物より離す。 ※建築材料等は、全て☆☆☆☆を使用する。 ※防火区画を貫通する配管は令第129条の2の4及び告示第1422号に従い施工する。 ※建築設備の耐震設計は「建築設備耐震設計指針」に従い施工する。 ※断熱仕様 屋根：フェノールフォーム断熱材(1種2号)t=30敷き込み 外壁：GW t=100(24k)充填 床：押出法ポリスチレンフォーム保温板(2種b)t=25敷き込み(廊下・居室) 腰壁：吹付硬質ウレタンフォーム(A種1H)t=20 (Y26通りコンクリート腰壁) ※既造音壁：GW t=100(24k)充填 ※特記なき限りステンレスはSUS304とする。 ※化粧ケイカルはシールジョイントとする。 ※水廻り部床シートは耐水タイプとする。 ※木部見えかかり部は、外部 WP塗 内部NP塗とする。 ※木材は県産材の利用に努める。	
外壁	断熱材入り金属製サイディング(が&ス&同等)t=15通気工法 構造用合板 t=9(壁倍率2.5)(南・西面) 既調合軽量モルタルt=15下地、塗装(ゾ&リ&同等)仕上 構造用合板(ラスカット)t=9(壁倍率2.5)通気工法(東・北面) 外壁に面する壁はグラスウール24k t=100充填+防湿シート 腰壁(東面)：構造用合板(ラスカット)t=9下地、杉板t=18 よろい張り WP塗り(両面) 腰壁(北面)：コンクリート打ち放し(RC-A)+撥水材	床 (エントランス) (ライコート)	磁器質タイル張り(300x300)、一部点字タイル SUSグレーチング コンクリート直仕上の上、 木材：ラフマク再生複合材ウ&ド&デ& (三洋工業：サ&ニ&ナ&同等)	小屋裏隔壁：45分準耐火(桁ゆき12m以内毎に小屋裏まで)告示1358号 石膏ボード t=12.5+9.5 (NM-8619+QM-9828)		
巾木	コンクリート打ち放し(RC-A)+撥水材	備考	屋外掲示板 駐輪場 自動車庫 物置			
軒裏・庇裏	パルプ繊維混入セメント板 t=12 木目調(NM-3010) 通気見切縁 野地板：化粧杉板t=12 WP塗り(下屋)				参考品番 ホワイトボード壁紙：サンゲツ リアテックホワイトボードシート IW-1000 同等 掲示板用壁紙：サンゲツ 掲示板クロス K501 同等 自然塗料塗(NP)：大阪塗料工業 ユーロオイルクリヤー 同等	
□建物概要 主要用途：交流館(図書館その他) 消防法：集会場1項(口) 工事種別：新築 構造種別：木造平家建 その他：						
			用途地域：第一種住居地域(200/60) 防火地域：指定なし その他地域：法22条区域、下水処理区域			

□内部 仕上表																						
階	室名	内装制限	床高 天井高	床				壁				天井				付属物				備考	室名	
				下地	仕上	幅木	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	廻縁	天井 点検口	カーテン BOX	ブラインド BOX	防火 BOX	防音 BOX			防湿 レール
1	風除室	-	±0 -50	3,000	M	磁器質300角タイル 点字ブロック	SUSHL H=75	-	-	W	耐水PB t=12.5 +メラミン不燃化粧板t=3(7&カ&リ&程度)	W	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9	塩ビ							・行事予定表、消火器、消火器ボックス ・自動ドア防護欄	風除室
	交流スペース	-	±0 -10	4,900 ~3,880 3,000	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床タイル張り t=3.0(木目調) (デザイン張り) 一部点字タイル	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗 横張り	W	PB12.5+シナ合板t=5.5+揭示用壁紙貼り PB t=12.5+下地処理の上珪藻土塗り PB t=12.5+杉羽目板t=9 横張り	W	杉羽目板 t=9 NP塗り 梁型、木製ルーバー NP塗り PB t=9.5+RW吸音板張り t=9	木製	○						・受付カウンター ・収集BOX ・絵本棚、収納棚、ベンチ、フロアマット(キ&リ&コ&ナ)	交流スペース
	廊下	-	±0 -10	3,350 2,800 2,500	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床タイル張り t=3.0(木目調)	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗 横張り	W	PB12.5+シナ合板t=5.5+揭示用壁紙貼り PB t=12.5+下地処理の上珪藻土塗り	W	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9 梁型 NP塗り	塩ビ	○						・揭示板、消火器、消火器ボックス ・手摺	廊下
	事務室・印刷室	-	±0 -10	2,650	RC直	セルフレベリング+ タイルカーペット張り t=6.5	ビニル幅木H=75	-	-	W	PB t=12.5+壁紙貼り	W	化粧PB t=9.5	塩ビ	○						・消火器、消火器用フック	事務室・印刷室
	団体交流室	-	±0 -10	2,650	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床タイル張り t=3.0(木目調)	木製H=75	-	-	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗	W	PB t=12.5+壁紙貼り	塩ビ	○						・	団体支援室
	相談室	-	±0 -10	2,500	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床シート張り t=2.0	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗	W	PB t=12.5+壁紙貼り	W	化粧PB t=9.5	塩ビ	○						・ベビーシート	相談室
	多目的室	-	±0 -10	2,650	RC直	セルフレベリング+ 発泡複層ビニル床シート張り t=2.8 軽量畳 t=15	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗	W	PB t=12.5+壁紙貼り PB t=12.5+サ&イ&ト&ト&壁紙(NM-2625)貼り	W	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9	塩ビ	○						・下足入 ・軽量畳(ダイケン：健やかくん健やかおもて同等)	多目的室
	小会議室	-	±0 -150	3,000	RC直	乾式二重床システム(7&リ&7&SDG&同等品)+ WPCフローリング(杉) t=12(大建工業同等)	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗	W	PB t=12.5+壁紙貼り PB t=12.5+サ&イ&ト&ト&壁紙(NM-2625)貼り	W	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9	塩ビ	○						・電動間仕切り	小会議室
	大会議室	-	±0 -150	3,350	RC直	乾式二重床システム(7&リ&7&SDG&同等品)+ WPCフローリング(杉) t=12(大建工業同等)	木製H=75	W	PB t=12.5+杉羽目板t=9 NP塗	W	PB t=12.5+壁紙貼り PB t=12.5+サ&イ&ト&ト&壁紙(NM-2625)貼り	W	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9 梁型、木製ルーバー NP塗り	塩ビ	○						・バトン	大会議室
	実習室	準不燃	±0 -10	2,650	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床シート張り t=2.5(耐汚染・消臭)	ビニル幅木H=75	-	-	W	耐水PB t=12.5+化粧ケイカル板t=6 7&カ&板 t=12+サ&イ&ト&ト&壁紙(NM-2625)貼り	W	PB t=9.5+RW吸音板(NM-8599)張り t=9	塩ビ	○						・調理台、試食台、食器棚、作業台、流し台、掃除具入 ・消火器、消火器ボックス	実習室
	湯沸室	-	±0 -10	2,400	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床タイル張り t=3.0(木目調)	ビニル幅木H=75	-	-	W	耐水PB t=12.5+化粧ケイカル板t=6	W	化粧PB t=9.5	塩ビ							・流し台、吊戸棚	湯沸室
	収納1・2	-	±0 -10	直天 3,000	RC直	セルフレベリング+ 複層ビニル床シート張り t=2.0	-	-	-	W	PB12.5+シナ合板t=5.5 PB t=12.5素地(外壁面)	W	天井無し(収納1) 化粧PB t=9.5	塩ビ	○						・木製枕棚、産布収納納棚(収納2) ・木製梯子(収納1)	収納1・2
	男子便所・PS・掃除	-	±0 -30	2,500	M	複層ビニル床シート張り t=2.0 (耐汚染・消臭)	床材巻上げH=75	-	-	W	耐水PB t=12.5+化粧ケイカル板t=6(7&目地) (面台部：ラワン合板 t=12下地)	W	化粧PB t=9.5	塩ビ	○						・手すり、洗面カウンター、カガミ、ベビーチェア ・汚垂石、掃除具入内フック・棚	男子便所・PS・掃除
	女子便所・多目的便所	-	±0 -30	2,500	M	複層ビニル床シート張り t=2.0 (耐汚染・消臭)	床材巻上げH=75	-	-	W	耐水PB t=12.5+化粧ケイカル板t=6(7&目地) (面台部：ラワン合板 t=12下地)	W	化粧PB t=9.5	塩ビ	○						・手すり、洗面カウンター、カガミ、ベビーチェア ・折りたたみシート(多目的便所)	女子便所・多目的便所

仕上材符号一覧表				塗装符号一覧表				防火材料一覧表				※壁紙は全て不燃とし工事完了時に報告する。									
床	RC直	コンクリート直直し(金ごて)	LGS	軽量鉄骨下地	A防水	アスファルト防水	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	WP	サ&リ&コ&2回塗 同等品以上	不燃材料	繊維強化セメント板(ケイカル板)	NM-8578	調湿機能付けい酸カルシウム板t=6	NM-8579	化粧石膏ボード t=12.5mm(和風天井)	NM-0127				
RC-A	コンクリート打ち放しA種(化粧仕上)	VS	ビニル床シート				CL	クリヤラッカー塗	DP	耐候性塗料塗(3級)		杉不燃羽目板t=15	NM-0917	杉不燃羽目板t=15	NM-0917	耐水せっこうボードt=12.5mm	NM-9639				
RC-B	コンクリート打ち放しB種(塗装仕上)	TC	タイルカーペット				VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗	NP	自然塗料塗		化粧ケイカル板 t=6	NM-8579	杉不燃鋼線、杉ルーバー不燃材	NM-1031	可とう形外装薄付仕上塗材	NM-8572				
RC-C	コンクリート打ち放しC種	PB	せっこうボード				2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗				せっこうボード t=12.5、15mm	NM-8619	グラスウール保温板	NM-8606	化粧石膏ボード t=12.5mm(押入サ&ト&)	NM-0128				
GB	コンクリートブロック	化粧PB	化粧せっこうボード				EP-G	つや合成樹脂エマルジョンペイント塗				化粧せっこうボード t=9.5mm	NM-1864	塗料塗装/不燃材料(下地法定不燃材)	NM-8585	せっこうボード t=9.5mm	QM-9828				
M	モルタル塗	耐水PB	耐水せっこうボード				EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗				強化せっこうボードt=12.5mm以上	NM-8615	仕上塗装/不燃材料(下地法定不燃材)	NM-8572	化粧せっこうボード t=9.5mm	QM-9824				
W	木製	強化PB	強化せっこうボード				UC	ウレタン樹脂ワニス塗				硬質せっこうボードt=9.5mm以上	NM-1908	壁紙(下地・法定不燃材料)	NM-****	耐水せっこうボードt=9.5、12.5mm	QM-9826				
ALC	ALCパネル	RW吸音板	ロックウール吸音板				OS	オイルステイン塗				RW吸音板	NM-8599	※塗装用壁紙共		押入ボード t=9.5mm	QM-0172				
ECP	押出成形セメント板	ケイカル板	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム)タイプ2									メラミン樹脂化粧板t=3	NM-2183	フェノールフォーム保温板	NM-2829	準不燃木材	QM-0255				
訂正	月 日					原設計株式会社				福山市建設局建築部営繕課				工事名称 福山市深津交流館改築工事				区分 建築(A)			
				〒720-0805 福山市御町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214				代表取締役 甲斐 宣行				設計年月 2023年 3月				図面名称 仕上表				縮尺 No scale	図面番号 A-008

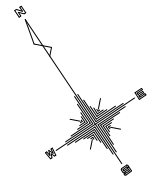


必要諸室 一覧表

諸室名	面積 (㎡)	
大会議室	103.20	151.20
小会議室	48.00	
団体交流室	25.56	
多目的室	41.19	
実習室	53.08	
事務所	23.72	
印刷室	12.29	
湯沸室	4.99	
相談室	9.56	
便所	33.69	
廊下他	182.36	
合計	534.40	

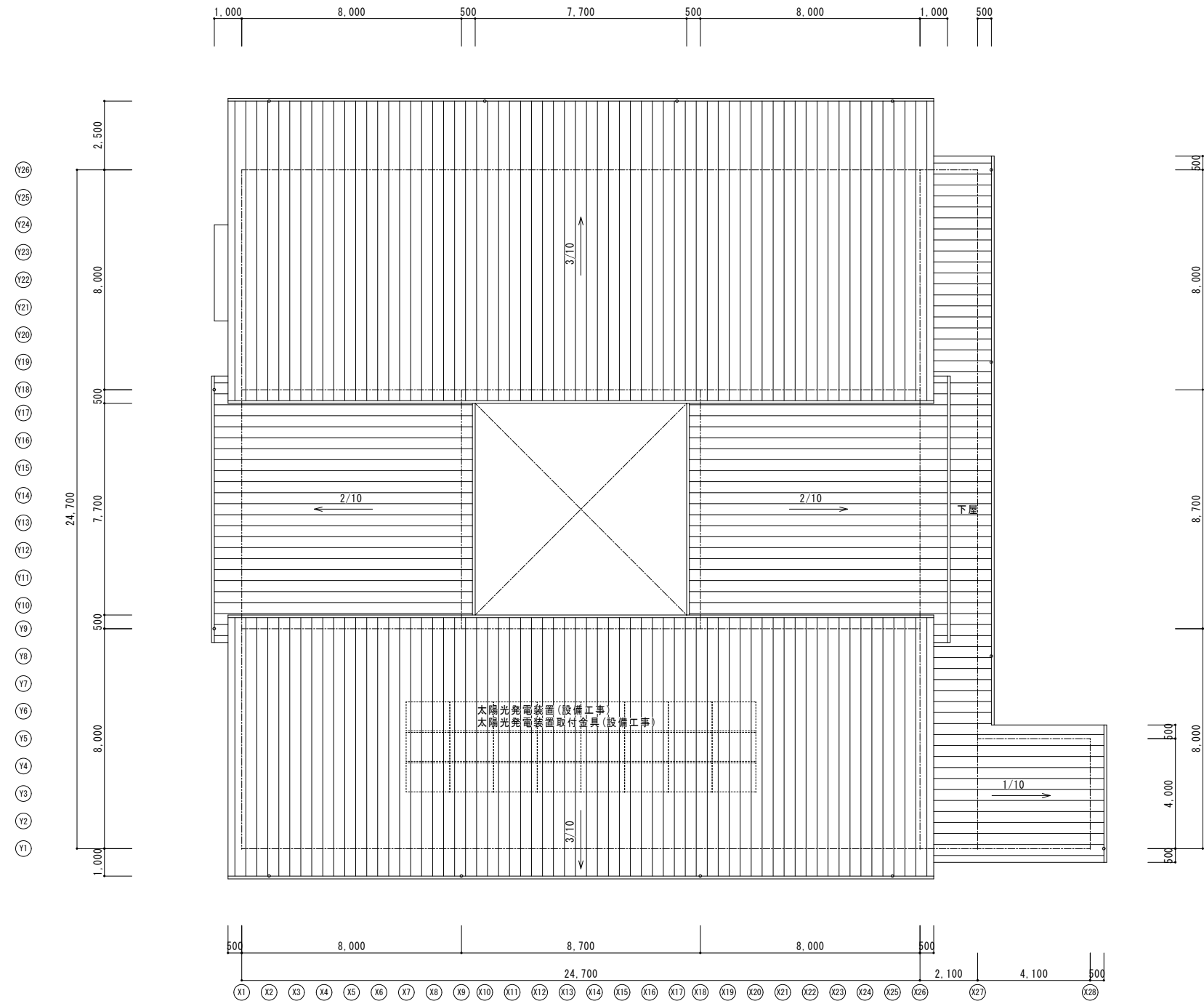
消	消火器 (ABC10型)
- - -	小屋裏隔壁 45分準耐火構造

6.000 12.900 2.200 3.600 2.100 4.100
8.000 8.700 8.000
24.700
平面図 S=1/100
610.09-75.69=534.4m²



訂正	月日	原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	専任設計-一級建築士 第 号 監修設計-一級建築士 第 号	担当 作図	設計年月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築 (A)
			図面名称 平面図	縮尺 1:100	図面番号 A-009			

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



訂正	月日	

原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
 TEL 084-922-3213
 FAX 084-922-3214

一般建築士事務所
 一般建築士 甲斐 宣行
 第293830号

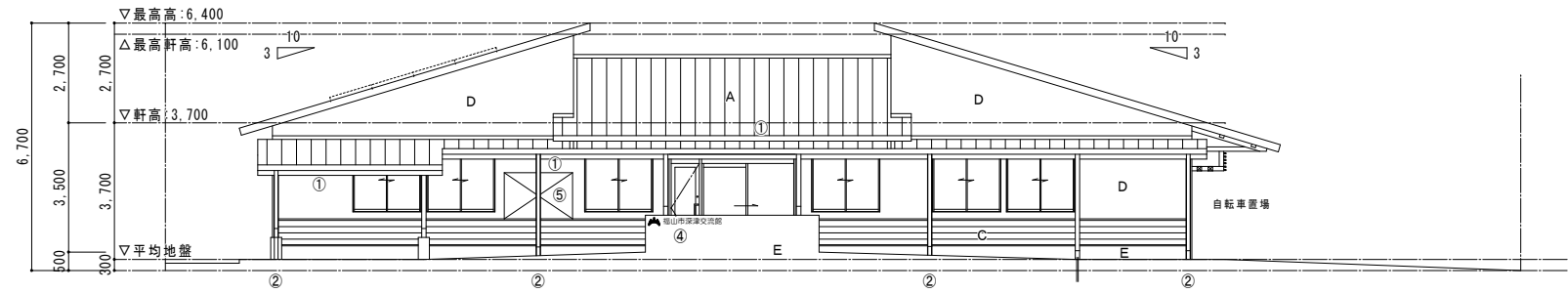
専任設計-一般建築士 第 号	担当
専任設計-一般建築士 第 号	設計年月 2023年 3月
	作図 変更年月

福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事
	図面名称 屋根伏図

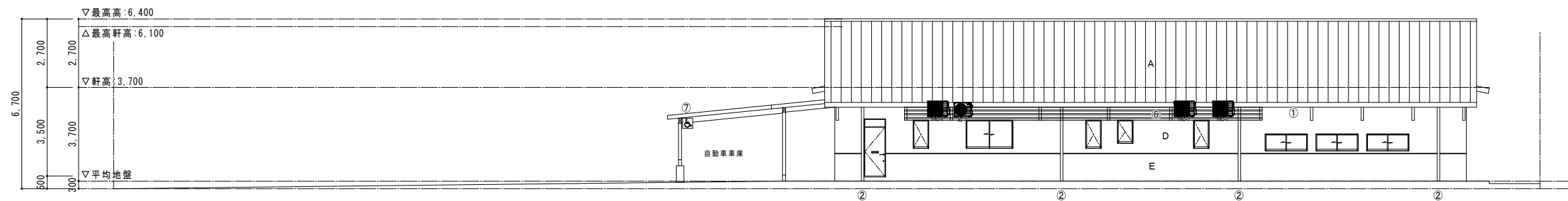
縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	縮尺 1:100	区分 建築(A) 図面番号 A-010
--	-------------	------------------------------

□仕上材凡例

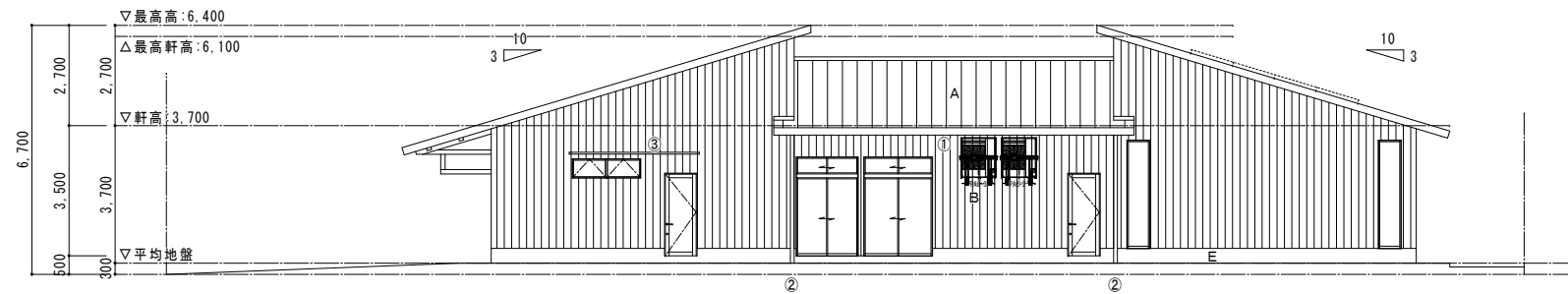
符号	仕上	符号	仕上
A	タテハゼ葺き カラーOL t=0.5	①	軒樋：大型GL箱樋
B	断熱材入り金属製サイディング t=15	②	壁樋：塗装溶融55%7#3=7L-亜鉛合金ハキ鋼板製 φ90
C	杉板 t=18 よろい張り WP塗り(両面)	③	アルミ庇
D	既設合軽量t=15下地、塗壁(ゾリノット同等)仕上	④	館名表示板(SUS箱文字) 市章マーク
E	コンクリート打ち放し素地+撥水材	⑤	屋外掲示板
		⑥	木製I-n'-杉60x30@90:WP塗り
		⑦	駐車場構設400□:アルミ複合板 t=3 JIAZ8210適合品



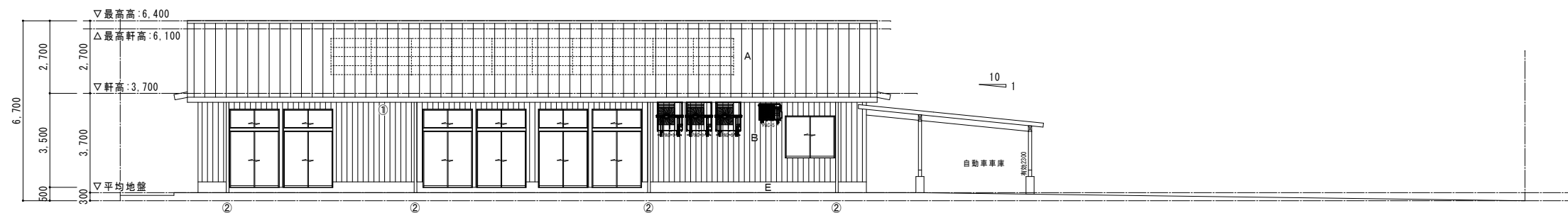
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



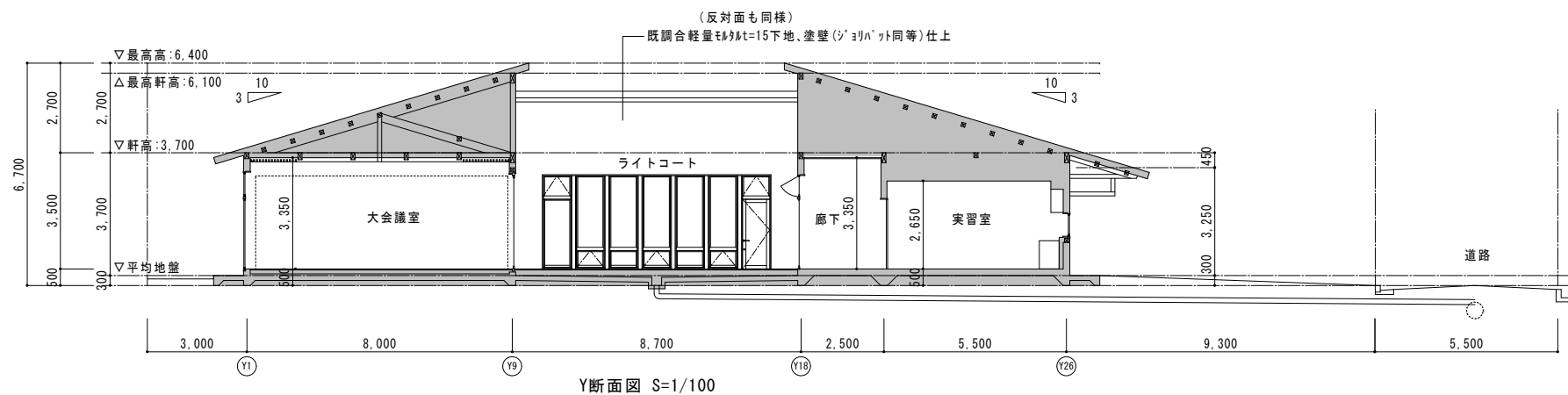
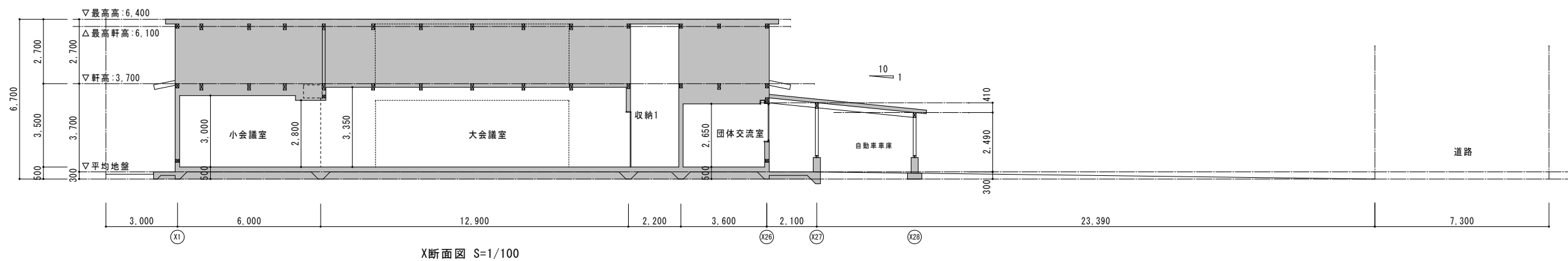
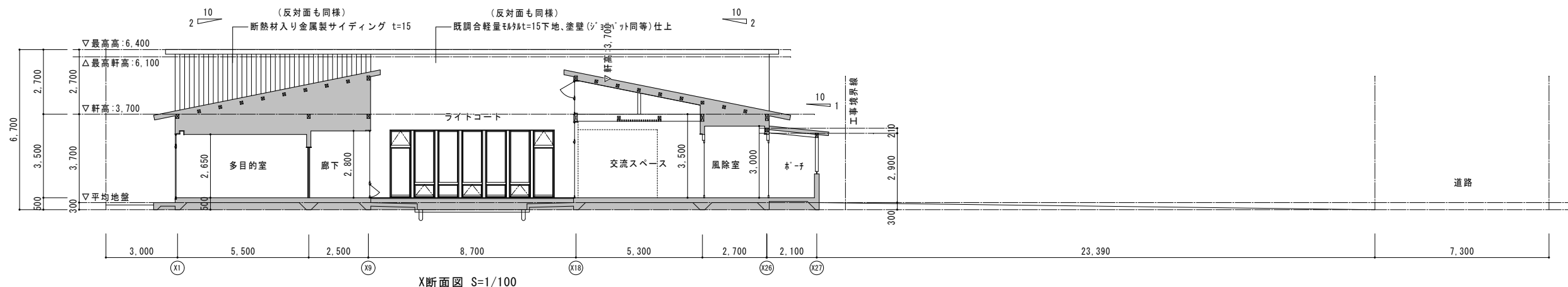
西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所所長 甲斐 宣行 第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 FAX 084-922-3214	担当 設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A) 図面番号 A-011
			図面名称 立面図 縮尺 1:100		



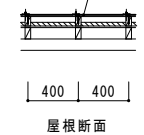
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

訂正	月日	原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号	構造設計-一級建築士 第 号 建築設計-一級建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)
			図面名称 断面図	縮尺 1:100	図面番号 A-012			

小屋裏隔壁
: 45分耐火 (告示1358号)
PB t=12.5+9.5

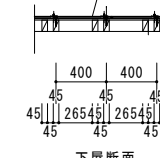
屋根詳細図

屋根
杉板 葺き: 塗装溶融55%7&ミニカム-亜鉛合金メッキ鋼板 t=0.5
(裏面: リンレンフ&ミニカム t=4)
ゴムアスファルトルーフィング 940
野地板: ラワン合板 t=12
通気垂木: 45x75@400
断熱材: フェノールフォーム t=30
野地板: 構造用合板 t=12
垂木: 45x90@400

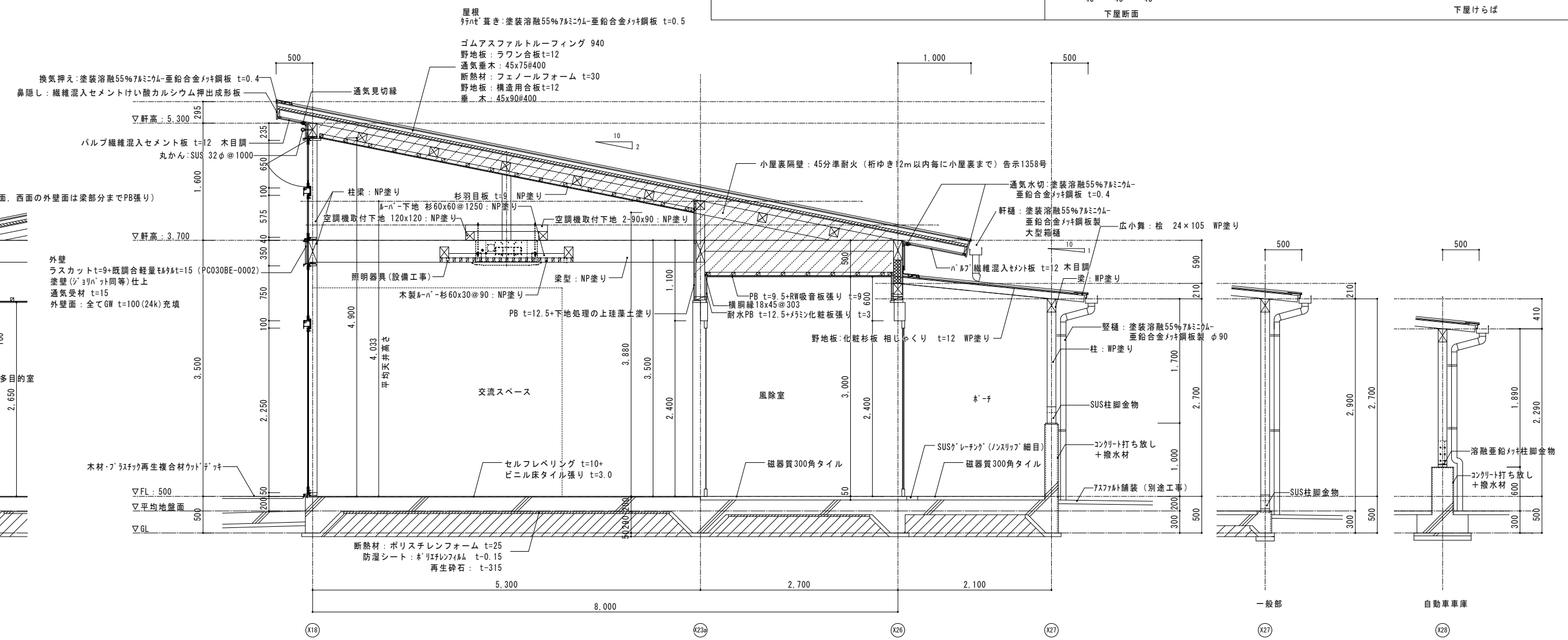


下屋詳細図

屋根
杉板 葺き: 塗装溶融55%7&ミニカム-亜鉛合金メッキ鋼板 t=0.5
(裏面: リンレンフ&ミニカム t=4)
ゴムアスファルトルーフィング 940
野地板: 構造用合板 t=12
野地板: 化粧杉板 (相じゃくり) t=12 WP塗り
化粧垂木: 45x90@400 (吹寄せ) WP塗り

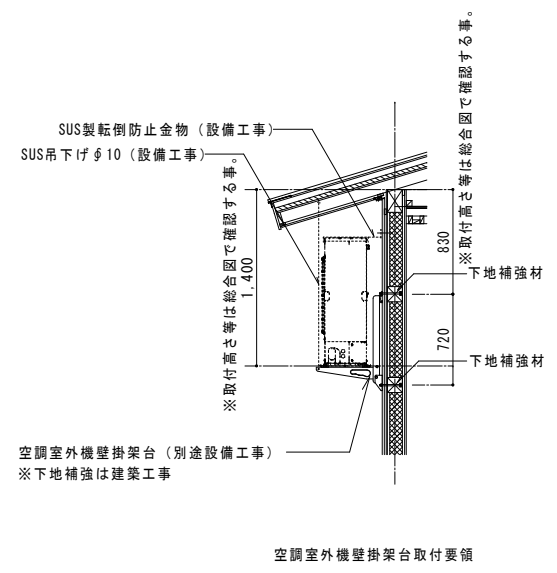
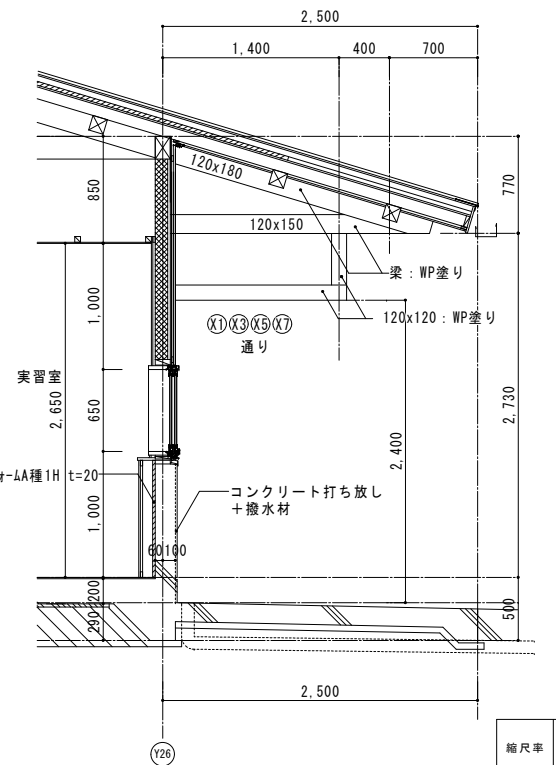
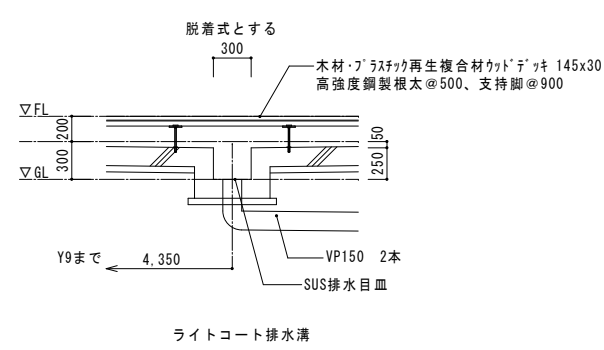
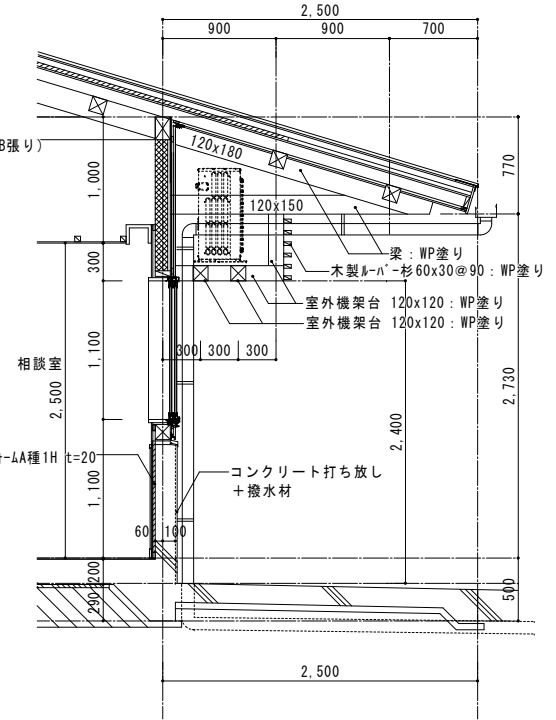
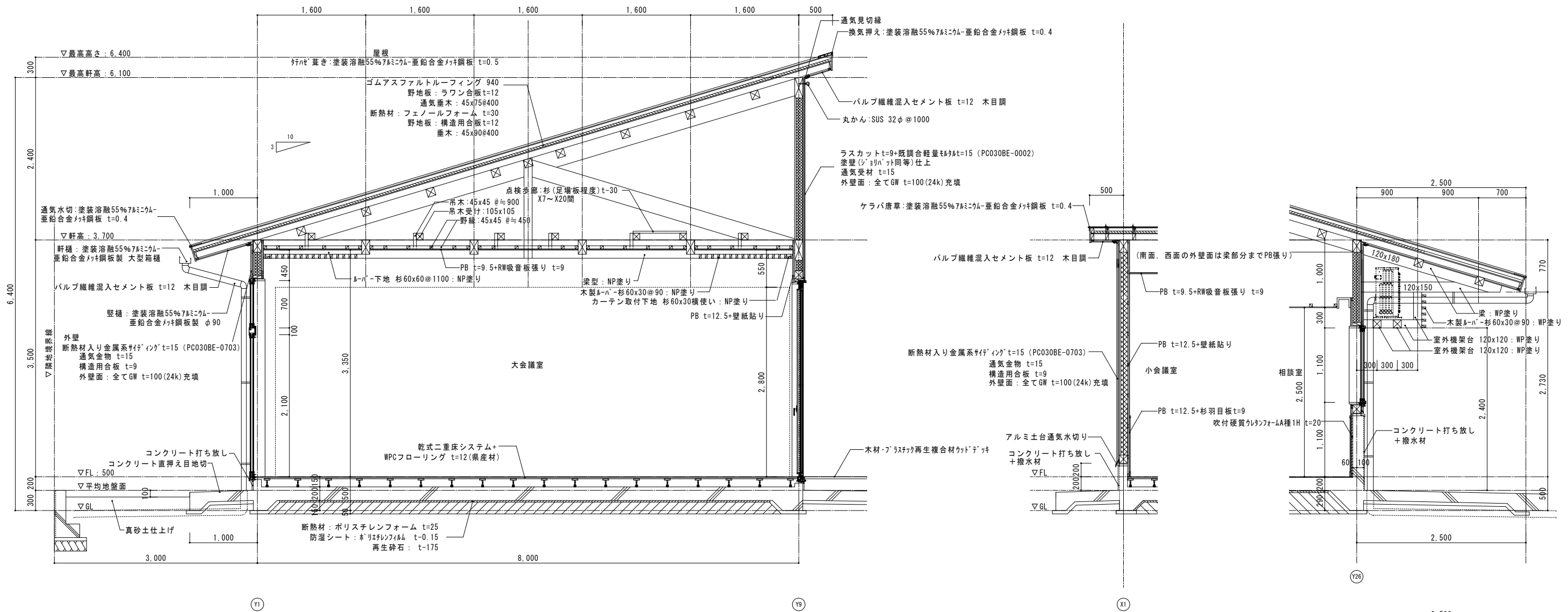


鼻隠し: 繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板
桁包み: 塗装溶融55%7&ミニカム-亜鉛合金メッキ鋼板 t=0.4
野地板: 化粧杉板 (相じゃくり) t=12 WP塗り
柱梁: WP塗り

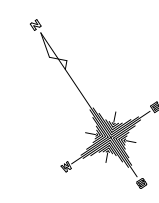
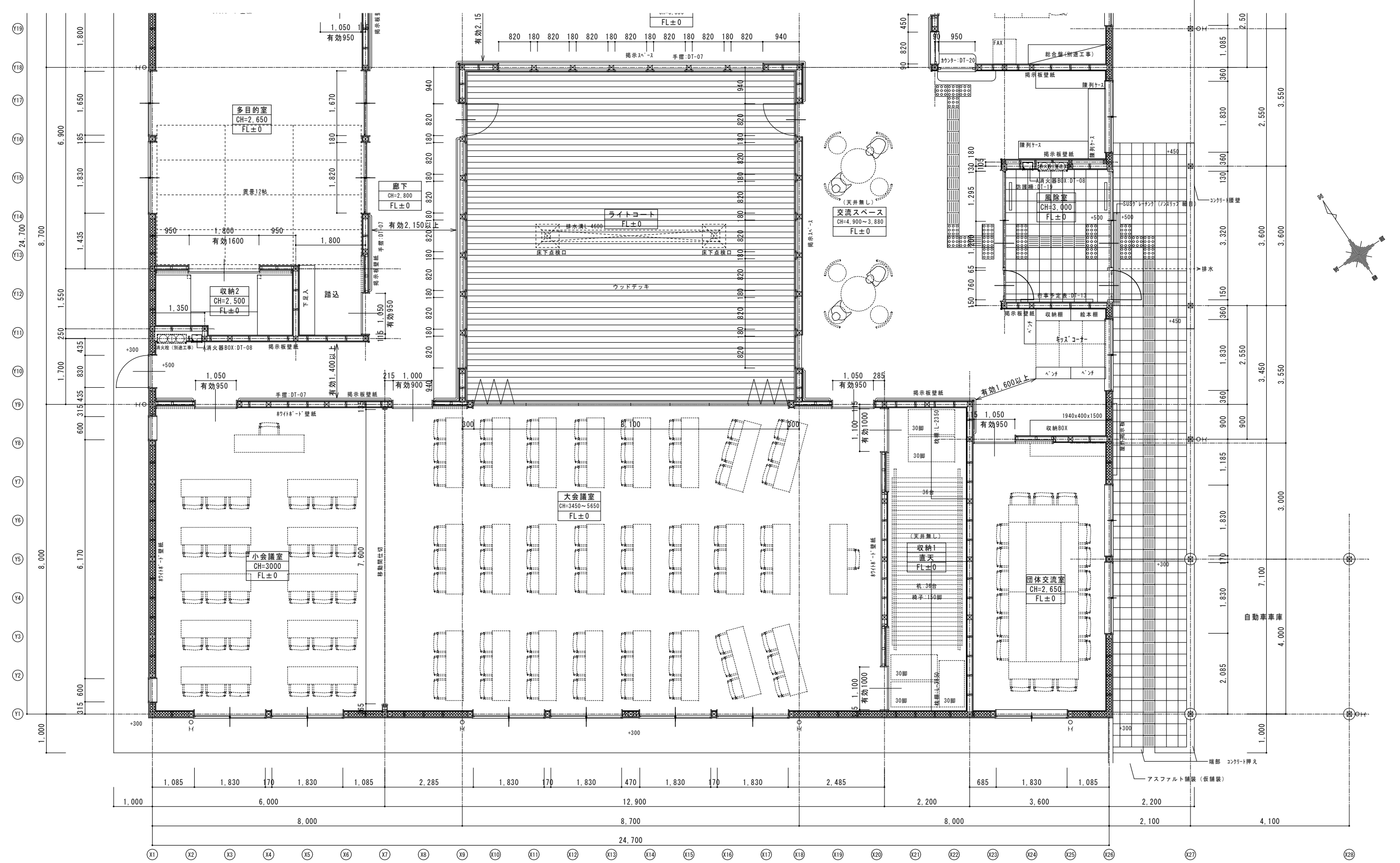



壁詳細図 1/15

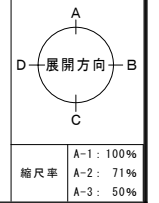
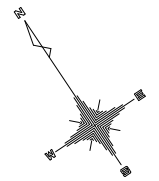
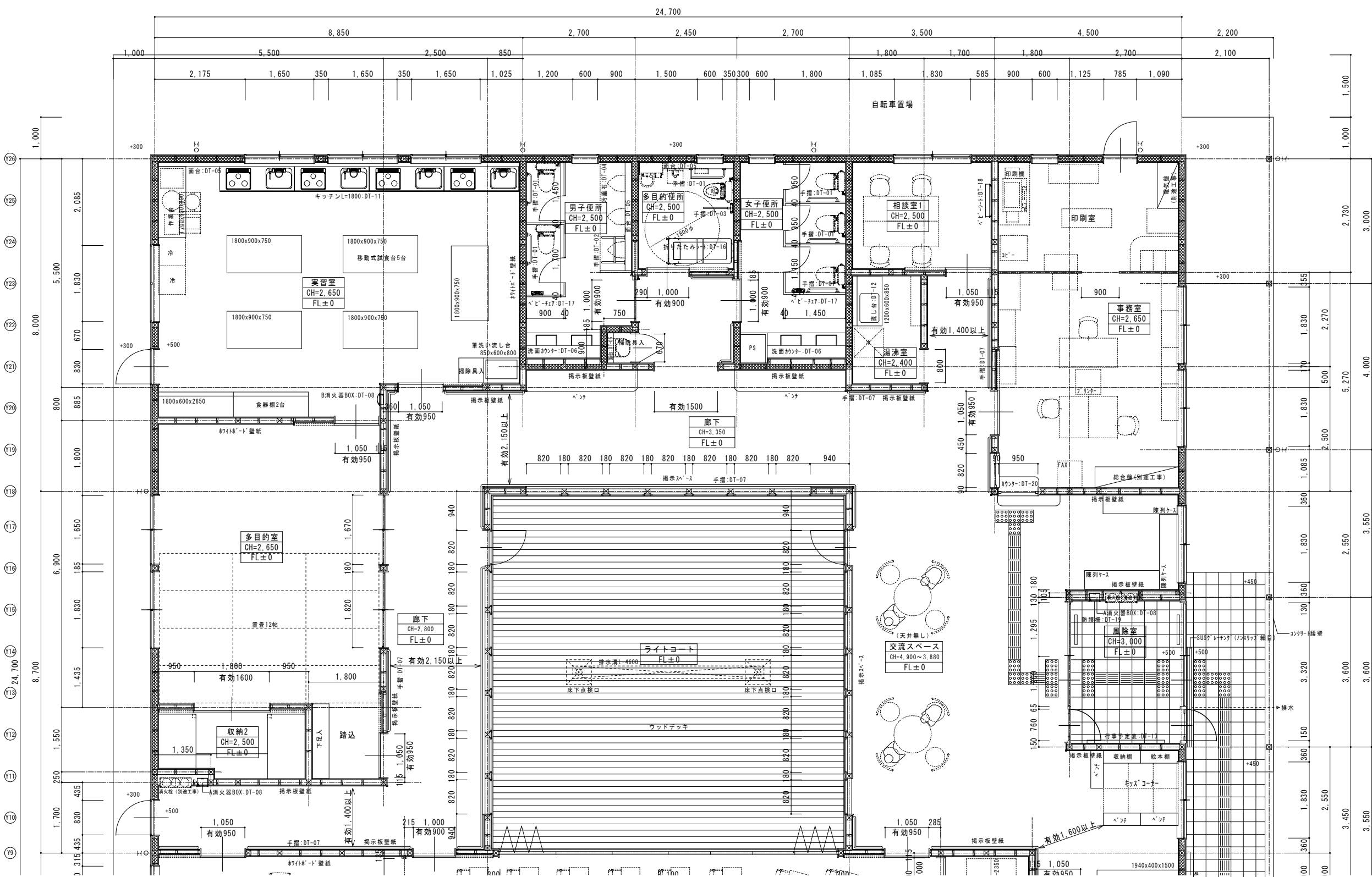
訂正	月日	<p>原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号</p>	担当	設計年月	<p>福山市建設局建築部営繕課</p> <p>2023年 3月</p>	<p>工事名称</p> <p>福山市深津交流館改築工事</p>	<p>区分</p> <p>建築 (A)</p>
			作図	家更年月			
						断面詳細図1	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
						1:30 1:15	A-013




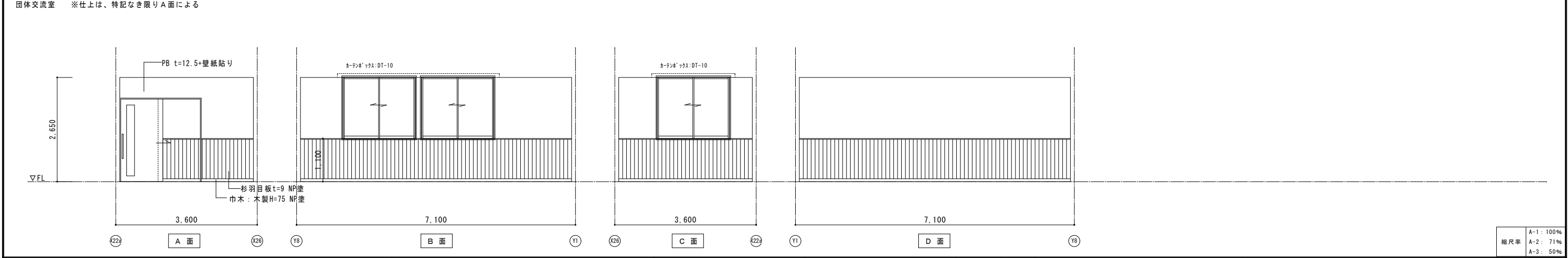
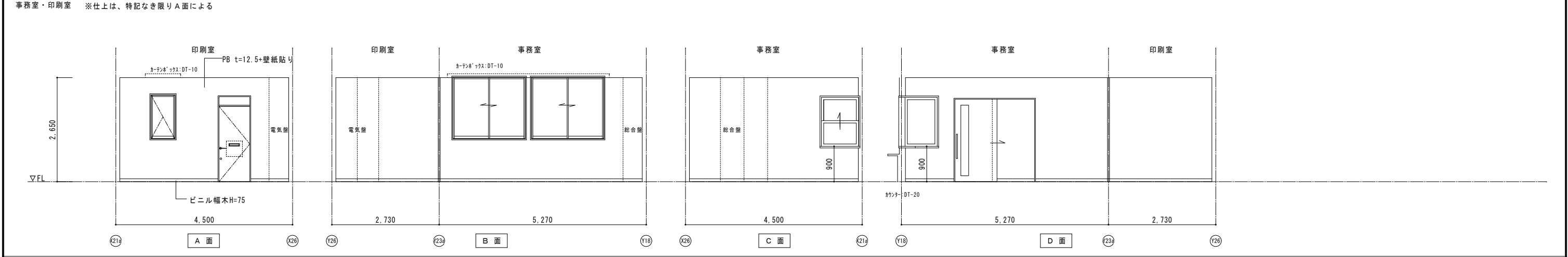
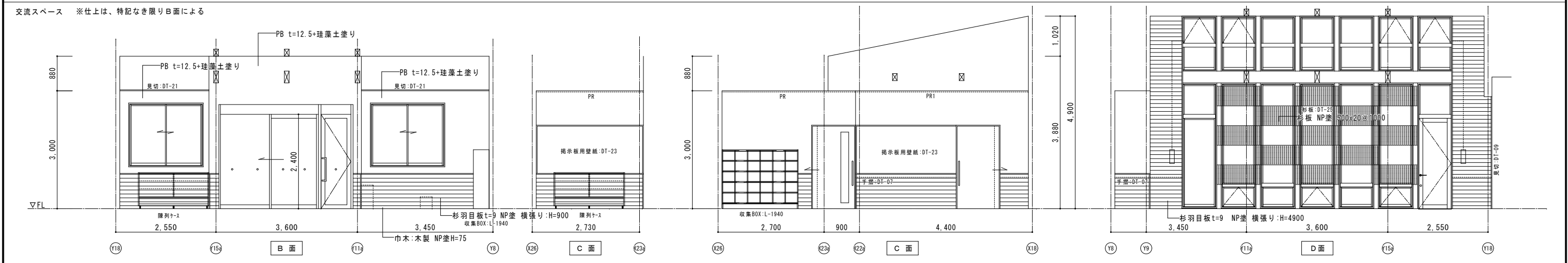
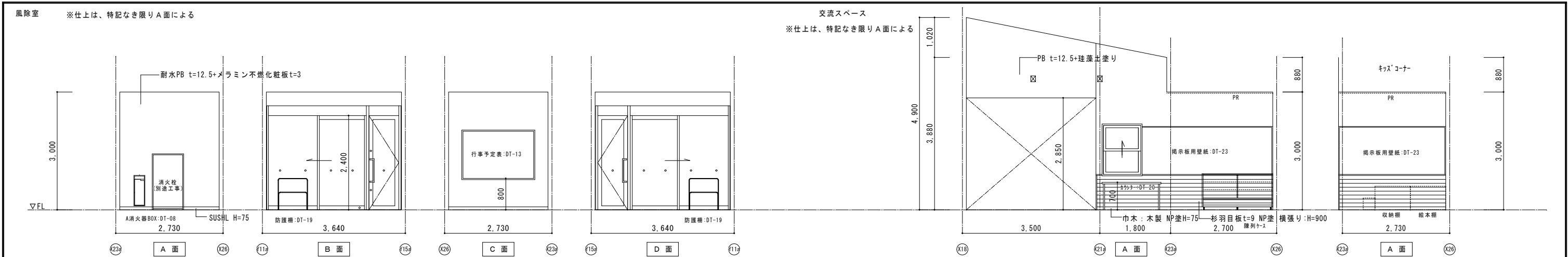
訂正	月日	 原 設計 株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	福山市深津交流館改築工事	区分
			第 号	2023年3月		建築(A)		
			作図	変更年月		図面名称	縮尺	図面番号
			第 号			断面詳細図2	1:30	A-014




訂正	月 日	 原 設計 株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	構造設計 - 建築士 第 号 設備設計 - 建築士 第 号	担当 2023年 3月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 平面詳細図1	区分 建築 (A) 縮尺 1:50 図面番号 A-015
			構造設計 - 建築士 第 号 設備設計 - 建築士 第 号	2023年 3月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	福山市深津交流館改築工事 平面詳細図1	1:50 A-015

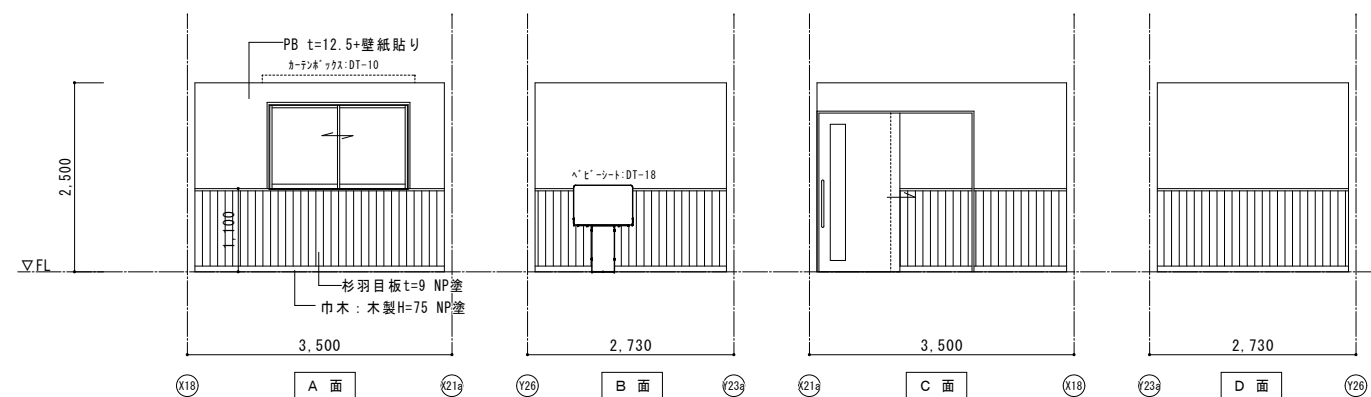


訂正	月日	 原 設計 株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所長高橋知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行	構造設計-建築士 第 号 建築設計-建築士 第 号	担当 2023年 3月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 福山市深津交流館改築工事	工事名称 図面名称 平面詳細図2	区分 建築 (A) 縮尺 1:50 図面番号 A-016
			図面名称 縮尺 1:50	図面番号 A-016			

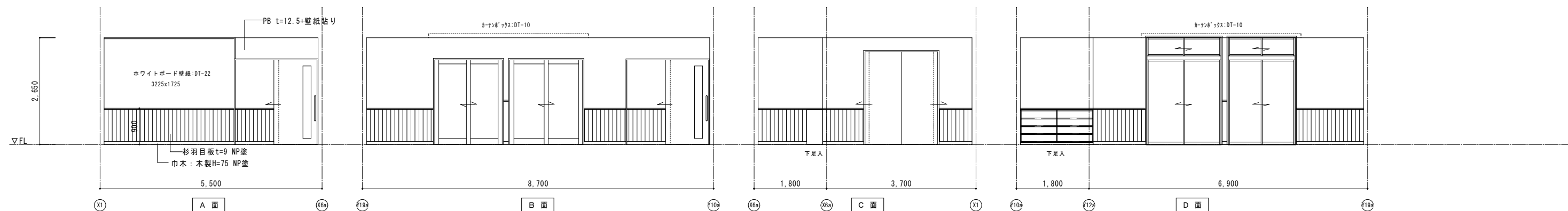


訂正 月 日		 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	担当 設計年月 2023年3月 作成 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 展開図1	縮尺 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	区分 建築(A) 図面番号 A-017
縮尺	1:50					

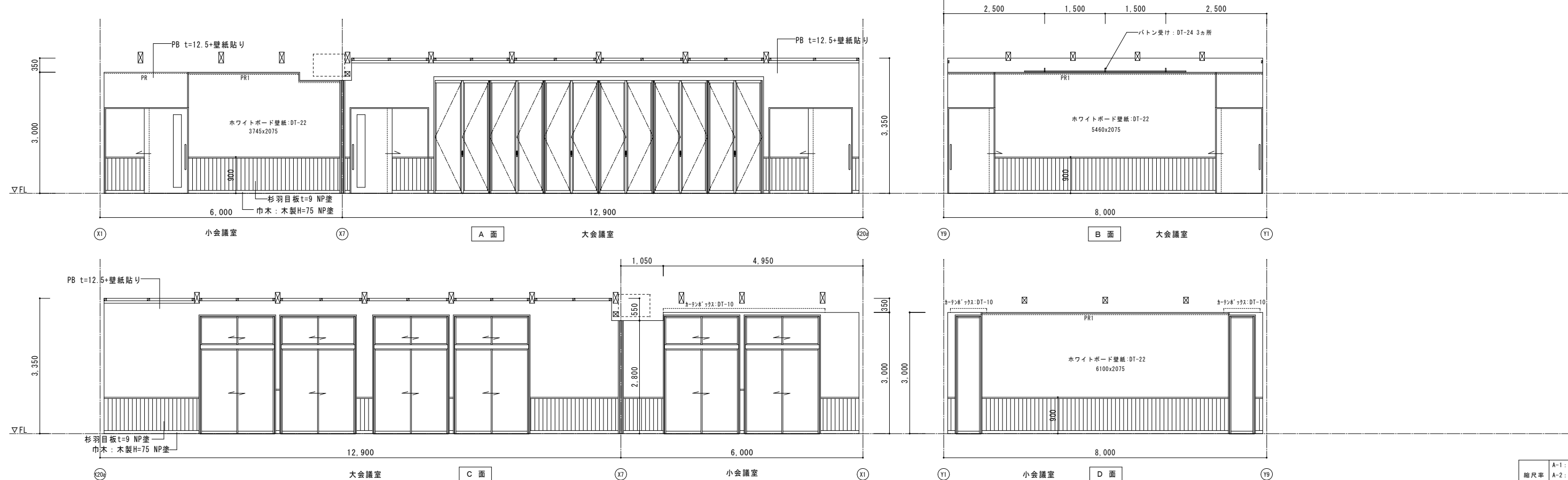
相談室 ※仕上は、特記なき限りA面による




多目的室 ※仕上は、特記なき限りA面による



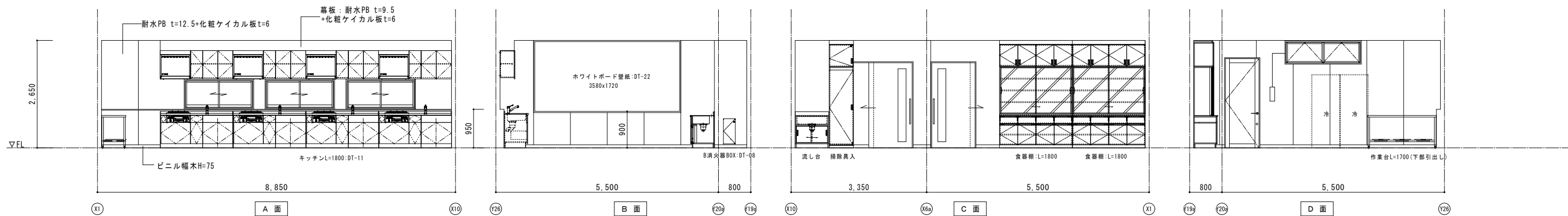
小・大会議室 ※仕上は、特記なき限りA面による



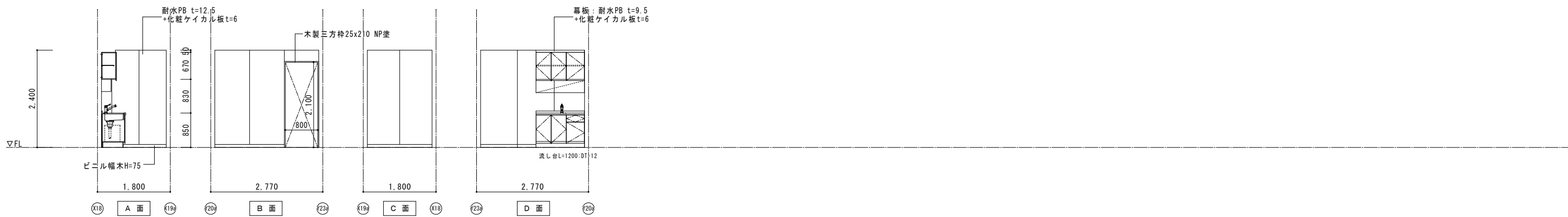
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	専任設計-建築士 第 号 専任設計-建築士 第 号	担当 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)
			図面名称 展開図2	縮尺 1:50	図面番号 A-018		

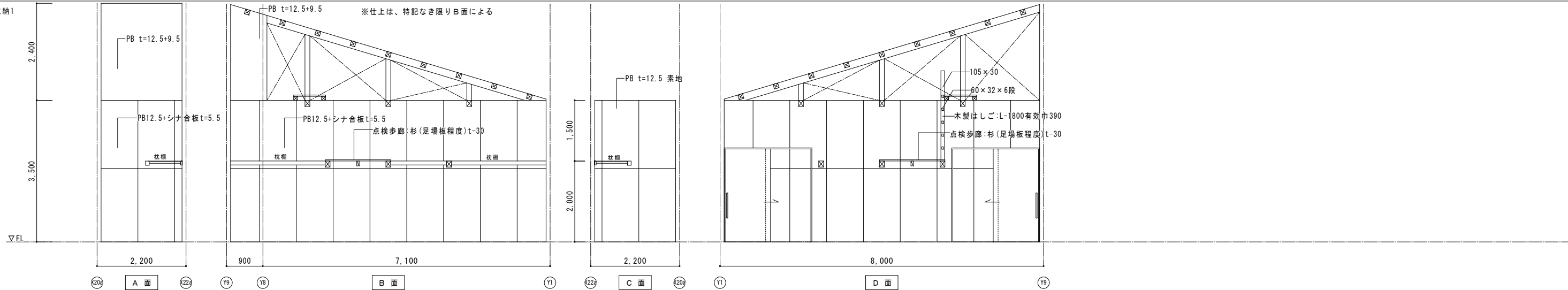
実習室 ※仕上は、特記なき限りA面による



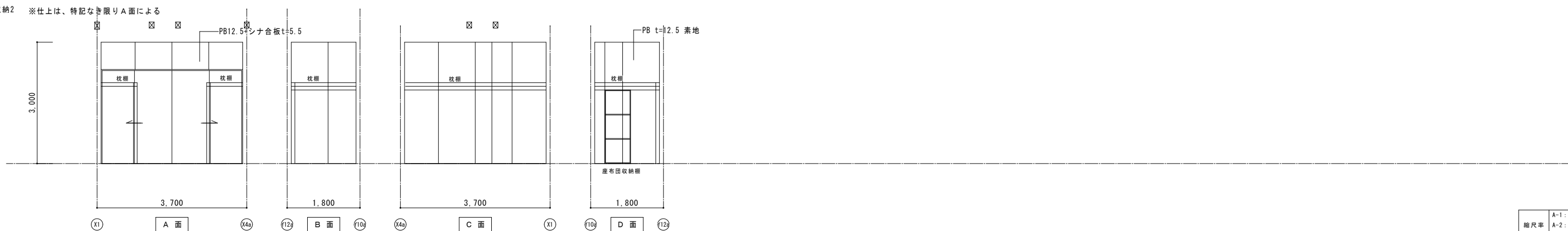
湯沸室 ※仕上は、特記なき限りA面による



収納1

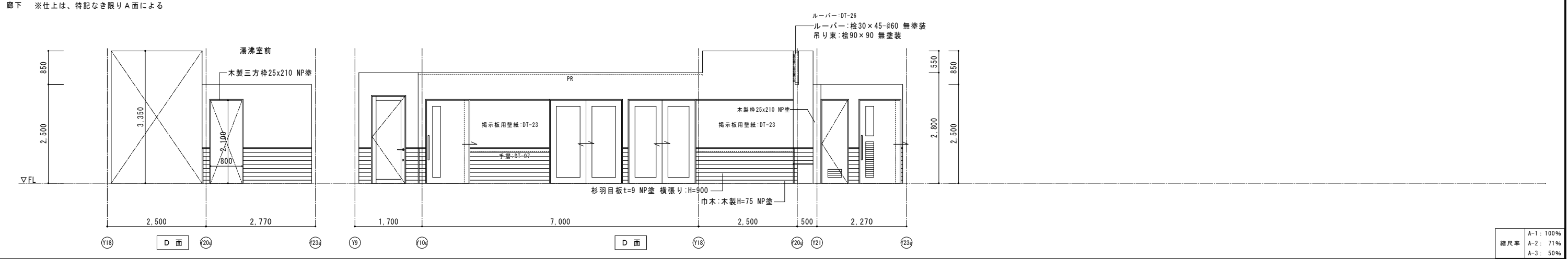
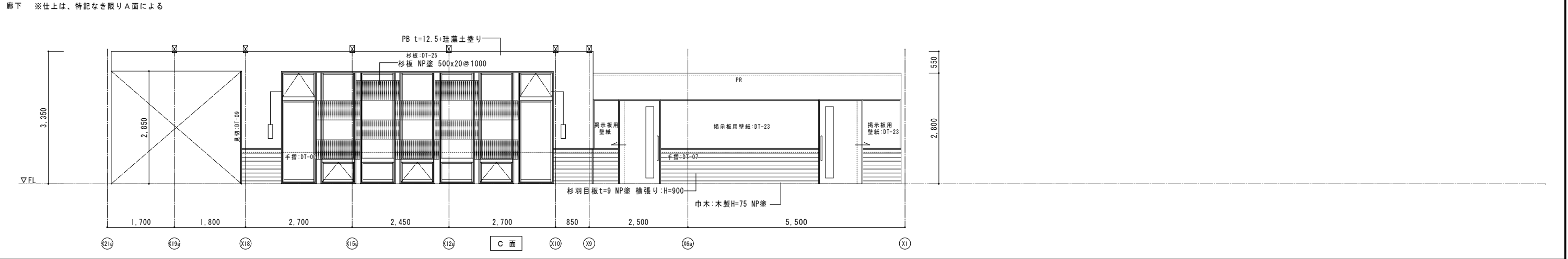
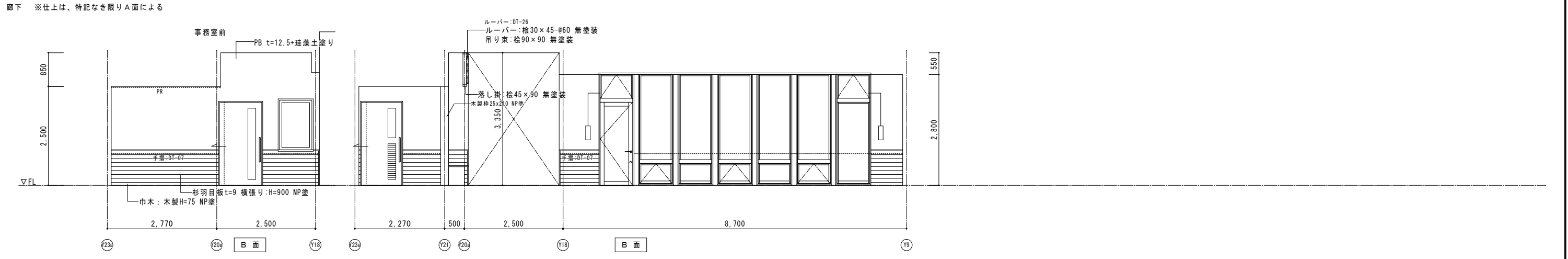
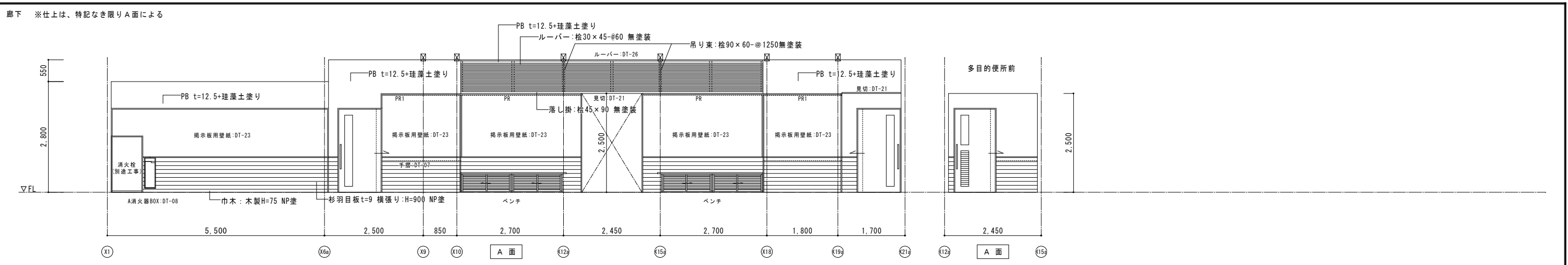


収納2 ※仕上は、特記なき限りA面による



縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

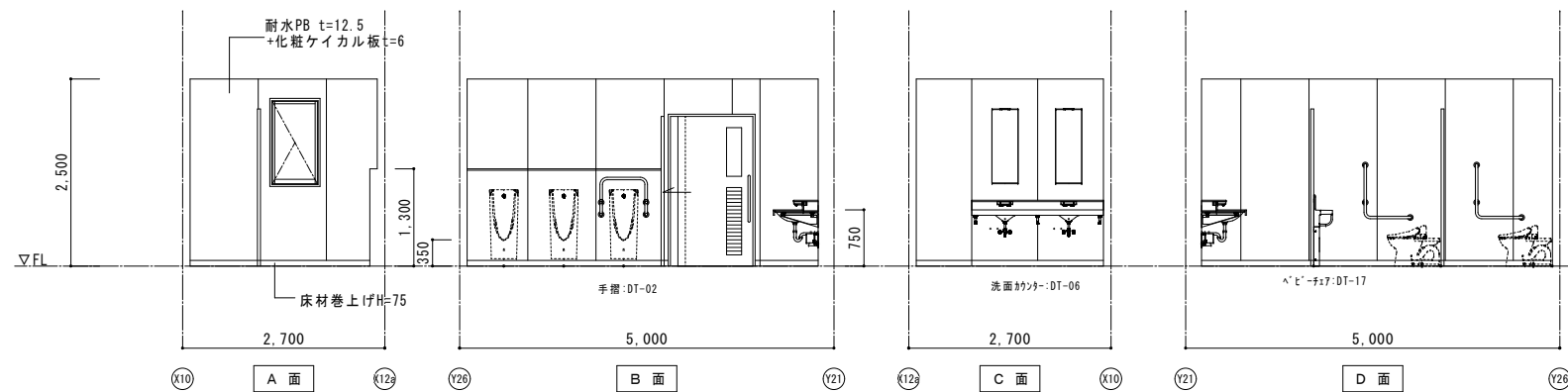
訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士 第293830号 甲斐 宣行	担当 設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 展開図3	縮尺 1:50	区分 建築(A) 図面番号 A-019
			目録設計-一般建築士 第 号 目録設計-一般建築士 第 号	区 福山市深津交流館改築工事 縮尺 1:50	図面番号 A-019	



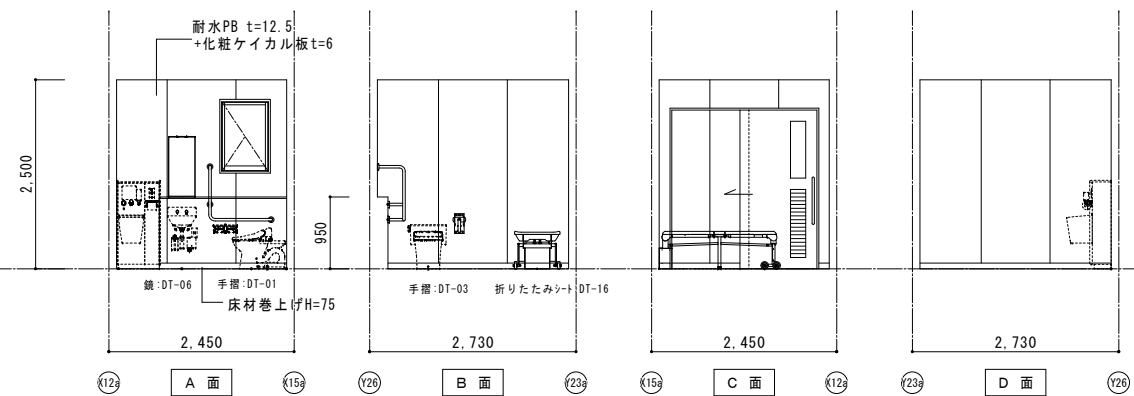
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月 日	<p>原 設計 株式会社</p> <p>〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一般建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214</p>	担当 設計年月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 展開図4 縮尺 1:50	区分 建築(A) 図面番号 A-020
			設計者 甲斐 宣行	図面番号 展開図4	縮尺 1:50

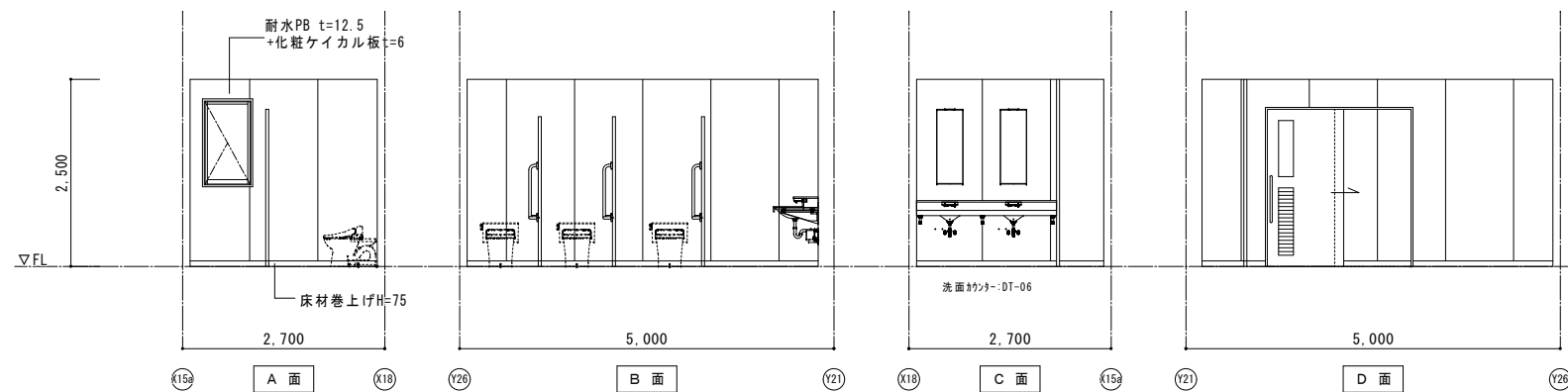
男子便所 ※仕上は、特記なき限りA面による



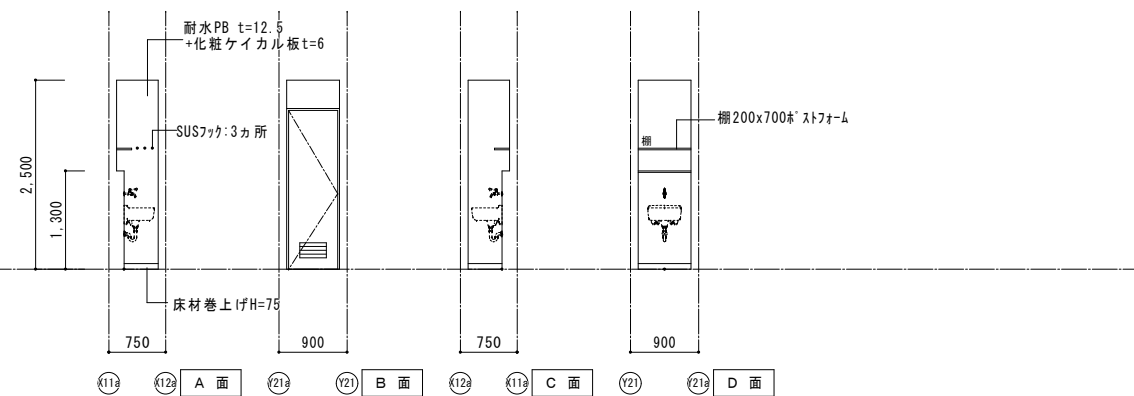
多目的便所 ※仕上は、特記なき限りA面による



女子便所 ※仕上は、特記なき限りA面による



掃除機入れ ※仕上は、特記なき限りA面による



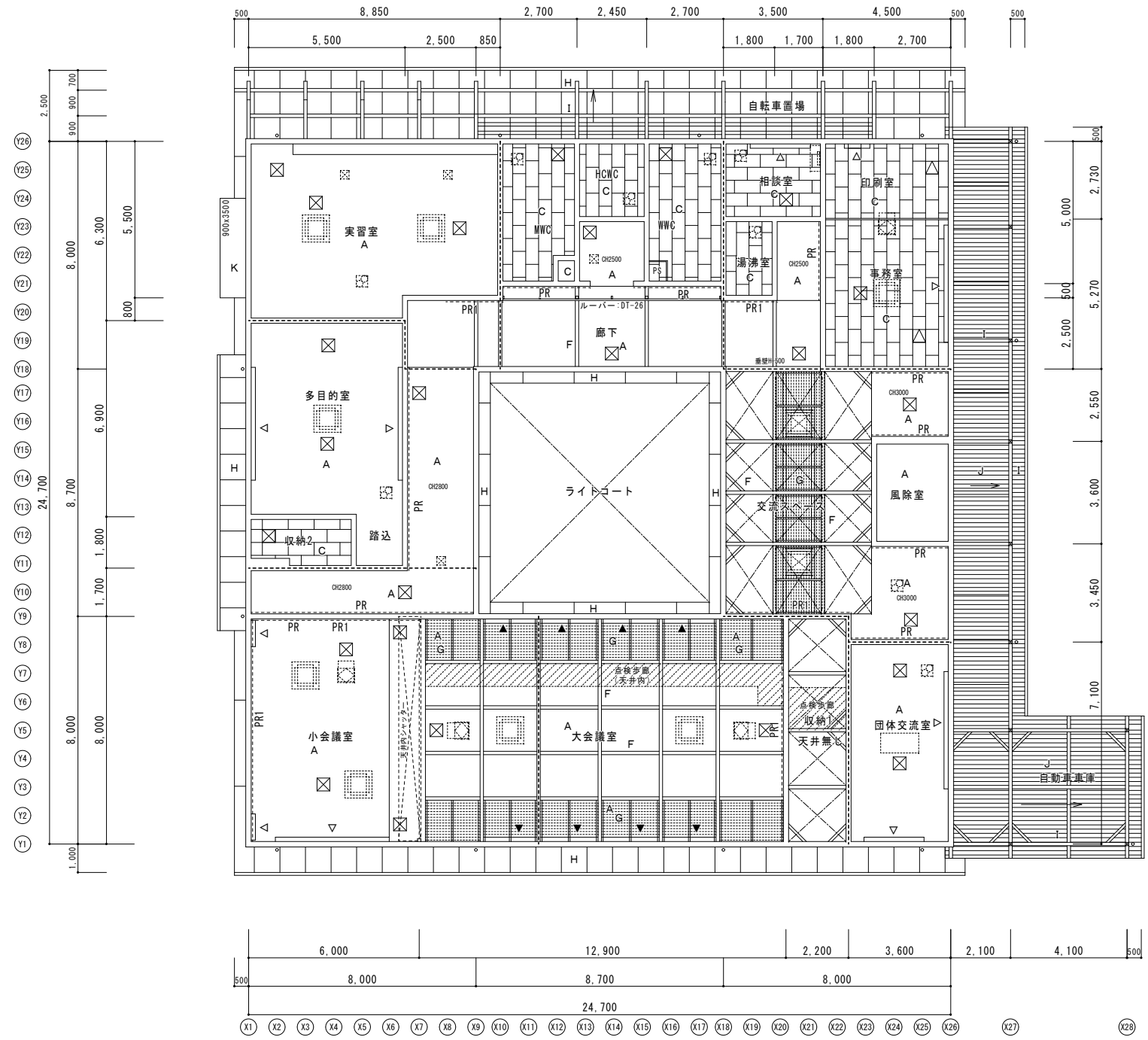
訂正	月日	

原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号
 TEL 084-922-3213 一般建築士 甲斐 宣行
 FAX 084-922-3214 第293830号

担当	設計年月	2023年3月
作図	変更年月	

工事名称	福山市建設局建築部営繕課
図面名称	展開図5

縮尺率	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
縮尺	1:50
区分	建築(A)
図面番号	A-021



□ 仕上材凡例

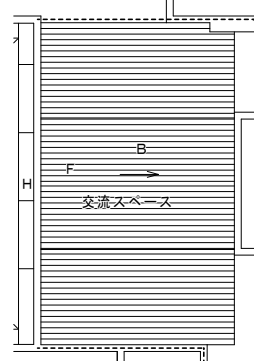
符号	仕上
A	PB t=9.5+RW吸音板張り t=9
B	杉羽目板 t=9 NP塗
C	化粧PB t=9.5
D	-
E	-
F	梁型:NP塗
G	木製h-h'-杉60x30@90:NP塗り
H	パルプ繊維混入セメント板 t=12 木目調
I	梁型:WP塗
J	野地板:化粧杉板 t=12 WP塗
K	アルミ庇(D900)

□ 点検口凡例

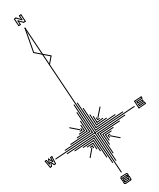
⊠	天井点検口 アルミ製450x450
⊡	天井点検口 アルミ製600x600

□ 附属材凡例

符号	品名
▽	カーテンボックス(木製):DT-10
▼	カーテン取付下地(木製)杉60x30 NP塗
PR	ビクチャーレール(天井見切縁兼用):DT-21
PR1	ビクチャーレール(見切縁付):DT-21
⊠	空調室内機部 天井開口補強
⊡	換気扇部 天井開口補強

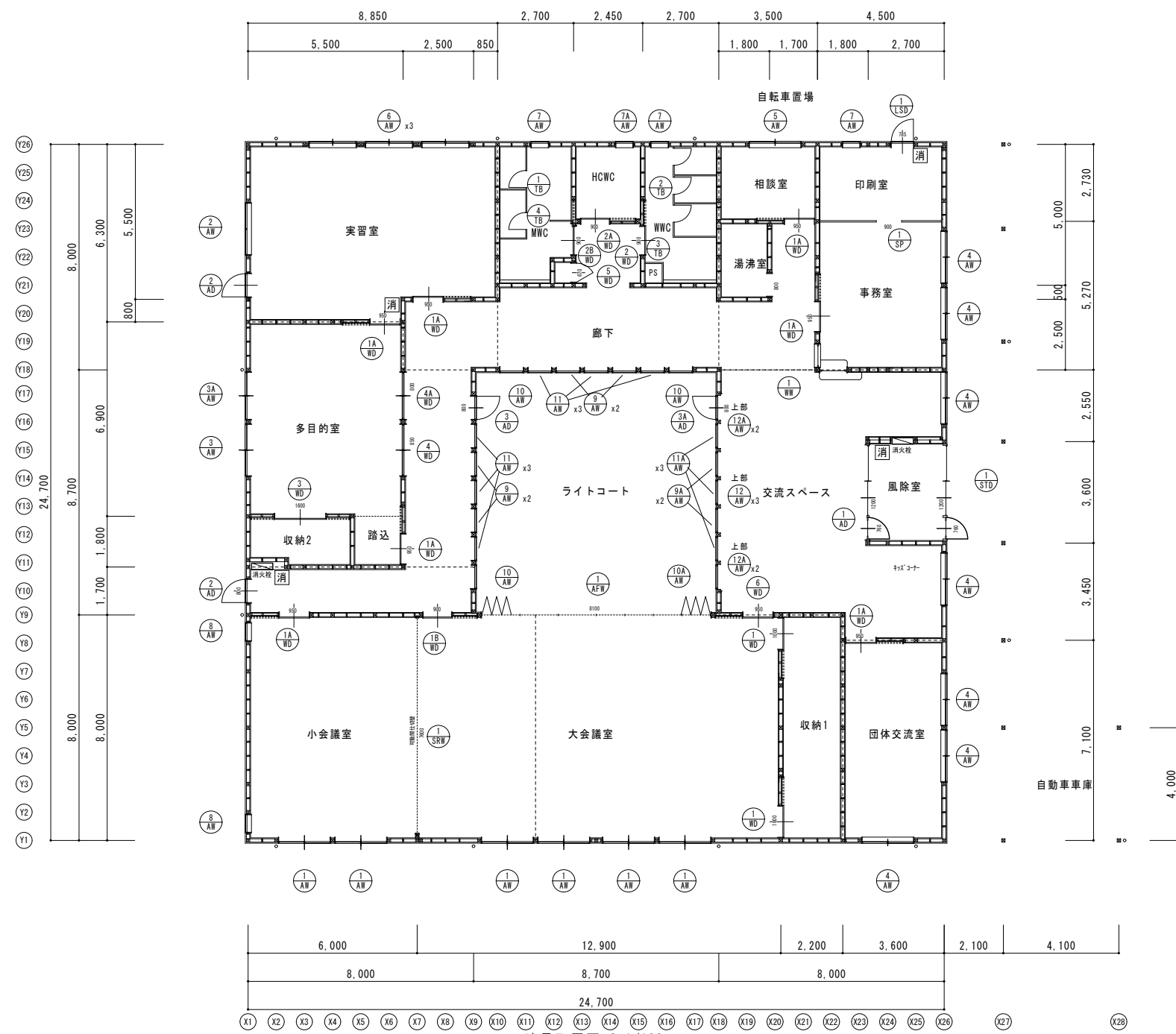


交流スペース上部

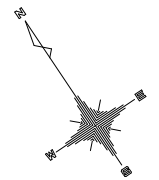


---	小屋裏隔壁 45分準耐火構造
-----	----------------

訂正	月日	原 設計 株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	建築設計-一級建築士 第 号 建築設計-一級建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)	縮尺率	A-1: 100%	A-2: 71%	A-3: 50%
図面名称									縮尺	1:100	図面番号	A-022



建具配置図 S=1/100



消	消火器 (ABC10型)
- - -	小屋裏隔壁 45分準耐火構造

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一般建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	担当 設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)
			図面名称 建具配置図	縮尺 1:100	図面番号 A-023	

記号・数量	① STD × 01	① AD × 01	② AD × 02	③ AD × 01	③A AD × 01	① AW × 06	② AW × 01				
形状											
場所	風除室	風除室	廊下 美容室	交流スペース 廊下	交流スペース 廊下	大会議室 小会議室	美容室				
形式	片引き自動扉・片開扉	片引き自動扉・片開扉	片開扉 (木造用)	片開扉・突出し排煙窓 (開放角度60°)	片開扉・突出し排煙窓 (開放角度60°)	欄間・引違い窓	突出し排煙窓 開放角度60°				
見込	150	70	70	70	70	70	70				
扉仕上	SUSHL t=1.5	SUSHL t=1.5	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー				
硝子	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+T65	強化ガラス T65	複層ガラス T65+A6+FT65	複層ガラス T65+A6+FT65	複層ガラス T65+A6+T65 (欄間FL4+A6+FL4)	複層ガラス FL4+A6+FT65				
金物	エンジン装置 (100V・90W) 光電センサー フロアヒンジ SUS押棒 戸当り	エンジン装置 (100V・90W) 光電センサー D C SUS押棒 戸当り	木製縦線 D C レバーハンドル	木製縦線 D C レバーハンドル	木製縦線 D C レバーハンドル	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸				
備考	開き扉のスマートロックの取付を可能とする	-	SUS下枠 シリンダー錠 (内サムターン) 付属金物一式	SUS下枠 シリンダー錠 (内サムターン) 付属金物一式	SUS下枠 シリンダー錠 (内サムターン) 付属金物一式	SUS下枠 付属金物一式	排煙オペレーター (ワンタッチ隠蔽型)H-1500				
記号・数量	③ AW × 01	④ AW × 01	⑤ AW × 01	⑥ AW × 03	⑦ AW × 03	⑦A AW × 01	⑧ AW × 02				
形状											
場所	多目的室	事務室 交流スペース 団体交流室	相談室	美容室	便所 印刷室 多目的便所 (7A)	小会議室	小会議室				
形式	欄間・引違い窓	引違い窓 (木造用)	引違い窓 (木造用)	引違い窓 (木造用)	縦滑り出し窓 (木造用)	FIX窓	FIX窓				
見込	70	70	70	70	70	70	70				
扉仕上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー				
硝子	複層ガラス T65+A6+T65 (欄間FL4+A6+FL4)	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+FT65	複層ガラス T65+A6+FT65	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+T65				
金物	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸				
備考	-	-	-	-	-	-	-				
記号・数量	⑨ AW × 04	⑩ AW × 03	⑩A AW × 01	⑪ AW × 06	⑪A AW × 03	⑫ AW × 03	⑫A AW × 04				
形状											
場所	交流スペース 廊下	交流スペース 廊下	交流スペース 廊下	交流スペース 廊下	交流スペース	交流スペース	印刷室				
形式	FIX窓	FIX窓・突出し排煙窓 (開放角度60°)	FIX窓・突出し排煙窓 (開放角度60°)	FIX窓・突出し排煙窓 (開放角度60°)	FIX窓	FIX窓	片開き玄関扉 (木造用) K3仕様				
見込	70	70	70	70	70	70	70				
扉仕上	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー	塗装鋼板・樹脂シート334+H+V-A-N-A34				
硝子	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+T65 (排煙窓FL4+A6+FL4)	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス T65+A6+T65	複層ガラス FL4+A6+FL4	複層ガラス FL4+A6+FL4	複層ガラス FL3+A12+FL3				
金物	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 水切 網戸	木製縦線 D C レバーハンドル ポスト (室内側受かご付)				
備考	-	排煙オペレーター (ワンタッチ隠蔽型)H-1500	-	-	-	-	SUS下枠 シリンダー錠 (内サムターン) 付属金物一式				
記号・数量	① SW × 01	① AFW × 01	① AFW × 01	① AFW × 01	① AFW × 01	① SP × 01	① SP × 01				
形状											
場所	大会議室	大会議室	大会議室	大会議室	事務室	事務室	事務室				
形式	天井収納型電動開仕切	折れ扉	折れ扉	折れ扉	鋼製開仕切	鋼製開仕切	鋼製開仕切				
見込	40	50	50	50	50	50	50				
扉仕上	アルミ (ダイノックシート貼 (両面))	アルミ	アルミ	アルミ	化粧鋼板 t=0.5	化粧鋼板 t=0.5	化粧鋼板 t=0.5				
硝子	-	-	-	-	溶融亜鉛めっき鋼板 横付塗膜	溶融亜鉛めっき鋼板 横付塗膜	溶融亜鉛めっき鋼板 横付塗膜				
金物	レール取付下地 スイッチボックス 障害物検知磁石スイッチ	鍵付きグレモンハンドル錠 フラットレール	鍵付きグレモンハンドル錠 フラットレール	鍵付きグレモンハンドル錠 フラットレール	巾木 苧木 壁レール 3方枠	巾木 苧木 壁レール 3方枠	巾木 苧木 壁レール 3方枠				
備考	三和シャッター: スーパーウォール40同等 3φ200V-0.25kw	TOKO: イースターカーテンあけてんで同等	TOKO: イースターカーテンあけてんで同等	TOKO: イースターカーテンあけてんで同等	三和シャッター: NSP-2-50同等	三和シャッター: NSP-2-50同等	三和シャッター: NSP-2-50同等				
訂正	月日	原設計株式会社			担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	福山市深津交流館改築工事	区分	建築 (A)
		〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所在地島根知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号			第 号	2023年3月				縮尺	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
		TEL 084-922-3213 一般建築士 第293830号 甲斐 宣行 第 号			第 号	変更年月				図面名称	縮尺 1:50 図面番号 A-024
					作図				建具表1		

記号・数量	① WD	× 02	①A WD	× 07	①B WD	× 01	② WD	× 01	②A WD	× 01	②B WD	× 01
形状												
場所	収納1		小会議室 団体交流室 実習室 多目的室 事務室 相談室		大会議室		女子便所		多目的便所		男子便所	
形式	片引き戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸 (壁収納)	
見込	扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210	
扉仕上	しな合板 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗	
枠仕上	木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗	
硝子	-		FTG4		FTG4		FTG4		FTG4		FTG4	
金物	引き棒 上吊りレール ソフトクローザー		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー シリンダー錠		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー	
備考	引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450	

記号・数量	③ WD	× 01	④ WD	× 01	⑤ WD	× 01	⑥ WD	× 01	⑦ WD	× 01	⑧ WD	× 01
形状												
場所	収納2		多目的室		多目的室		掃除員入		大会議室		大会議室	
形式	引分け戸		引分け戸		引分け戸		片引き戸		片引き戸		片引き戸	
見込	扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210		扉: 40 枠: 210	
扉仕上	しな合板 NP塗		堅木 NP塗		堅木 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗		しな合板 NP塗	
枠仕上	木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗		木製 NP塗	
硝子	-		TG4		TG4		-		-		-	
金物	影込引手 上吊りレール ソフトクローザー		影込引手 SUSレール 引き戸錠		影込引手 SUSレール 引き戸錠		レバーハンドル シリンダー錠		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー シリンダー錠		引き棒 上吊りレール ソフトクローザー	
備考	標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		アルミガラリ (開口率30%) 標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式	
備考	-		-		-		-		引棒: SUS L=450		引棒: SUS L=450	

記号・数量	⑨ WD	× 01	⑩ TB	× 01	⑪ TB	× 01	⑫ TB	× 01	⑬ TB	× 01	⑭ TB	× 01
形状												
場所	事務室		男子便所		男子便所		女子便所		女子便所		男子便所	
形式	上下窓 FIX窓		トイレブース		トイレブース		トイレブース (外開き)		トイレブース		トイレブース	
見込	扉: 40 枠: 210		40		40		40		40		40	
扉仕上	集成材 NP塗		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板		高圧メラミン化粧板	
枠仕上	集成材 NP塗		-		-		-		-		-	
硝子	TG4		-		-		-		-		-	
金物	影込引手 クレセント 取手 カーロック 戸先ゴム		表示式351'ラチ グレド'リレン' アー&エフ' SUS中木 7&2'壁木 帽子掛戸当り		表示式351'ラチ グレド'リレン' アー&エフ' SUS中木 7&2'壁木 帽子掛戸当り		表示式351'ラチ グレド'リレン' アー&エフ' SUS中木 7&2'壁木 帽子掛戸当り		ケースハンドル		SUS中木 7&2'壁木	
備考	集成材カウンター		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	

■材料凡例

- SS : 鋼製シャッター
- OS : オーバースライダー
- SD : 鋼製ガラリ
- STD : ステンレス製扉
- STW : ステンレス製窓
- LSD : 軽量鋼製扉
- LSW : 軽量鋼製窓
- AD : アルミ製扉
- ADW : アルミ製扉窓付
- AG : アルミ製ガラリ
- WD : 木製扉
- AW : アルミ製窓
- AG : アルミ製ガラリ
- TB : トイレブース
- GB : ガラスブロック
- F : ふすま
- DC : ドアチェック (ストップ付)
- 電 : 電気錠

複層ガラス : 外側ガラス+空気層+内側ガラス

■法規制略号

- FL : フロートガラス
- FG : 型板ガラス
- PWG : 網入磨き板ガラス
- FWG : 網入型板ガラス
- HAG : 熱線吸収板ガラス
- HAPWG : 熱線吸収網入り板ガラス
- TG : 強化ガラス
- FTG : 型板強化ガラス

アルミ製建具の防火設備認定番号: EB-9101~9108

■共通事項

【シーリング】

- ・建具廻り : MS-2 (変成シリコン系)
- ・ガラス突付 : SR-1 (シリコン系)

【鋼製防錆処理】

- ・鉛丹カルシウムペイント 2回塗

【一般共通事項】

- ・サッシのトリコ詰めモルタルは、無塩砂を使用する。
- ・建具廻りの補強金物は、施工図により決定する。
- ・引手等の形状は図面による他、承認図にて決定する。
- ・設置りはステンレス製とする。
- ・建具金物は原則としてステンレス製とする。
- ・外部建具は全て結露受を配置する。
- ・ハンガーアは全て指括防止付とする。
- ・レバーハンドル、握玉等の高さはFL+900程度とする。
- ・衝突防止シールはSUS製30φハ'仕上@300両面H=1300とする。
- ・アルミパネはt=3.0以上とする。
- ・網戸はガラス繊維入とする。
- ・クレセント位置はFL+1,500以内とする。
- ・排煙ハレター位置はFL+1,500以内とする。
- ・木製引手は指括防止ゴム付とする。
- ・アルミサッシ色はメーカー標準色とする。
- ・鋼製建具枠、建具高2,400、有効開口幅950を超えるものは板厚2.3mmとする。
- ・SUSレールはフラットレールとする。

窓の形状

外部建具:

内部建具:

引手建具:

枠の形状:

DT-01 L型手すり (抗菌樹脂被覆) S=1/20

TOTO: T112CL10同等

室名	箇所
男子便所	2
女子便所	3
多目的便所	1

DT-02 小便器用手すり (抗菌樹脂被覆) S=1/20

TOTO: T112CU22同等

断面 正面

DT-03 跳上式手すり S=1/20

TOTO: T112HK8R 同等品

DT-04 汚垂石 S=1/5 1/20

平面図 1/20

断面図 1/5

セラミックタイルt=5(TOTO: ハイドロセラフロアPU薄型同等)

DT-05 面台 S=1/10

メラミンポストフォームt=20

木下地 耐水PB t=12.5下地、(便所は3ヶ所合板t=12)

化粧ケイカル板t=6

DT-06 洗面器一体型カウンター (鏡) S=1/20

TOTO: MDWE同等

水栓 TOTO: TENA126A MX597 TLK06S01J TH84同等

洗面カウンター詳細図

LED照明付カガミ (間接照明)

TOTO: EL80014同等

カガミ詳細図

室名	L	H	形式
男子便所	2,600	1,300	1方
多目的便所	1,700	950	1方
掃除入れ	700	1,300	1方
実習室	8,700	950	1方

室名	カガミカウンター (L)	ポウル数
男子便所	2 1,800	2
女子便所	2 1,900	2
多目的便所	1	

DT-07 壁付手すり S=1/5

手摺: ナカ工業 NWS-C-035程度 (下地補強共)

※突出部には、注意喚起用の点字表示をつけること。
端部には、室名の点字表示をつけること。

DT-08 消火器BOX S=1/20

消火器(ABC10型)共

文字表示ステッカー

< Aタイプ: 埋込型 > ユニオン: UFB-1F-200IN-P等

< Bタイプ: 半埋込型 > ユニオン: UFB-2F-300T-P等

壁フック掛けはSUS製とする

DT-09 腰壁納まり S=1/5

木部見え掛かりは全てCL塗とする

見切: 杉 35x35 NP塗

見切縁及び付鴨居: 杉 15x30 NP塗

杉羽目板t=9+NP塗

幅木: 杉 15x75 NP塗

DT-10 カーテンBOX S=1/5

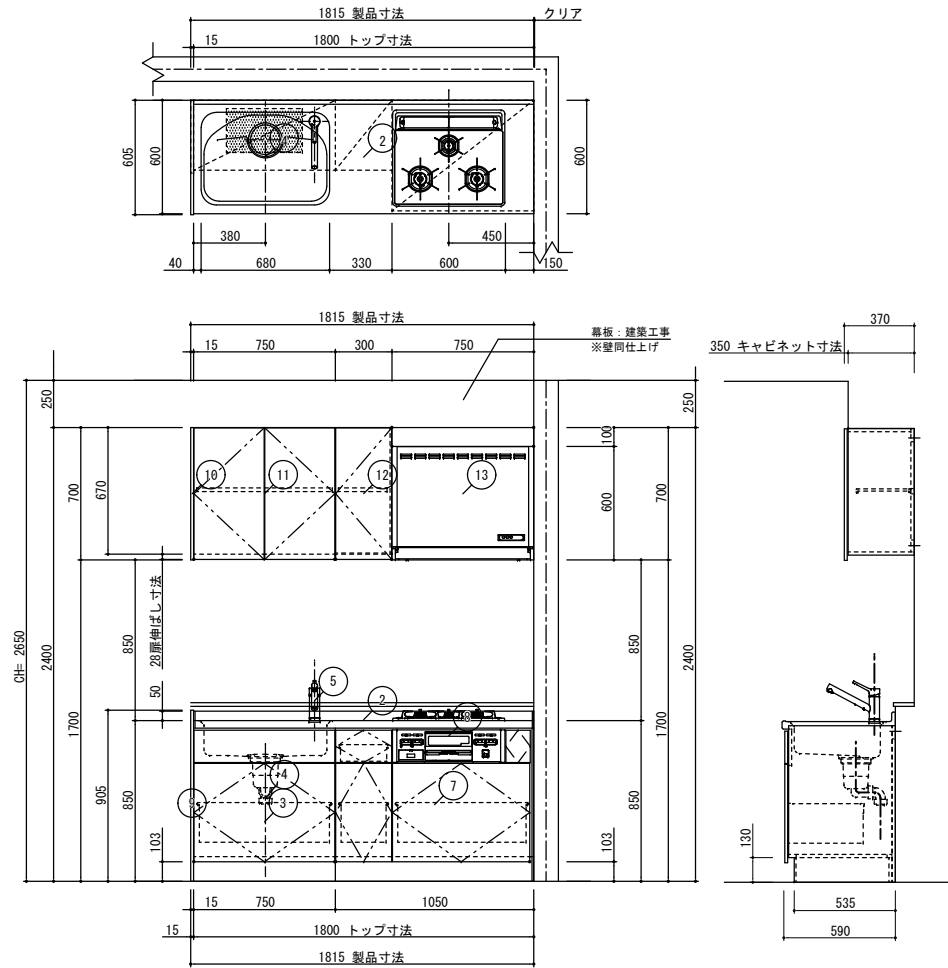
受金物

杉集成材 NP塗

カーテンBOX W

杉60x30@90: NP塗リ

杉60x30横使い: NP塗リ

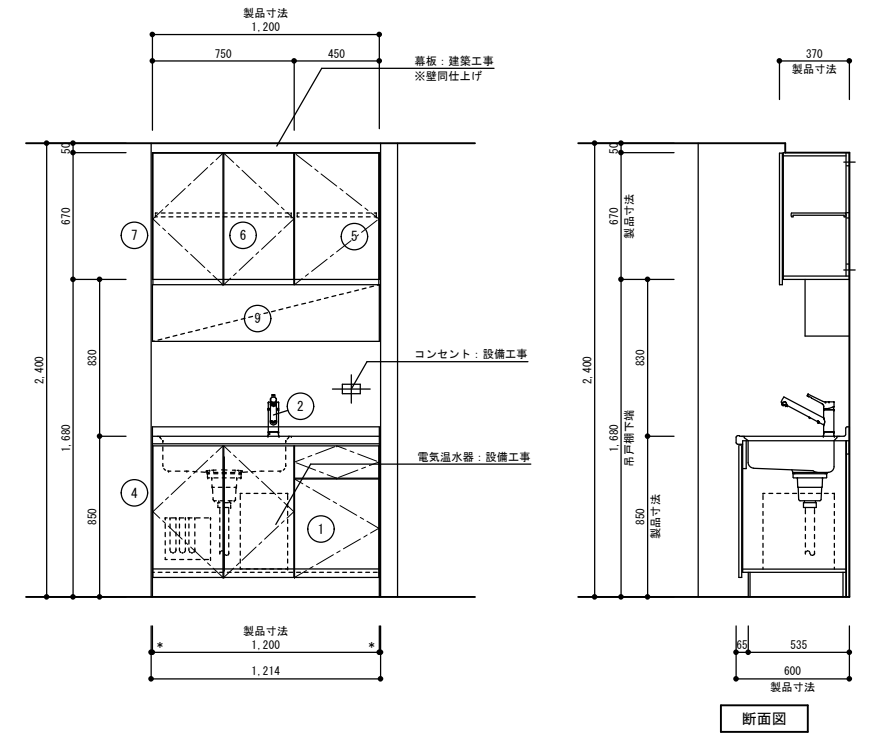
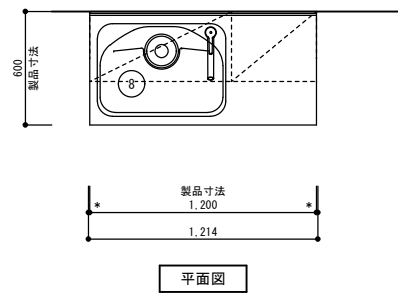


タイプ	LIXIL T10<チオ> ※同等品以上とする	
シリーズ	B8シリーズ	
扉カラー	打合せによる <取手：打合せによる>	
カウンター	ステンレス・シルクエンボス	
部材リスト		
品名	数	備考
1 I型・D600・SUSトップ	1	トレーボード分割、600コンロ、点検口有
2 I型ウークトップ・D600	1	【KG】シルクエンボス
3 SUS用シンクキャビファイラー無	1	引出しなし・トレーボード・点検口付
4 ラウンド68シンク	1	水栓穴あり・まな板スタンドなし
5 P34/シングルレバー水栓	1	ノルマーレス・エコハンドル・一般地用
6 ジャバラホース排水セット	1	排水内板(φ70)付内面平滑仕様
7 SUS用コンロキャビファイラー付	1	W600コンロ用・トレーボード
8 V38/3コンロ・ホーロー	1	600・無水片面焼・ブラック
9 エンドパネル・キッチン用	1	D600・フロアキャビネット用
10 エンドパネル・キッチン用	1	吊戸欄H700/600共用
11 吊戸欄H70	1	開き扉
12 吊戸欄H70・側面不燃	1	開き扉
13 シロッコファン	1	W750・H700・シルバー

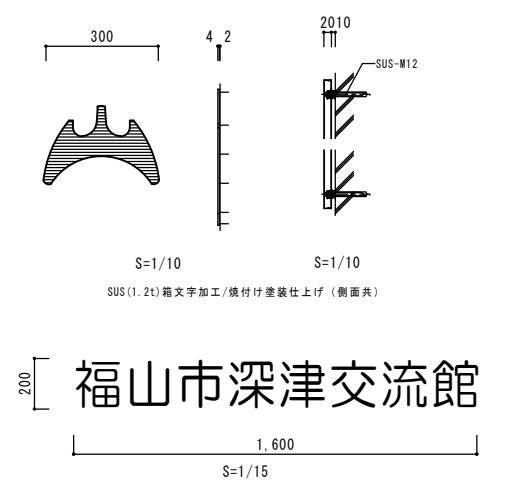
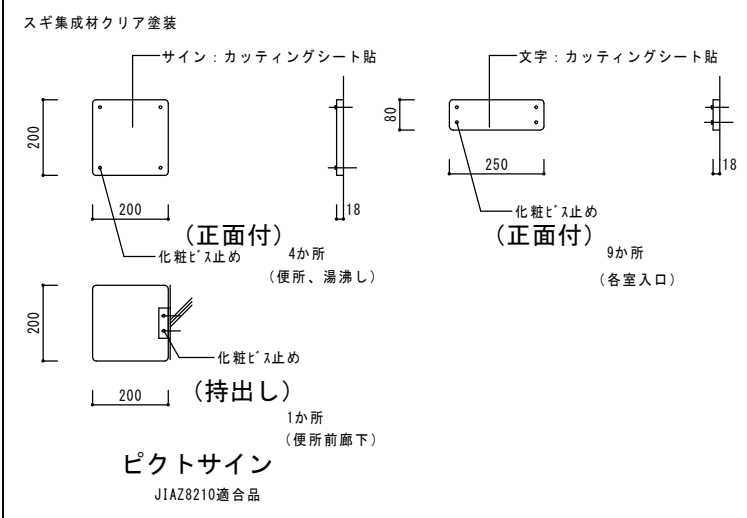
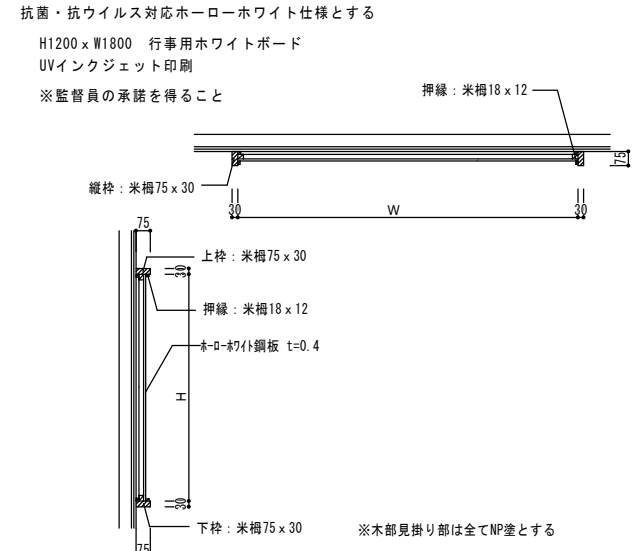
特記事項
 ・電気配線、給排水配管、換気ダクト接続等は設備工事
 ・温水器設置に伴い、底板補強が必要な場合は現場加工（建築工事）とする

タイプ	LIXIL T10<チオ> ※同等品以上とする	
シリーズ	034シリーズ	
扉カラー	打合せによる <取手：打合せによる>	
カウンター	ステンレス・シルクエンボス	
部材リスト		
品名	数	備考
1 フロアユニット	1	シンクユニット、スタンダードタイプ
2 シングルレバー水栓	1	取付穴径φ37
3 排水セット	1	
4 エンドパネル	1	フロアユニット用、キッチン用
5 ウォールキャビネット	1	キャッチ無
6 ウォールキャビネット	1	キャッチ有
7 エンドパネル	1	ウォールキャビネット用、ミドル用
8 ラウンド68シンク	1	水栓穴有
9 水切網1段	1	ふきん掛け、フック3個

特記事項
 ・電気配線、給排水配管、換気ダクト接続等は設備工事
 ・温水器設置に伴い、底板補強が必要な場合は現場加工（建築工事）とする



行事予定表							
月 日 曜日							
時間帯	午前	午後	夜間	時間帯	午前	午後	夜間
大会議室							
小会議室							
実習室							
多目的室							
団体交流室							
相談室							



訂正	月 日	
----	-----	--

原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
 TEL 084-922-3213
 FAX 084-922-3214

原設計-一級建築士	第 号
原設計-一級建築士	第 号

担当	福山市建設局建築部営繕課
設計年月	2023年 3月
実年月	
工事名称	福山市深津交流館改築工事
図面名称	部分詳細図2
縮尺	1:20 1:10 1:15
図面番号	A-027
区分	建築(A)

DT-16 折りたたみシート S=1/20

折りたたみシート
TOTO : EWG500RS同等

室名	箇所
多目的便所	1

DT-17 ベビーチェア S=1/20

ベビーチェア
TOTO : YKA15R同等

室名	箇所
男子便所	1
女子便所	1

DT-18 ベビーシート S=1/20

ベビーシート
TOTO : YKA25R同等

室名	箇所
相談室	1

DT-19 防護柵 S=1/20

サンポールFNA-7U75-800同等

DT-20 カウンター S=1/20

DT-21 廻縁 ピクチャーレール S=1/5

DT-22 ホワイトボード壁紙 S=1/5

サンゲツ : リアテックホワイトボードシートTW1000同等(不燃)

DT-23 掲示板用壁紙 S=1/5

DT-24 バトン受け S=1/5

※杉田エース : フレージュック A形CZ-24 同等品

DT-25 杉板 S=1/5

木部見えかきはNP塗装とする

DT-26 ルーバー S=1/5

訂正	月日	

原設計株式会社

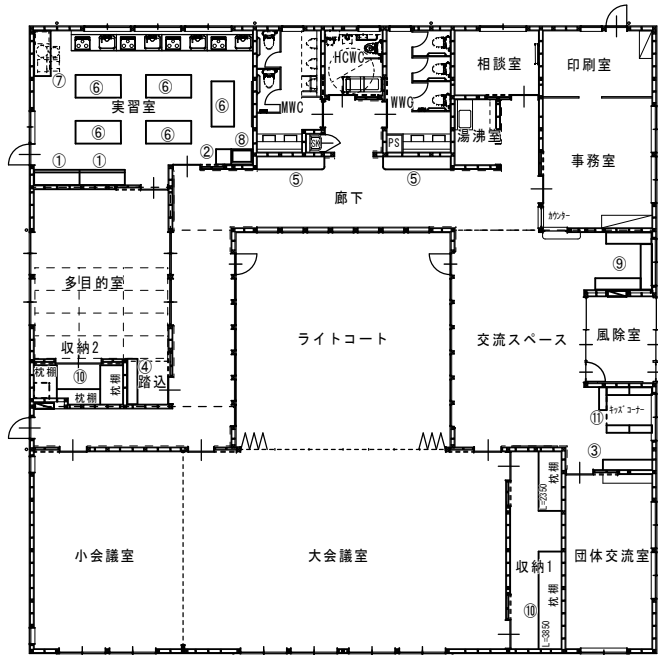
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行
FAX 084-922-3214 第 293830 号

福山市建設局建築部営繕課

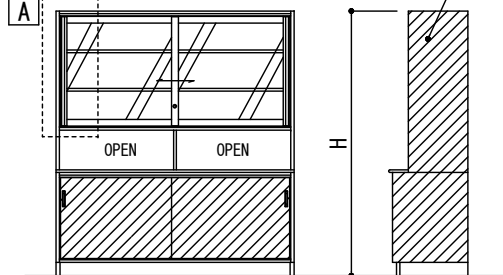
設計年月: 2023年 7月
実年月:

工事名称	福山市深津交流館改築工事	区分	建築(A)
図面名称	部分詳細図3	縮尺	1:20 1:10 1:30 1:5
		図面番号	A-028

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



ベタ芯構造部位:斜線箇所
(注)衝撃強度を必要とするパネルはファルカタ集材ベタ芯とする
【H=2000までのエンドパネル、側板、引込戸、開戸、引出。
但し引出は積層合板ベタ芯とする】



A部分詳細

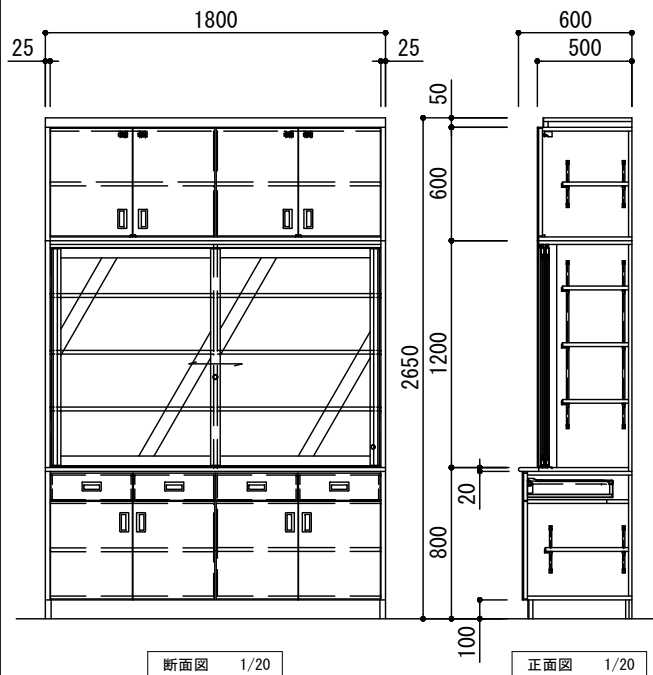
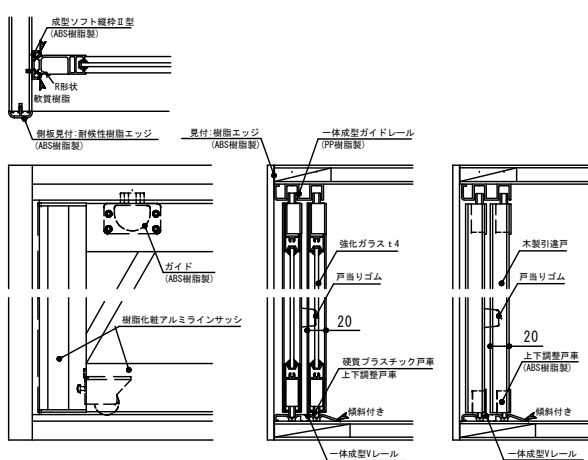


Table with columns: 名称, 材質・仕様. Lists materials likeメラミン化粧板, ポリエステル樹脂合板, etc.

Table titled 共通仕様表. Lists specifications for materials like wood, exterior, interior, and hardware.

Table listing specifications for cabinet doors and drawers, including materials and finishes.

Table listing specifications for cabinet panels, drawers, and other components.

② 掃除具入 1か所

Table listing specifications for cleaning equipment storage cabinet, including materials and dimensions.

③ 収集ボックス 1か所

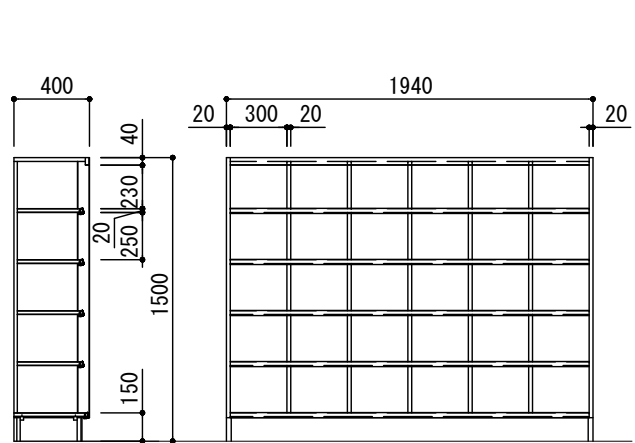
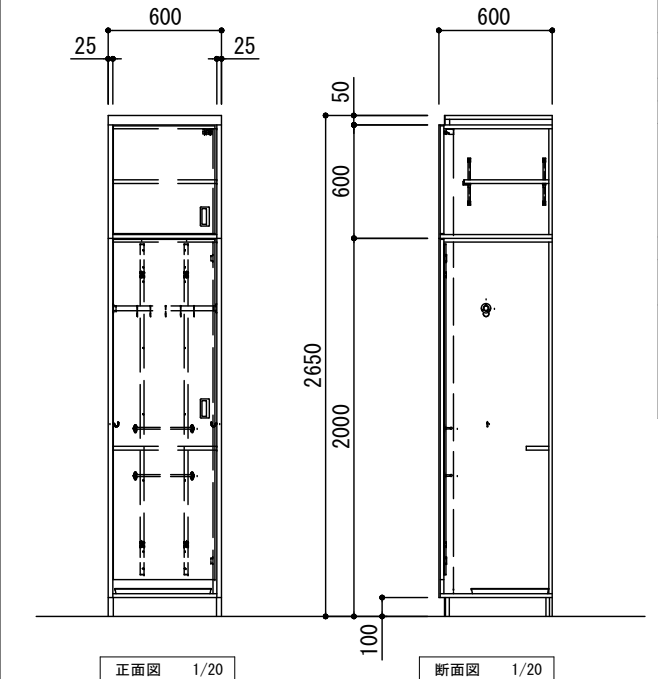
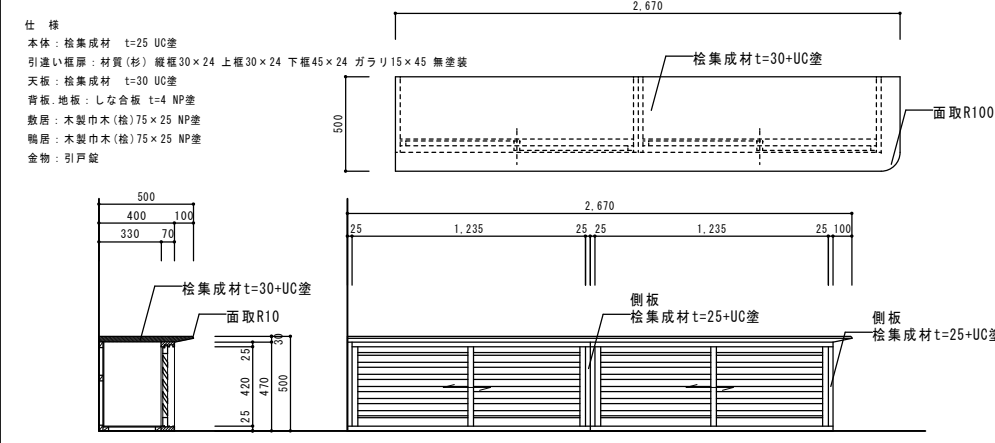


Table listing specifications for collection box, including materials and details.

⑤ ベンチ 2か所 (1か所は反転したものとする)



④ 下足入れ 1か所

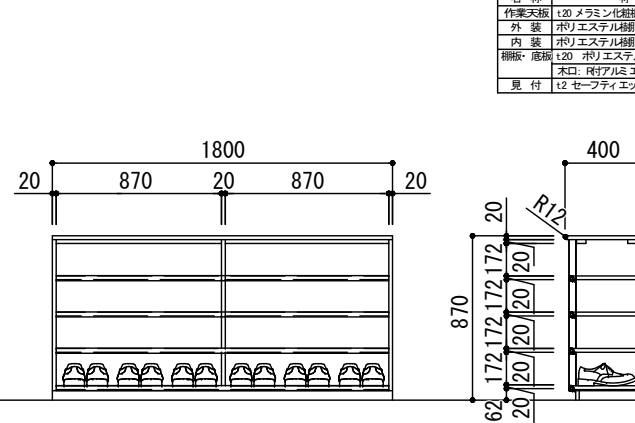
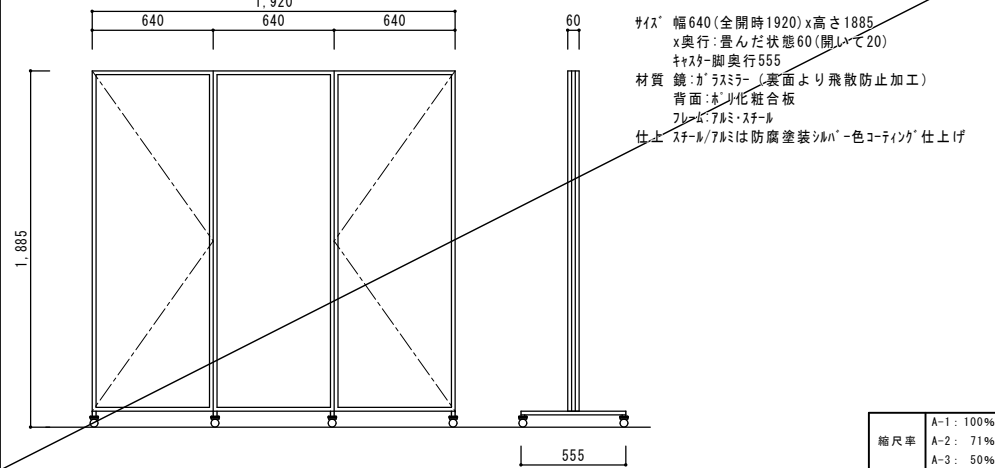


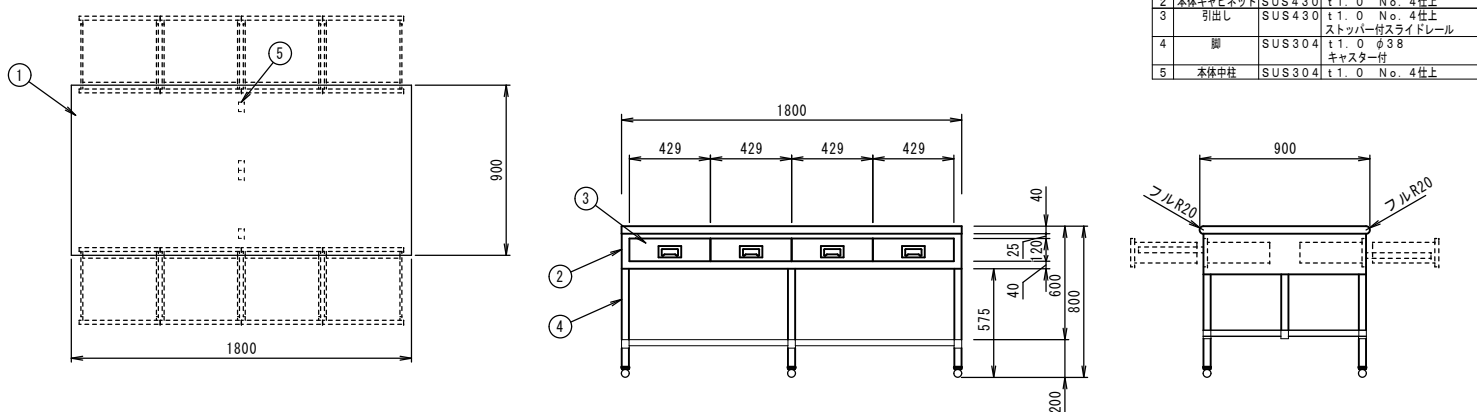
Table listing specifications for shoe rack, including materials and details.

大型三面鏡 (キタキ付) 1か所



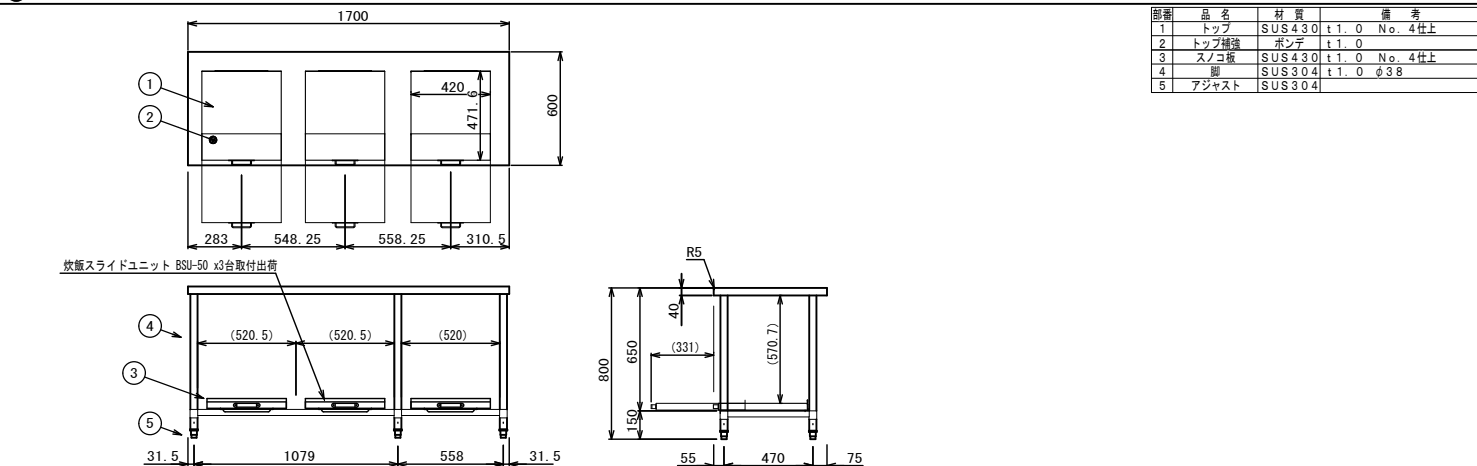
⑥ 試食台 5か所

1/20



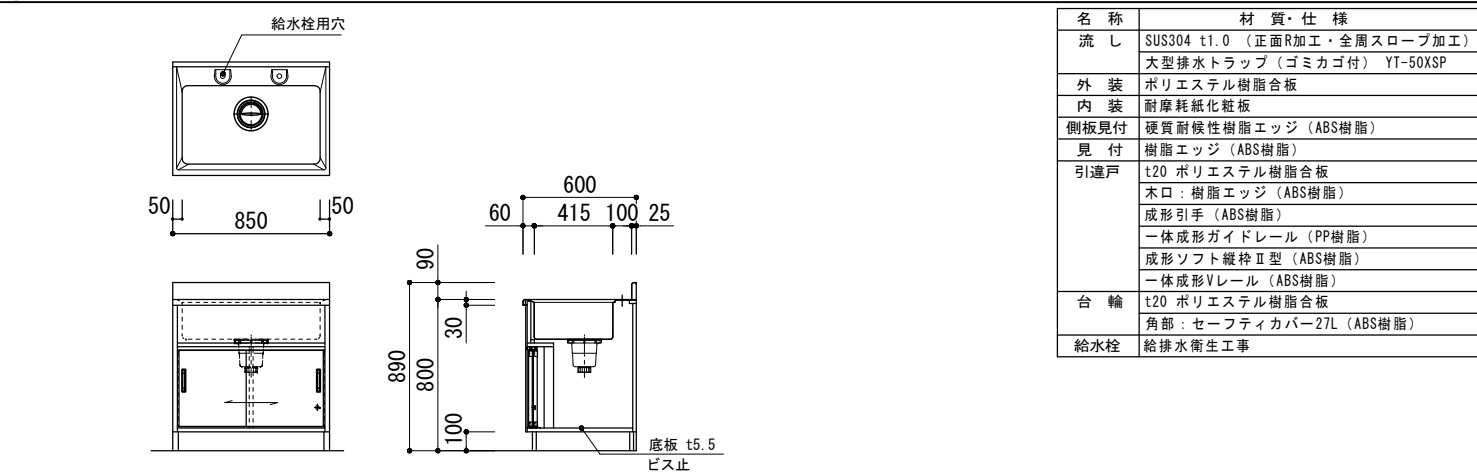
⑦ 作業台 1か所

1/20



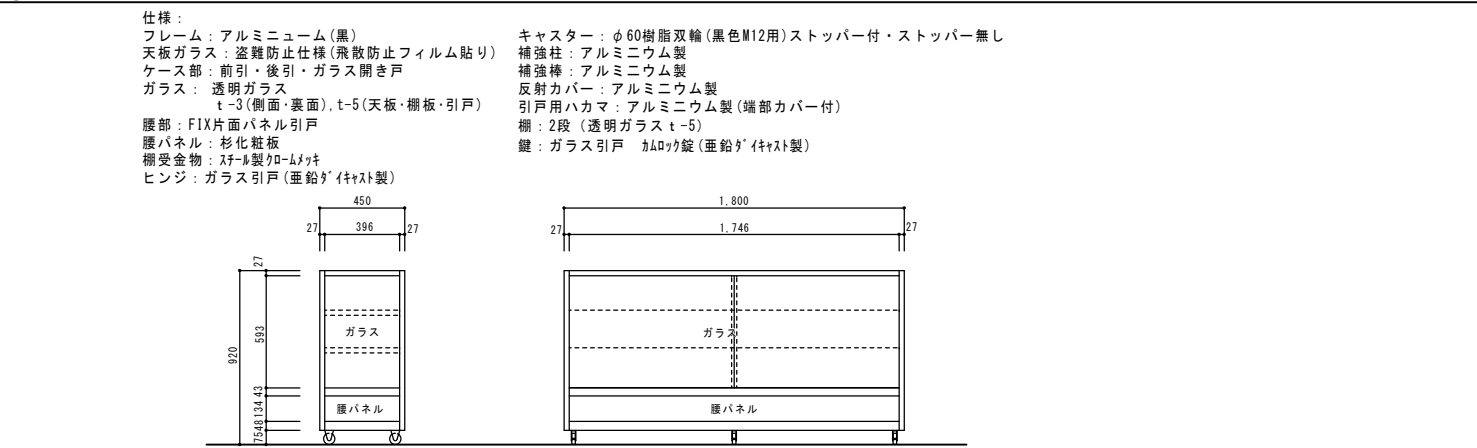
⑧ 流し台 1か所

1/20



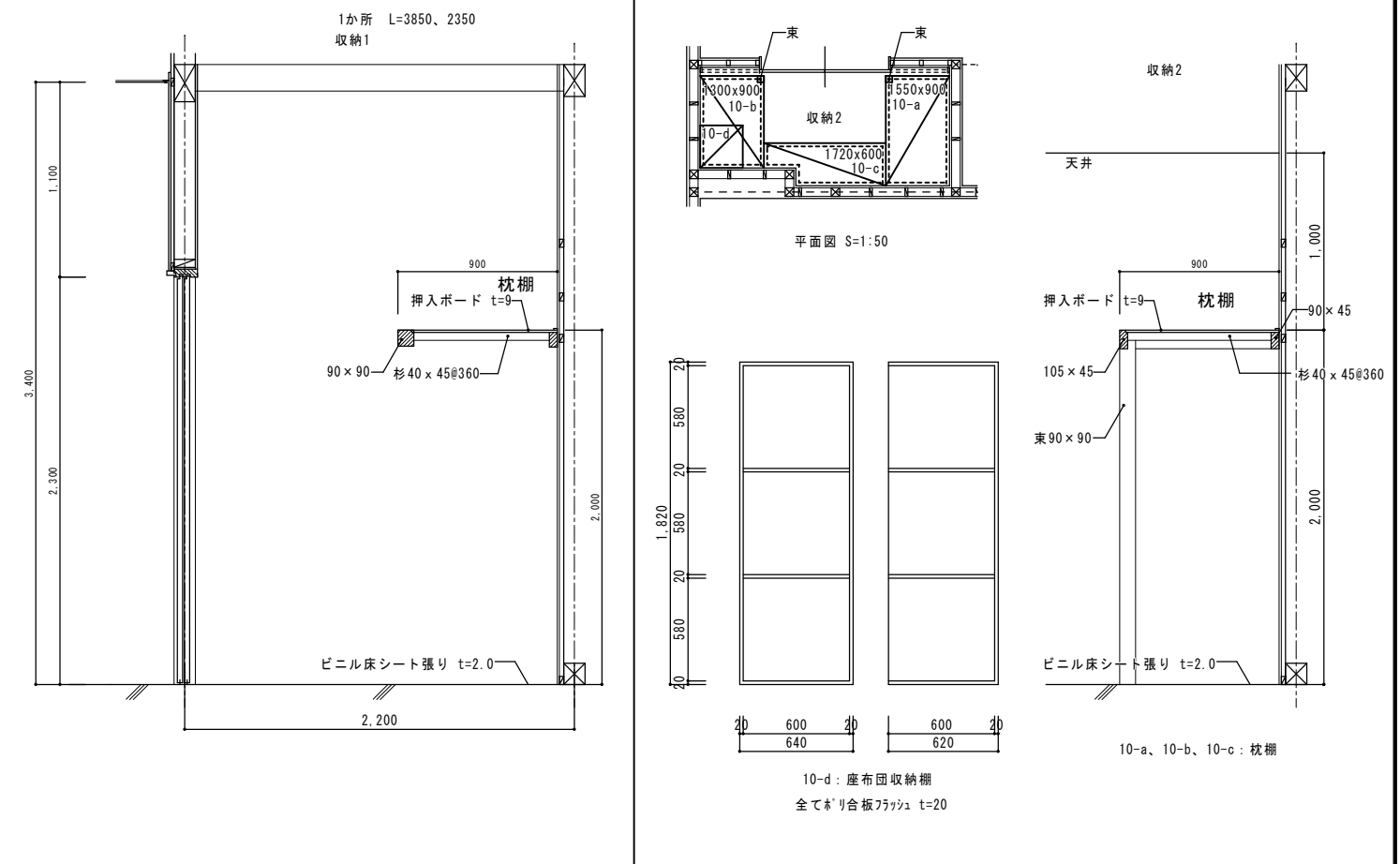
⑨ 陳列ケース 3か所

1/20



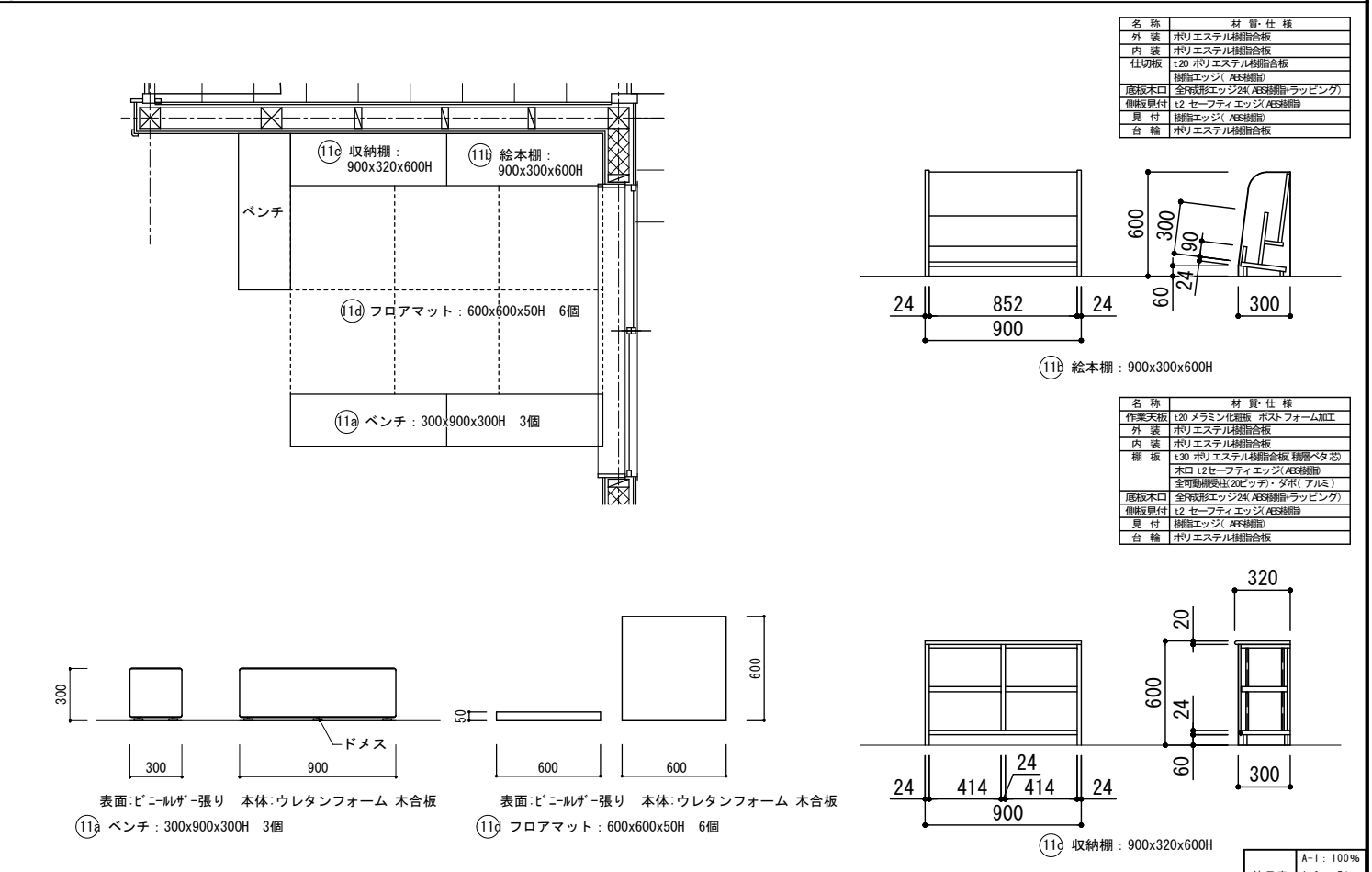
⑩ 枕棚

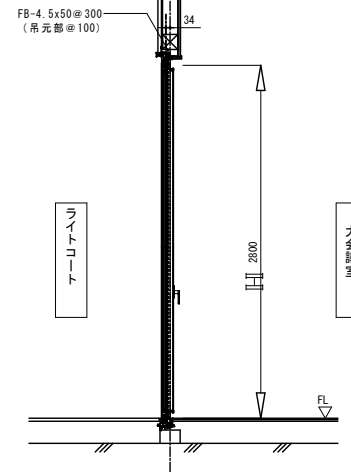
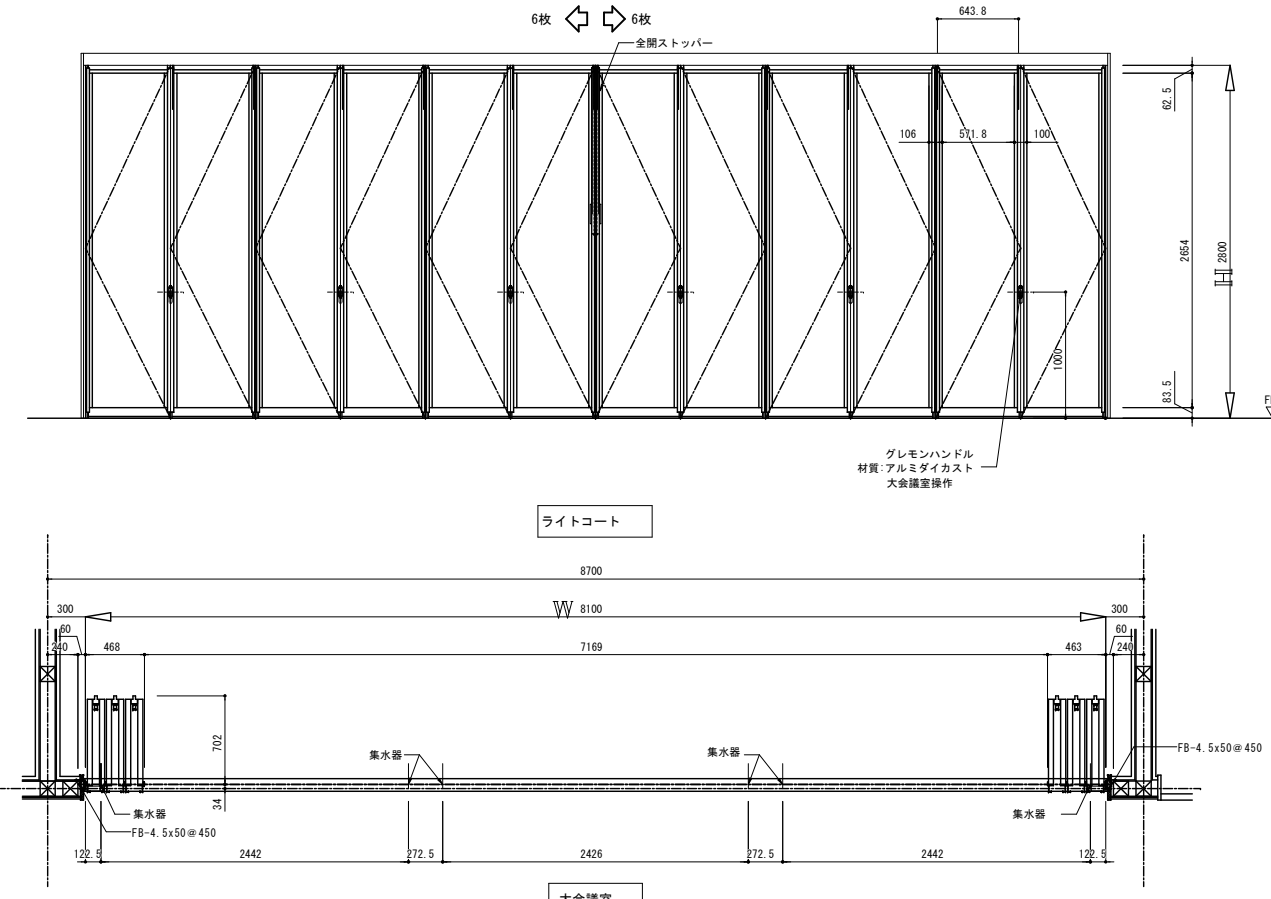
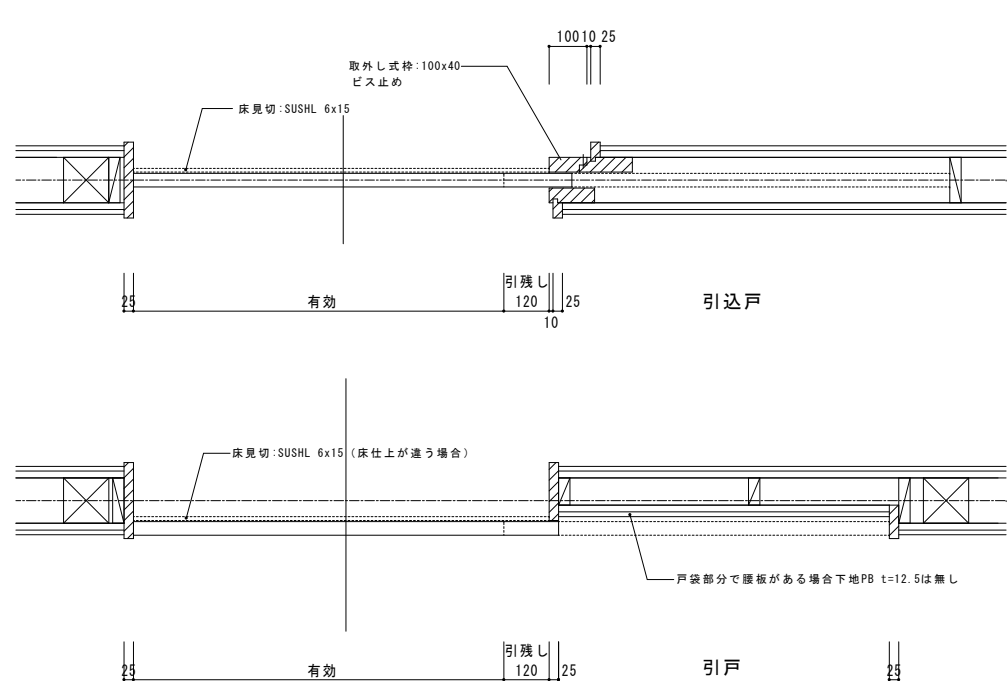
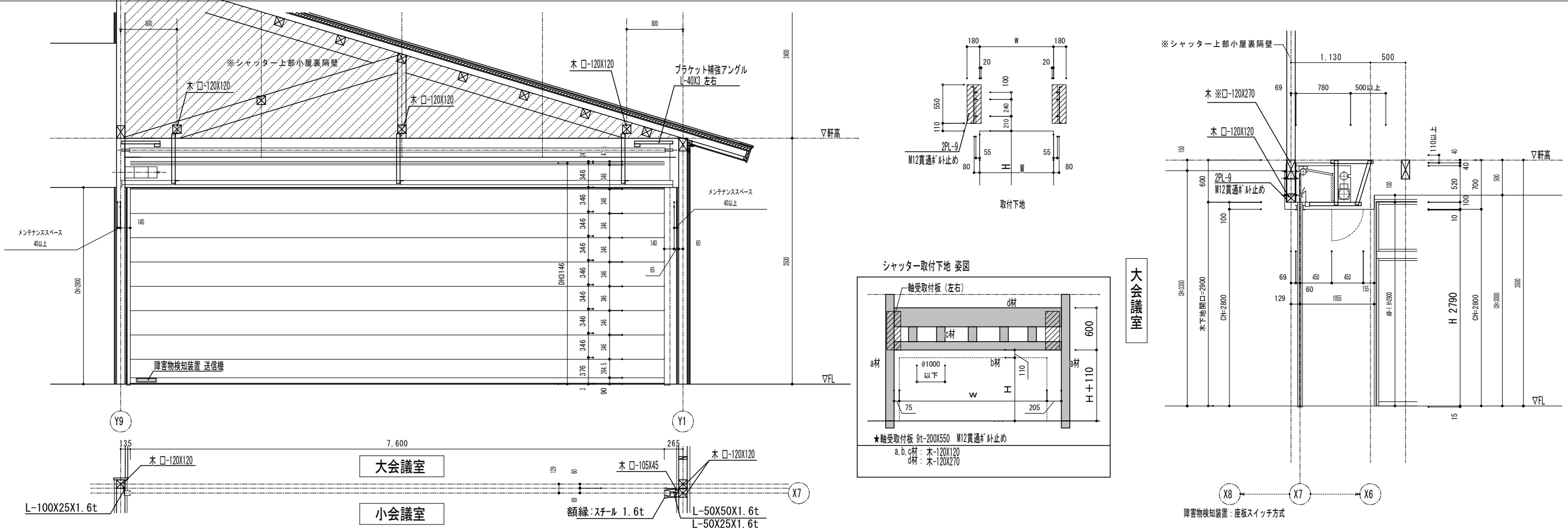
1/20



⑪ 収納棚・本棚・ベンチ

1/20



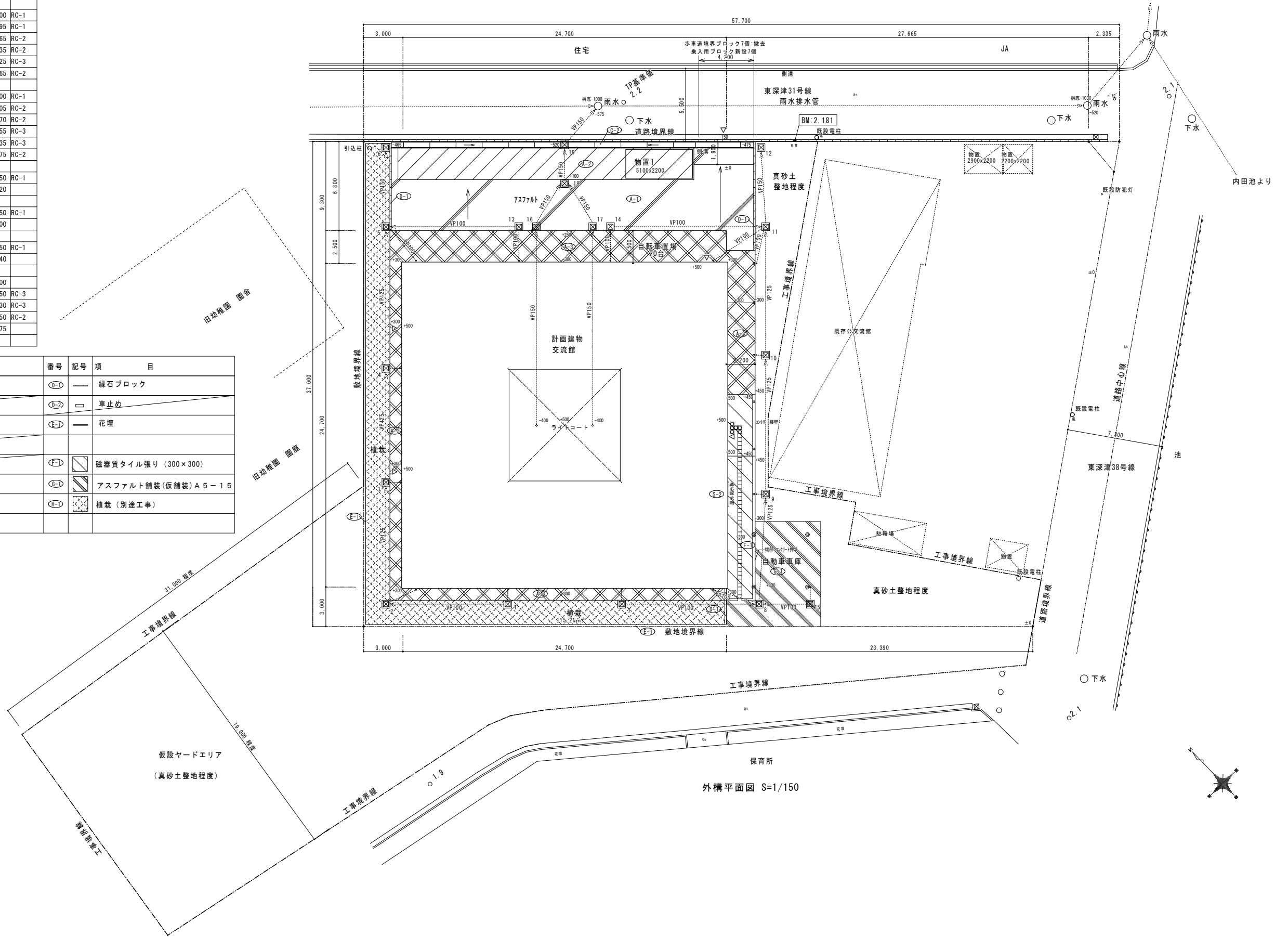


訂正	月日	<p>原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214</p>	<p>建築士事務所所在地島根知事登録第22(1)0409号 一般建築士 第293830号 甲斐 宣行</p>	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	福山市深津交流館改築工事	区分
				第 号	2023年 3月		図面名称		縮尺
				作図	変更年月		建具詳細図	1:30 1:10	図面番号
				第 号					A-031

樹リスト (勾配は1/100~1/150程度とする)

樹記号	樹高さGL	管底(GL)	管底(樹)	樹番号
1	0.2	-0.100	-0.300	RC-1
2	0.2	-0.195	-0.395	RC-1
3	0.2	-0.265	-0.465	RC-2
4	0.2	-0.335	-0.535	RC-2
5	0.2	-0.425	-0.625	RC-3
6	0	-0.465	-0.465	RC-2
7	0.2	-0.100	-0.300	RC-1
8	0.3	-0.205	-0.505	RC-2
9	0.3	-0.270	-0.570	RC-2
10	0.3	-0.355	-0.655	RC-3
11	0.2	-0.435	-0.635	RC-3
12	0	-0.475	-0.475	RC-2
14	0.25	-0.100	-0.350	RC-1
11	0.2	-0.220	-0.420	
13	0.25	-0.100	-0.350	RC-1
5	0.2	-0.200	-0.400	
15	0.25	-0.100	-0.350	RC-1
8	0.3	-0.140	-0.440	
サイトコート		-0.400	-0.400	
16.17	0.25	-0.500	-0.750	RC-3
18	0.1	-0.530	-0.630	RC-3
19	0	-0.550	-0.550	RC-2
道路	0	-0.575	-0.575	

番号	記号	項目	番号	記号	項目
(A-1)	斜線	アスファルト舗装 A5-15	(E-1)	縦石ブロック	
(A-2)	斜線	カラー舗装 A.5-1-5	(E-2)	車止め	
(A-3)	斜線	コンクリート土間	(E-3)	花壇	
(C-1)	U型溝	U型側溝 溝巾300 SUSケレッチャ細目(T20)	(E-4)	磁器質タイル張り(300x300)	
(C-2)	U型溝	U型側溝 溝巾300 SUSケレッチャ細目(T2)	(E-5)	アスファルト舗装(仮舗装)A5-15	
(C-3)	自由勾配側溝	自由勾配側溝 溝巾300 ケレッチャ細目(T20)	(E-6)	植栽(別途工事)	
(A-4)	斜線	コンクリート直押え目地切@2,500内外			
	点字ブロック	点字ブロック・点字タイル			



外構平面図 S=1/150

訂正	月日	

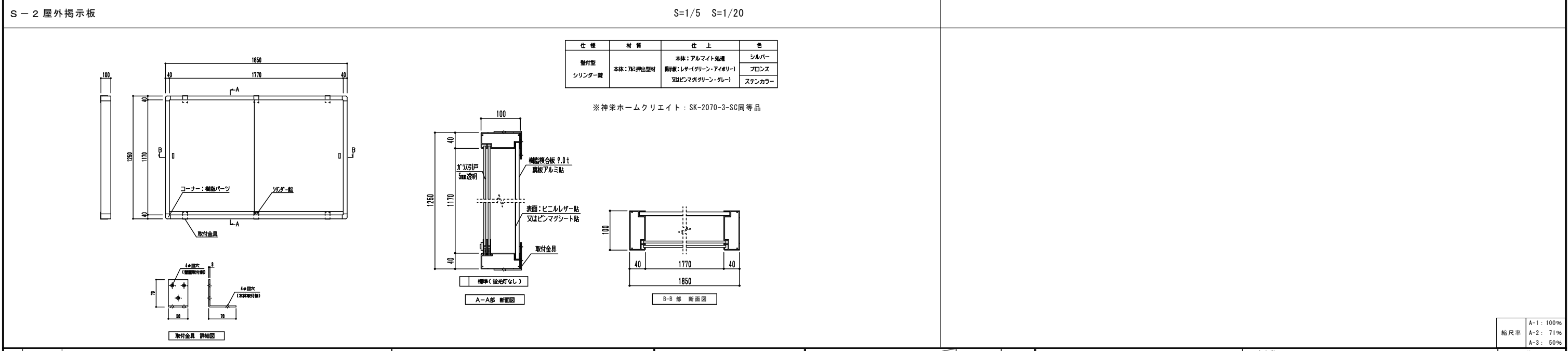
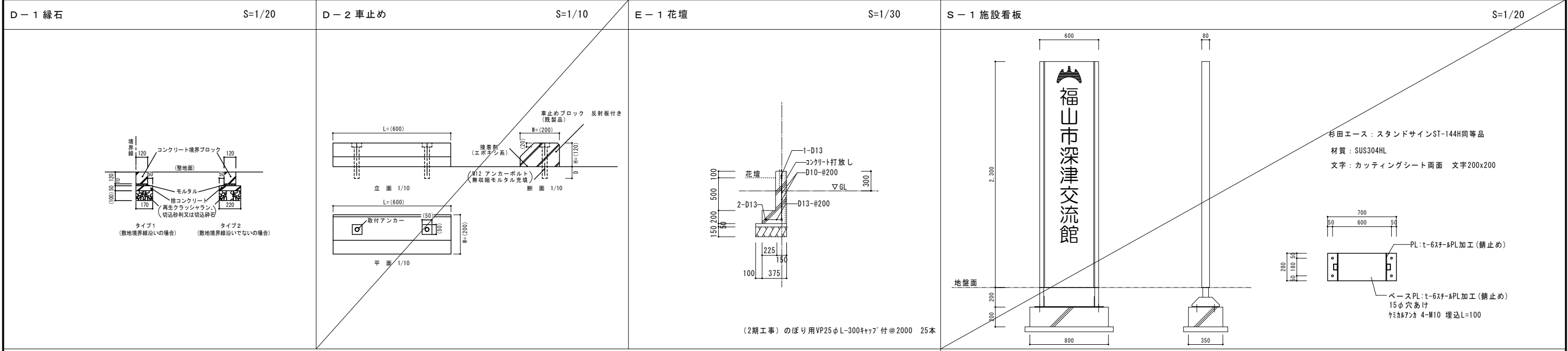
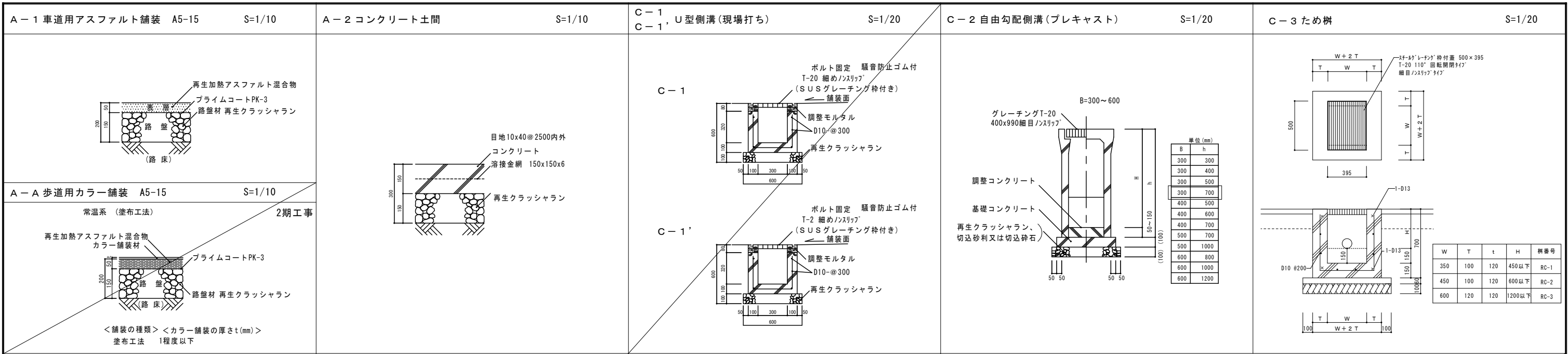
原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号

構造設計-建築士	第 号	担当	設計年月	2023年3月
建築設計-建築士	第 号	作図	変更年月	

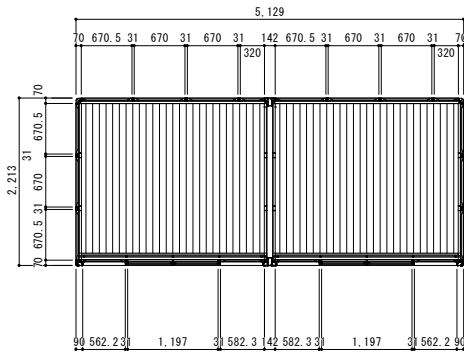
福山市建設局建築部営繕課

工事名称	福山市深津交流館改築工事
図面名称	外構平面図
縮尺	1:150

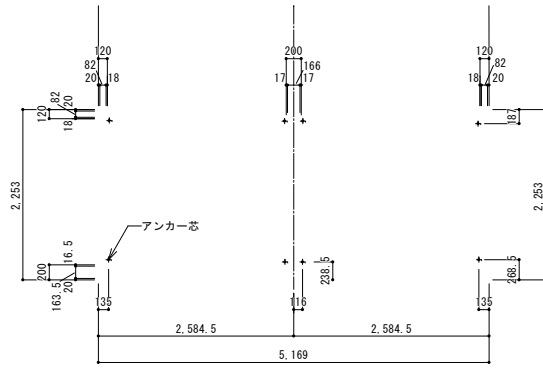
縮尺	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%
区分	建築(A)
図面番号	A-032



物置1

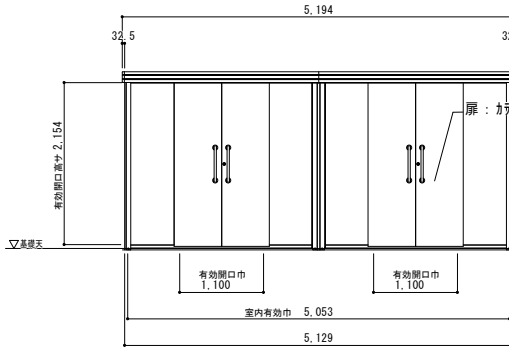


平面図 1/50

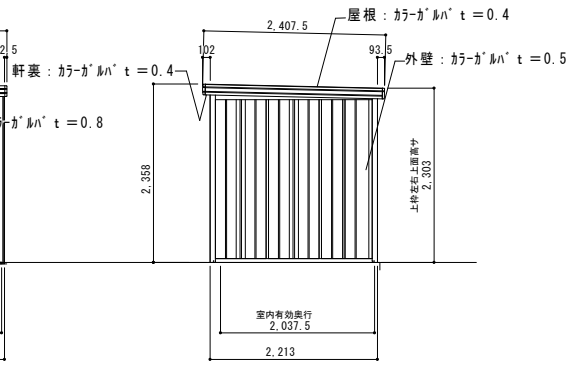


基礎伏図 1/50

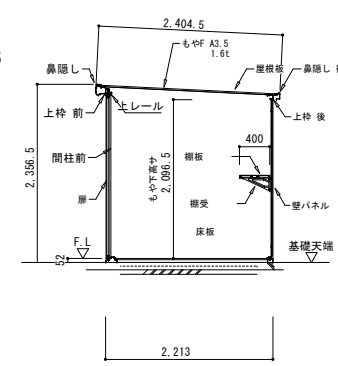
※ ヨド物置エルモLMD-5122HW/正面:引戸2ヶ所、奥面:全面横1段付(深川製鋼所)又は同等品
その他木工事部材①種(A2.0型)②種セット③種防雨止屋根④内アンカー



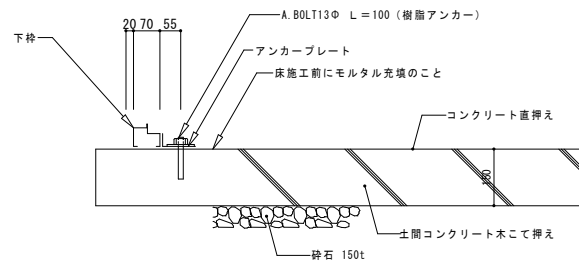
正面図 1/50



側面図 1/50

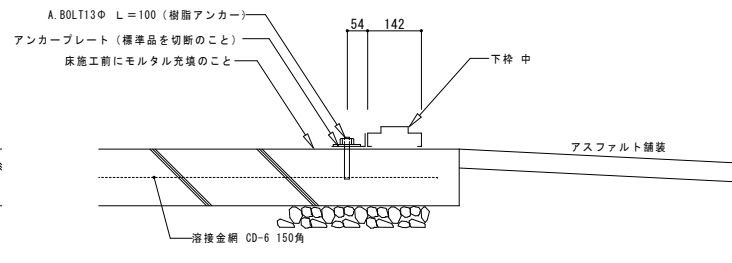


断面図 1/50

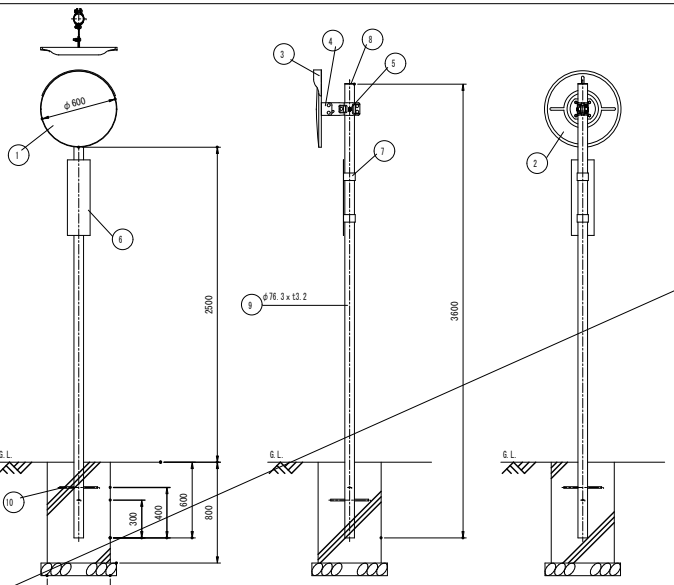


基礎・土間・根太受ブロック断面詳細図 1/10

コンクリート強度:Fc21N/mm²



カーブミラー



積水樹脂:ジスロン ハイドロクリンミラー SUS 600S同等品

品番	品名	数量	材質	備考
1	鏡 面	1	ステンレス	φ600
2	基 座	1	SPHC	
3	フ ード	1	ポリカーボネート樹脂	青色
4	裏板取付金具	1	SPHC	溶接差込めっき
5	受付取付金具	1	SPHC	溶接差込めっき
6	注 意 板	1		
7	取付バンド	2		
8	キャップ	1	ポリエチレン樹脂	黒色
9	A.P.支柱	1	STK400, 差込めっき	静電帯電防止, 青色
9	(P.P.支柱)	(1)	(STK400)	(静電帯電防止, 青色)
9	(めっき支柱)	(1)	(STK400)	(溶接差込めっき)
10	ネ カ せ	2	(φ12×200)	

※ 鏡面は、表面に防曇水化処理を施す

訂正	月 日	

原 設 計 株 式 有 限 公 司

〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号
 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行
 FAX 084-922-3214 第293830号

担当	設計年月	2023年3月
第 号	変更年月	
作図		
第 号		

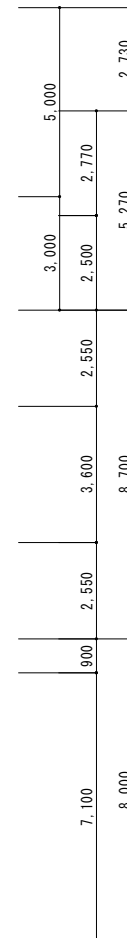
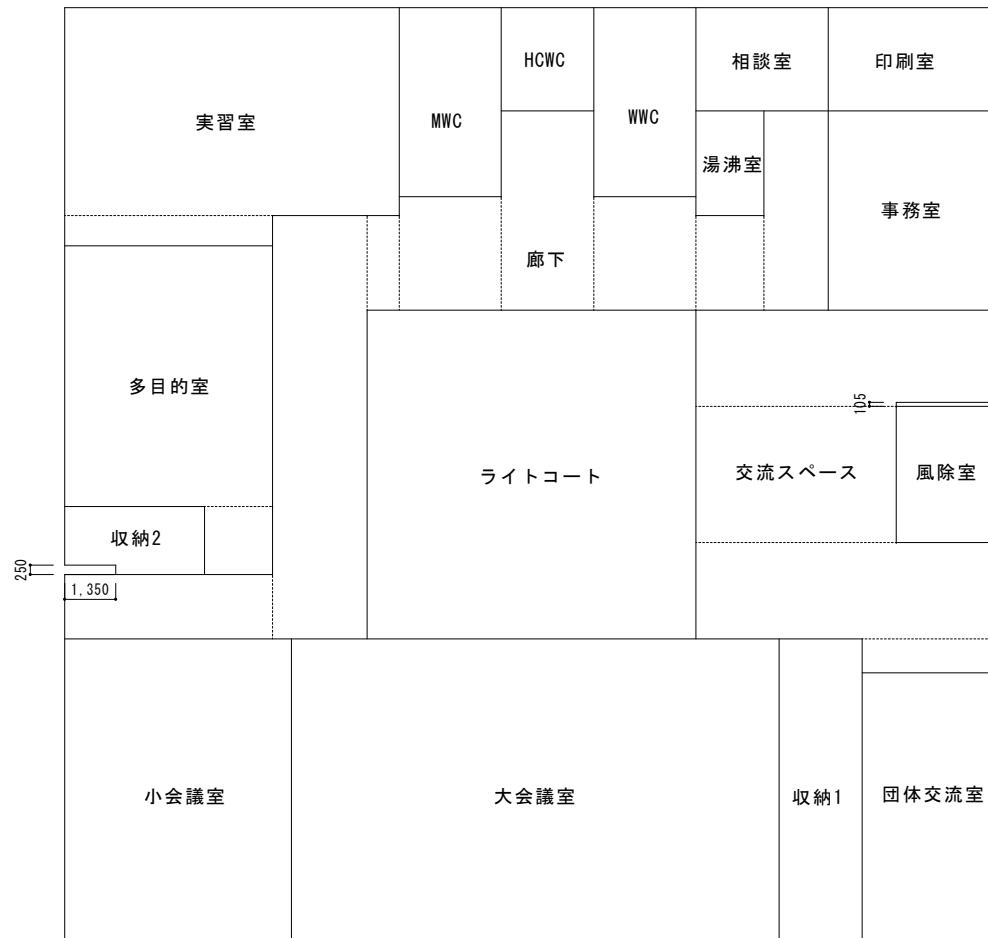
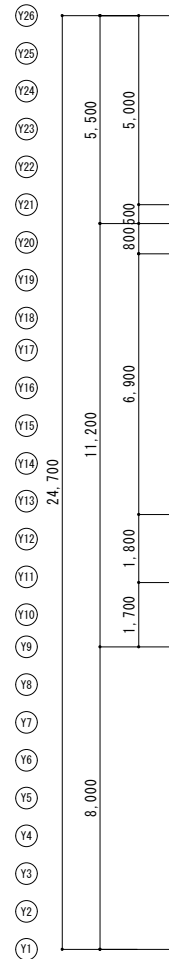
担 当	福山市建設局建築部営繕課
作 図	

工事名称	福山市深津交流館改築工事
図面名称	外構詳細図2

縮 尺	1:50 1:10 1:30
区 分	建築(A)
図面番号	A-034

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

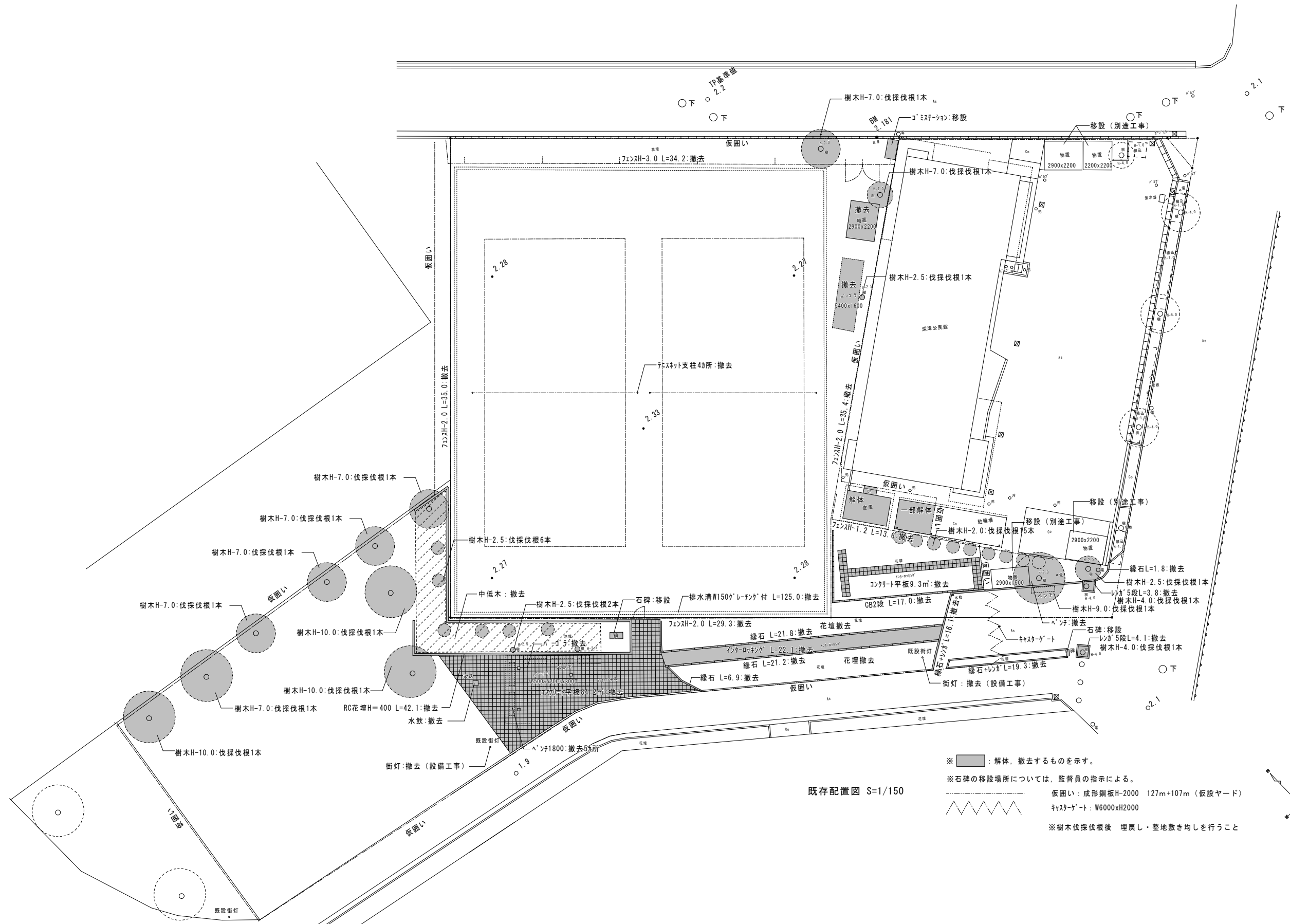
8,850		7,850			8,000		
8,000		850	2,700	2,450	2,700	3,500	4,500
5,500		2,500				5,300	2,700
3,700		1,800				1,800	1,700
						1,800	



6,000		12,900			2,200	3,600
8,000		8,700			8,000	
24,700						


階	室名	床面積算定式				計 (㎡)	
1階	大会議室	12.900	×	8.000	=	103.200	103.20
						計 103.200	
	小会議室	6.000	×	8.000	=	48.000	48.00
						計 48.000	
	団体交流室	3.600	×	7.100	=	25.560	25.56
						計 25.560	
	多目的室 (踏込含む)	5.500	×	6.900	=	37.950	41.19
		1.800	×	1.800	=	3.240	
						計 41.190	
	実習室	8.850	×	5.500	=	48.675	53.08
		5.500	×	0.800	=	4.400	
						計 53.075	
	交流スペース	8.000	×	2.550	=	20.400	62.84
		5.300	×	3.600	=	19.080	
		8.000	×	2.550	=	20.400	
	3.600	×	0.900	=	3.240		
	-2.700	×	0.105	=	-0.284		
					計 62.836		
					計 62.84		
風除室	2.700	×	3.600	=	9.720	9.72	
					計 9.720		
事務室	4.500	×	5.270	=	23.715	23.72	
					計 23.715		
印刷室	4.500	×	2.730	=	12.285	12.29	
					計 12.285		
相談室	3.500	×	2.730	=	9.555	9.56	
					計 9.555		
湯沸室	1.800	×	2.770	=	4.986	4.99	
					計 4.986		
WWC	2.700	×	5.000	=	13.500	13.50	
					計 13.500		
HCWC	2.450	×	2.730	=	6.688	6.69	
					計 6.688		
MWC	2.700	×	5.000	=	13.500	13.50	
					計 13.500		
収納1	2.200	×	8.000	=	17.600	17.60	
					計 17.600		
収納2	3.700	×	1.800	=	6.660	6.32	
	-1.350	×	0.250	=	-0.337		
					計 6.323		
廊下	5.500	×	1.700	=	9.350	82.05	
	2.500	×	11.200	=	28.000		
	0.850	×	2.500	=	2.125		
	2.700	×	3.000	=	8.100		
	2.450	×	5.270	=	12.911		
	2.700	×	3.000	=	8.100		
	1.800	×	2.500	=	4.500		
	1.700	×	5.270	=	8.959		
					計 82.045		

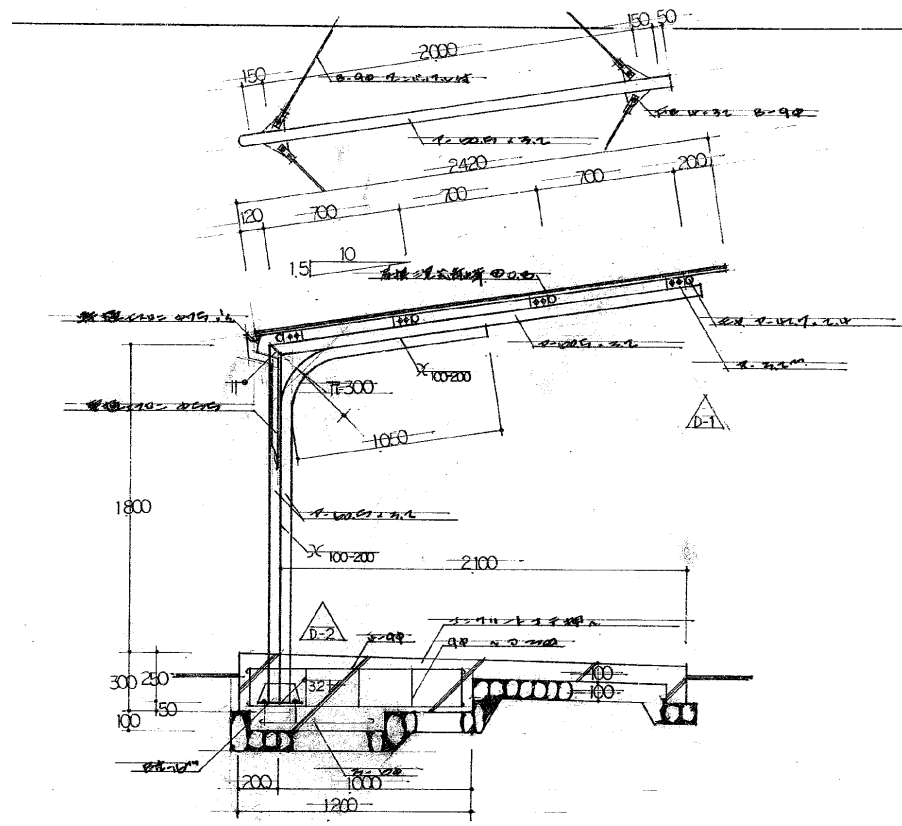
縮尺率 A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%



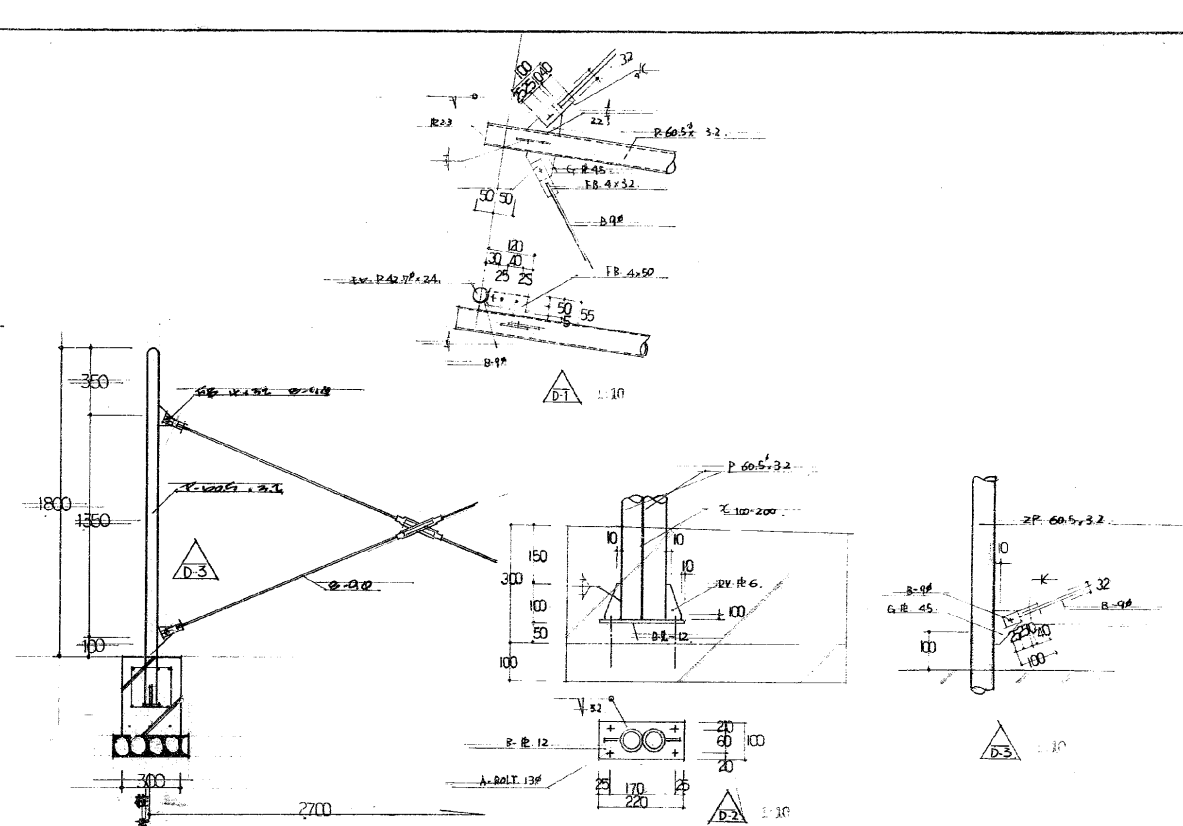
既存配置図 S=1/150

- ※ [Hatched Box] : 解体、撤去するものを示す。
- ※ 石碑の移設場所については、監督員の指示による。
- 仮囲い：成形鋼板H-2000 127m×107m（仮設ヤード）
 - キャスターゲート：W6000×H2000
- ※ 樹木伐採伐根後 埋戻し・整地敷き均しを行うこと

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	建築設計-一級建築士 第 号 建築設計-一級建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)	
			一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号				図面名称 既存配置図	縮尺 1:150	図面番号 A-037
							縮尺	A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%	

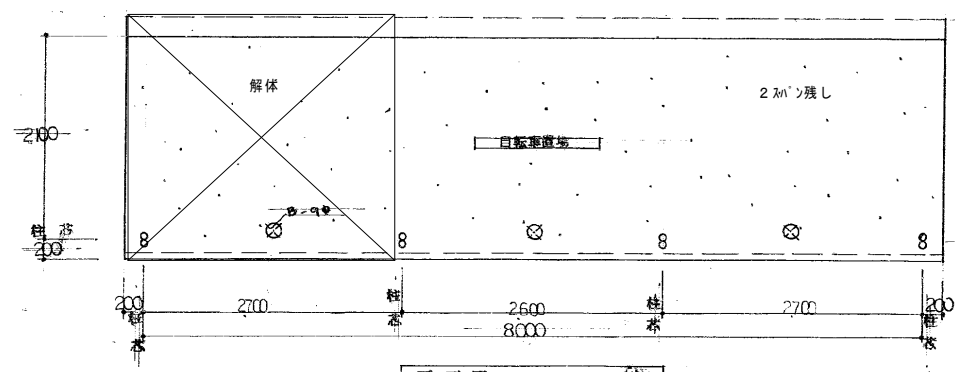


断面詳細図 縮尺 1:20

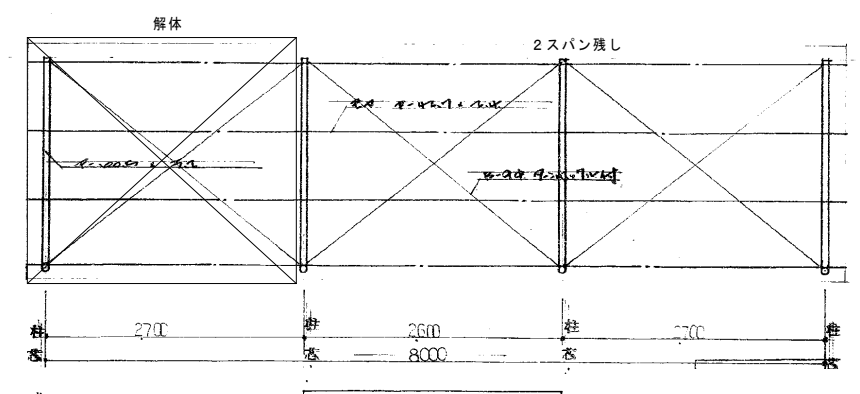


鉄骨詳細図 縮尺 1:20


※ 塗装 : FCL52 B 種
 ・さし止め 重荷化頑さり止めAC12種 2面塗り
 ・中塗り厚以上塗り 油性顔料AC12 2面塗り 1.2L

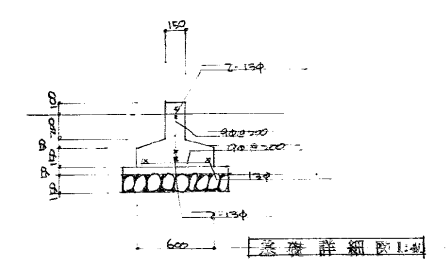
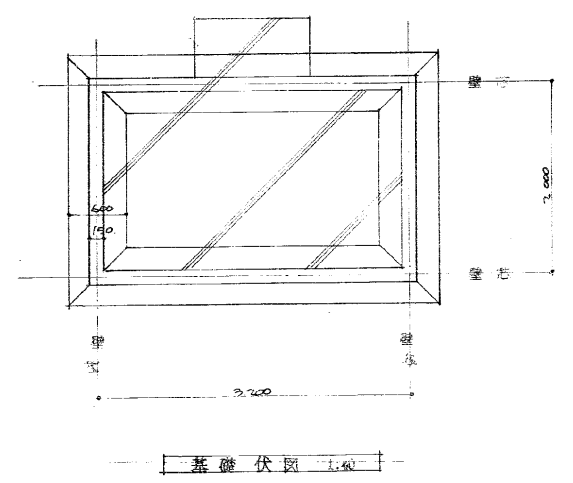
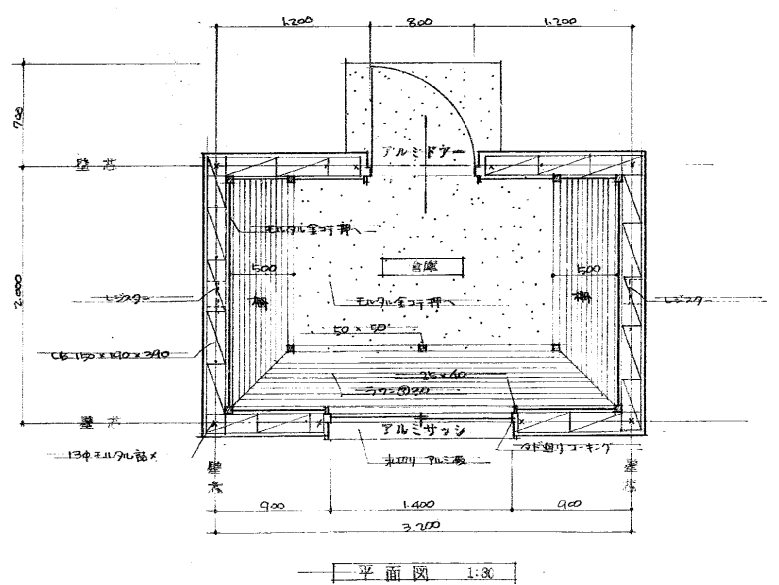
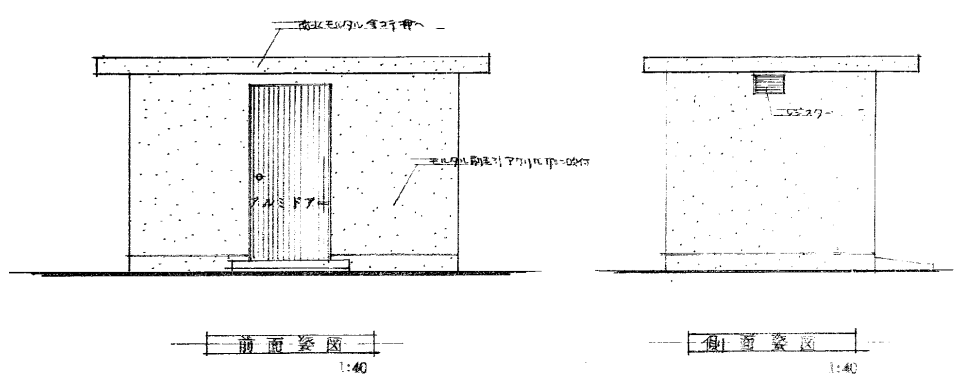
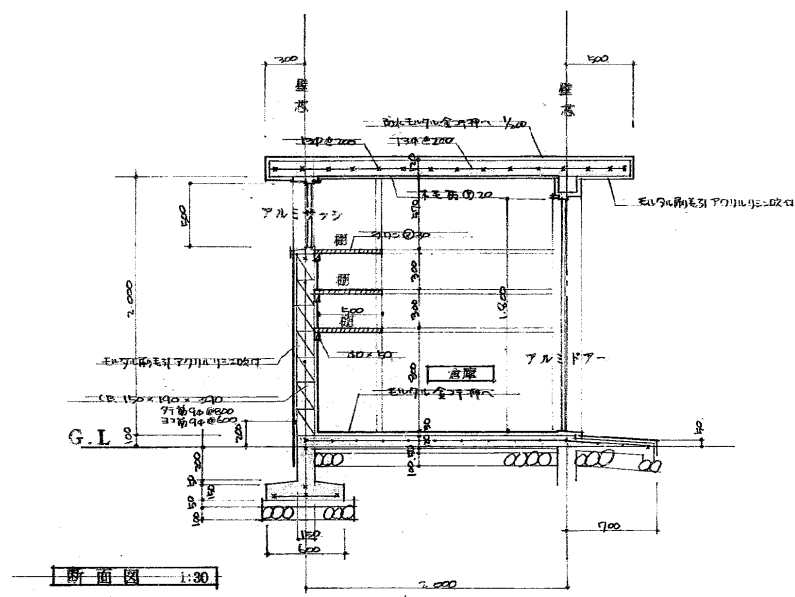



平面図 縮尺 1:40



小屋伏さ 縮尺 1:40

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所在地島根県知事登録第 22 (1) 0409 号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	担当 設計年月 2023年3月 作図 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 解体駐輪場図	区分 建築(A) 縮尺 1:40 1:20 図面番号 A-038



訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所在島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214 第293830号	構造設計-建築士 第 号 建築設計-建築士 第 号	担当 - 作図	設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 建築(A)
			図面名称 解体倉庫図	縮尺 1:40 1:30	図面番号 A-039			

章 項	特 記 事 項	章 項	特 記 事 項	章 項	特 記 事 項	章 項	特 記 事 項
④ ① 基礎	※ 直接基礎 (○地盤改良 (・表層改良 ○柱状改良)) 設計地耐力 20 KN/m ² 50 ・杭基礎	5 場所打ちコンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する (4.5.2) 寸法等 (4.5.1~7)	⑦ コンクリートの材料	セメント セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントA種 ・シリカセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	6 ターンバックル	鋼の種類 ※割切式 ボルトの種類 ※羽子板ボルト (7.2.6)
② 試験及び報告書	試験杭 位置、本数及び寸法 杭の載荷試験 ※行わない 地盤の載荷試験 ※行わない	⑥ 砂利及び砂地業	鉄筋の種類 ・A種 ※B種 ・評定等の内容による コンクリートの設計基準強度 () N/mm ² 以上 構造体強度補正值 ・3N/mm ² ・構造図による・評定等の内容による セメントの種類 ※高炉セメントB種 スラブ値 ※18cm 鉄筋の種類 ※5章鉄筋工事の鉄筋の種類による 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 鋼管径・板厚・長さ ※構造図による 掘削工法 ・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水強 ・行う ・行わない) 併用する工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK00 ・SKK490 () ・掘削工法 (安定液 ※使用する ・使用しない) 孔壁測定 ※行う 測定方法 ※超音波測定器 測定場所 ※試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 ・行わない 鉄筋ごとの補強 ・標準仕様書4.5.4(1)(f)(g)による ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ ・100mm 鉄筋の重ね継手長さ、主筋の基礎底盤への定着長さ ※構造図による 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内・評定条件または認定条件による	⑧ コンクリート製造工場の選定	※ レディミクストコンクリート工場の選定は、監督員の承諾を受ける。 (6.4.1)	7 デッキプレート	材 料 ・モルタル ・無収縮モルタル (表7.2.5) (7.2.9) 工 法 ※A種 ・B種 (表7.10.2)
3 既製コンクリート杭地業	施工管理技術者 ※適用する (4.3.2) 種類 (4.3.1~8) ・適心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・外設鋼管付きコンクリート杭 (SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 寸法、継手、性能等	⑦ 捨コンクリート地業	厚さ (mm) ※50 (4.6.4)	⑨ 強度	構造体強度補正值 S (N/mm ²) 適用箇所 ※建物本体 (6.3.2) (表6.3.2)	8 柱底均しモルタル	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.12) (表7.6.2~7.6.3) ※行う ・行わない 工場溶接の場合 A O Q L ※4.0% ・2.5% 節 ※全て 検査基準 ※第6水準
	先端部材形状 ・開放形 ・半開放形 ・閉鎖形 なお、特定埋込杭工法における杭材はJIS又は認定条件に適合するものとする ネガティブフリクション対策 ※不要 ・要 (構造図による) ・アーク溶接継手 ・標準仕様書4.3.6による 溶接材料 ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・構造図による ・機械式継手 (※評定等を受けたもの) 機械式継手は評定等により定められた項目の検査を行う 施工は評定等に記された施工管理基準による 杭頭の処理 ・切断しない ・切断する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による 杭頭の中詰材料 ※コンクリート (基礎コンクリートと同調合) () 施工方法 ・セメントミルク工法 アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・1.5m程度 杭の支持地盤への根入れ深さ ・1.0m以上 ・特定埋込杭工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法 ・H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=、β=、γ= を採用できる工法 工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周囲固定液の使用 ・する ・しない 杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 杭の傾斜 ・1/100以内・評定条件または認定条件による	⑧ 床下防湿層	※ ポリエチレンフィルム 厚 ※0.15mm以上 (4.6.5)	10 露中コンクリート	※ 日平均気温の平年値が25度を超える期間にコンクリートを打ち込む場合 (6.12.1~6.12.4) 構造体強度補正值 S (N/mm ²) 6.0 N/mm ²	9 溶接部の試験	工事現場溶接の場合 ※ 全ての溶接部
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑨ 断熱材	※ 19章「内装工事」9項「断熱材」による	11 露中コンクリート	適用期間 (1月~2月) (6.11.1~6.11.6)	10 錆止め塗装	鉄面 ・JIS K5674 工場 回塗り 現場 回塗り (7.8.1~7.8.4) ・JIS K5551, 5552 工場 回塗り 現場 回塗り (18.7.2) 亜鉛めっき面 ※18章 塗装工事による 耐火被覆材の接着面 ・行う ・行わない (7.8.2) 種類及び性能 (7.9.1~7.9.9)
4 鋼杭地業	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑩ 鉄筋の種類	鉄筋 (表5.2.1)	12 型枠のせき板	※ 合板 (12mm) ・合板 (15mm) (6.8.2) ・床型枠用鋼製デッキプレート (実績等の資料を提出) ・メッシュ型枠 () ・断熱材用型枠 (25mm以下かつ熱抵抗値1m ² /Kcal以上) ・MCR工法用シート (気泡発泡ポリエチレンシート)	11 耐火被覆	種別 ※A種 (軽量形鋼は板厚によりB種・C種とする。) (7.12.4) 表14.2.2
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑪ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	13 外部に面するコンクリート打放し仕上	※ 打増厚さ (20mm) (6.8.2)	12 溶融亜鉛めっき工法	材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑫ 鉄筋の種類	鉄筋 (表5.2.1)	14 マスコンクリート	セメントの種類 () (6.13.2) 混和材料 () 適用箇所 ()	13 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	摩擦面の処理 詳細は鉄骨工事仕様書による (7.12.5) ・リン酸塩処理 ※プラスト処理
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑬ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	15 水密コンクリート	水セメント比 (/wt) スラブ (cm) 適用箇所 ※50 ・ ※15 ・		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑭ 鉄筋の種類	鉄筋 (表5.2.1)	16 打継部	止水板 止水ゴムの製造所 () 適用箇所 () 打継ぎ位置 ※図示による 打継ぎ位置 ※標準による		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑮ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	17 無筋コンクリート	適用箇所 ※ 6.14.11による (6.14.1) 粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) (6.14.2) ※ 25mm以下 コンクリートの品質 (6.14.1)		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑯ 鉄筋の種類	鉄筋 (表5.2.1)	18 流動化コンクリート	・適用 () (6.15.1)		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑰ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	19 鉄骨製作工場及び施工管理技術者	鉄骨製作工場 ・次表による加工能力のある工場 ・監督員の承諾する工場 (7.1.3~4) 製作工場の加工能力		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑱ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	20 鋼材	施工管理技術者 ※適用する (7.2.1)(表7.2.1) ※適用しない		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	⑳ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	21 高力ボルト	トルシア形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (S10T)) (7.2.2) ・JIS形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (F10T)) ・溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 ※ 1種 (F8T相当)) ボルト径 ※図示による		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	㉑ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	22 普通ボルト	ボルト及びナットの材料等 ※表7.2.3による (7.2.3) ボルト径 ※図示による		
	施工管理技術者 ※適用する (4.4.2) 種類の記号 ・SKK400 ・SKK490 (4.4.1~6) 寸法、継手、性能等	㉒ コンクリートの強度	※ 普通コンクリート (6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)	23 アンカーボルトの材質及び設置	材質 構造用アンカーボルト ・ABR400 ・ABR490 ・ABR520 SUS (7.2.4)(7.10.3) 建方用アンカーボルト ・S400 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状・寸法 (表7.10.1) ※図示による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・A種 ※B種 ・その他		



鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295, SD345	D16以下	D19~D38
180°				
135°				
90°				
135°及び90°				
折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		
		SD295, SD345, SD390	D16以下	D19~D25
90°未満				

(注) 1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

異形鉄筋のフック

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。

- 柱の四隅にある主筋の重ね継手（下図(a)の●印で示す鉄筋）
- 最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着（下図(a)の●印で示す鉄筋）
- 梁の出隅及び下端の両側にある梁主筋の重ね継手（基礎梁を除く。）（下図(b)の●印で示す鉄筋）

1) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む。）
 2) 杭基礎のベース筋
 3) 帯筋、あばら筋及び幅止筋

鉄筋の継手及び定着

- 鉄筋の継手**
鉄筋の重ね継手は、次による。
原則として、D35以上の異形鉄筋については、重ね継手を用いない。
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
7) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。
特記がなければ、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40d（軽量コンクリートの場合は50d）又は下表の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。
4) 7) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下表による。

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1n} (フックなし)
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24, 27, 30, 33, 36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24, 27, 30, 33, 36	40d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

(注) 1. L₁, L_{1n}: 重ね継手の長さ及びフックありの重ね継手の長さ
2. L_{1n}: 下図に示すようにフック部分に1を含む。
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



鉄筋の定着

- 鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、下表による。
- | 鉄筋の種類 | コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²) | 直線定着の長さ | | | フックあり定着の長さ | | |
|-------|--|----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | L ₁ | L ₂ | L ₃ | L _{1n} | L _{2n} | L _{3n} |
| SD295 | 18 | 45d | 40d | 30d | 35d | 30d | 25d |
| | 21 | 40d | 35d | 30d | 30d | 25d | 20d |
| | 24, 27, 30, 33, 36 | 35d | 30d | 25d | 25d | 20d | 20d |
| SD345 | 18 | 50d | 40d | 30d | 35d | 30d | 25d |
| | 21 | 45d | 35d | 30d | 30d | 25d | 20d |
| | 24, 27, 30, 33, 36 | 40d | 30d | 25d | 25d | 20d | 20d |
| SD390 | 21 | 50d | 40d | 30d | 35d | 30d | 25d |
| | 24, 27 | 45d | 40d | 25d | 35d | 30d | 25d |
| | 30, 33, 36 | 40d | 35d | 30d | 30d | 25d | 25d |

- L₁, L_{1n}: 2から4.まで以外の直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
 - L₂, L_{2n}: 割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックありの定着の長さ
 - L₃: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
 - L_{1n}, L_{2n}: 小梁の下端筋のフックありの定着の長さ。
 - フックありの定着の場合は、下図に示すようにフック部分Iを含む。また、中間部での折曲げは行わない。
 - 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
-

- 定着の方法**
仕口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さし、フックありの定着の長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法は、特記による。特記がなければ、下図により、下記の条件を全て満足するものとする。
(a) 全長は、7)の直線定着の長さ以上とする。
(b) 余長は、8d以上とする。
(c) 柱口面から鉄筋外面までの投影定着長さし、及びL₁, L₂は、下図に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。
-

- 鉄筋の投影定着長さ**

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L ₁		L ₂
		L _{1a}	L _{1b}	L ₂
SD295	18	20d	15d	15d
	21	15d	15d	15d
	24, 27, 30, 33, 36	15d	15d	15d
SD345	18	20d	20d	20d
	21	20d	20d	20d
	24, 27, 30, 33, 36	15d	15d	15d
SD390	21	20d	20d	20d
	24, 27	20d	20d	20d
	30, 33, 36	20d	20d	15d

- L_{1a}: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）
- L_{1b}: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- 隣り合う継手の位置**
隣り合う継手の位置は、下図による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

- 溶接金網の継手及び定着**
L₁は、1. 4), L₂及びL₃は、2. 7)による。
-

- スパイラル筋の継手及び定着**

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 鉄筋（溶接金網含む）の最小かぶり厚さ（mm）
柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)	
	スラブ、耐力壁	柱、梁、耐力壁
土に接しない部分	20	30
土に接する部分	柱、梁、耐力壁	30
	基礎、擁壁、耐力スラブ	40
煙突等高温を受ける部分	60	60

- 普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上げ材料、塗料等）のものを除く。
- スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

- 鉄筋相互のあき**
(1) 次の値のうち最大のものを以上とする。
(ア) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(イ) 25mm
(ウ) 隣り合う鉄筋の径の平均の1.5倍
(エ) 隣り合う鉄筋の径の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきも、同様とする。
 - 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
-

記号	丸鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ
○	●	×	∅	●	○	○	○	○	○

基礎の配筋

- 直接基礎の配筋**
(1) 独立基礎 (2) 連続基礎

- 基礎接合部の補強配筋**

基礎梁の配筋

- 基礎梁主筋の継手、定着及び余長**
1) 一般事項
(ア) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
(イ) 梁筋を柱内に定着する場合は、梁の配筋1. 1) (イ)による。
- 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長
1. 図示のない事項は、大梁の項による。
2. ●印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
- 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長
ただし、耐圧スラブがつく場合は4)による。
1. 図示のない事項は、大梁の項による。
2. ●印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
- 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長
1. 図示のない事項は、大梁の項による。
2. ●印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

柱の配筋

- 柱主筋の継手、定着及び余長**
1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、「隣り合う継手の位置」による。
3. 柱頭定着長さし確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。
4. 柱頭主筋について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。

- 帯筋組立の形及び割付け**
① H形 ② W-I形 ③ S P形（スパイラル筋） ④ 丸形

- H形を標準とする。
- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 溶接する場合の溶接長さしは、両面重ねアーク溶接の場合は5d以上、片面重ねアーク溶接の場合は10d以上とする。
- S P形において、柱頭及び柱筋の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。
- H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

(注) 1. 柱に取り付けに段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P₁又は1.5P₂とする範囲は、その柱に取り付けすべての梁を考慮して適用する。なお、P₁、P₂は、特記された帯筋の間隔を示す。

- 柱の打ち増し補強**

(1) 柱の打ち増し幅 (a₁, a₂) が70mm以上の場合の補強を示す。
(2) 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さしとする。
(3) 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。

梁の配筋

- 大梁主筋の継手、定着及び余長**
1) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項
(ア) 梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、下図による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。
(ウ) 段違い梁は、下図による。

上端筋は、一般のあばら筋より1サイズ大きい鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

- ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長**

(注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央L₁/2以内
下端筋：柱面より梁せいの(D)以上離し、L₁/4を加えた範囲以内
2. 梁の出隅及び下端の両側にある柱主筋が重ね継手の場合、フックを付ける。
3. ●印は、継手及び余長位置を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

- ハンチのある場合の定着及び余長**

(注) 1. 梁の出隅及び下端の両側にある柱主筋が重ね継手の場合、フックを付ける。
2. ●印は、継手及び余長位置を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、L₁のように引き通すことができる。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L₁の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

- あばら筋（小梁、片持ち梁、基礎梁含む）の組立の形及び割付け**
1) あばら筋組立の形及びフックの位置

(注) 1. (イ)形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)~(ニ)とすることができる。
2. フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ)の場合は、床版の付く側を90°折曲げとする。

- あばら筋の割付け**
(ア) 間隔が一律で、ハンチのない場合

(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP₁は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

- 間隔が一律で、ハンチのある場合**

(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP₁は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

- 梁の端部で間隔の異なる場合**

(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2. 図中のP₁、P₂は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

- 腹筋及び幅止筋**
(1) 一般の梁

1. 腹筋に継手をつける場合の継手長さは、150mm程度とする。
2. 幅止筋及び受け用幅止筋は、D10~1,000程度とする。

- 打ち増し補強**

1. 梁の打ち増し幅 (a₁, a₂) が70mm以上の場合の補強を示す。
2. あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さしとする。

小梁及び片持ち梁

- 小梁主筋の継手、定着及び余長**
1) 連続小梁の場合
(ア) 連続小梁の場合
(イ) 連続小梁の場合
(ウ) 連続小梁の場合
- 単独小梁の場合

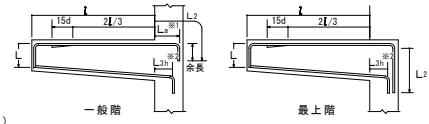
(注) 1. ●印は、余長位置を示す。
2. 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合は、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁の項による。
※ L₁を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることとする。

工事名称	福山市深津交流館改築工事	原設計株式会社	2023年3月
図面名称	鉄筋工事仕様書 No. 1	図面NO.	
福山市	一級建築士 甲斐直行 二級建築士 廣井克己 第293830号 第345405号	S-002	

鉄筋工事仕様書 No. 2

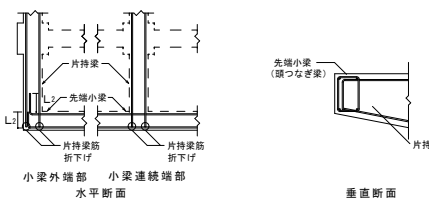
2. 片持梁主筋の定着及び余長

1) 先端に小梁のない場合



- (注)
- 印は、余長位置を示す。
 - 先端の折曲げ長さLは、梁せいかぶり厚さを除いた長さとする。
 - 図示のない事項は、次表の項による。
- ※1. Lの取値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
 ※2. Lを確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。

2) 先端に小梁がある場合



- (注)
- 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 - 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 - 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

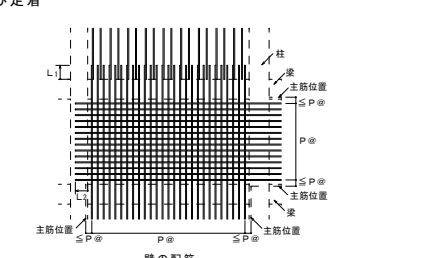
2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA1 KA3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA2 KA4
	横筋 D10-200@ダブル		

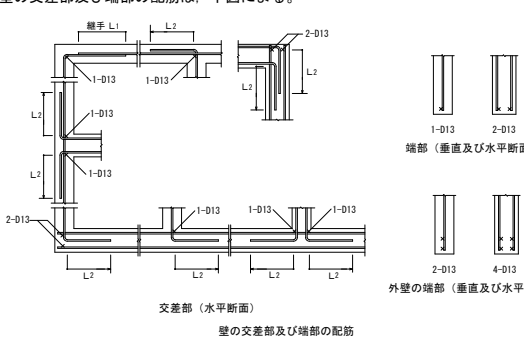
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
- 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。
 - 壁配筋の重ね継手はL1、定着長さはL2とする。
 - 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 - 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはならない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

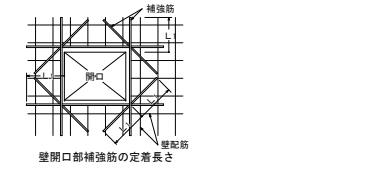


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

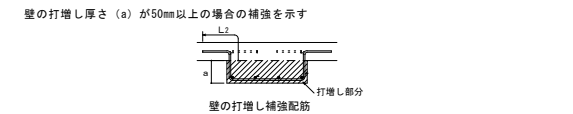
壁の種類	壁開口部補強筋 (A形)		壁開口部補強筋 (B形)	
	縦筋	斜め	縦筋	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13	2-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13	4-D13	2-D13

2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。

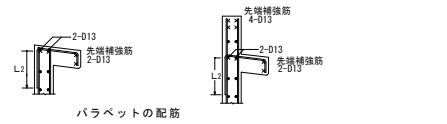


3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋



6. パラベットの配筋



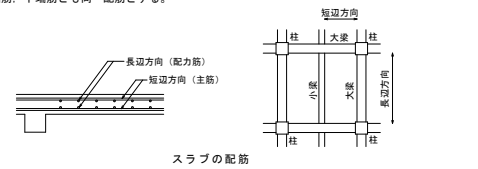
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

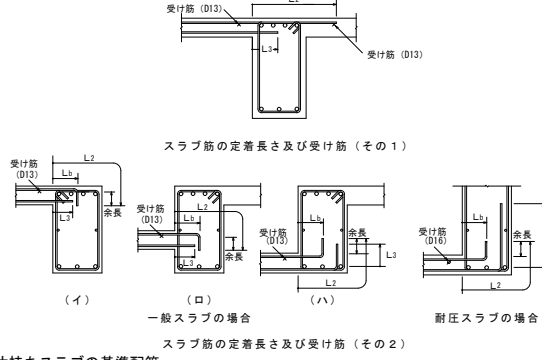
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



- (注)
- 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
 - 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。

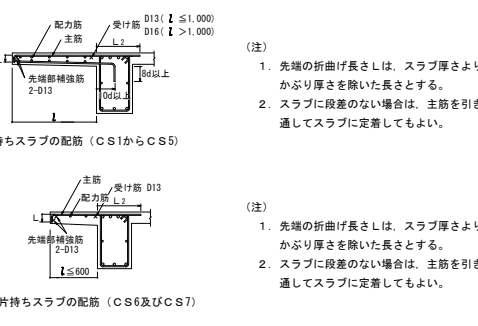
2. スラブ筋の定着及び受け筋



3. 片持ちスラブの基準配筋

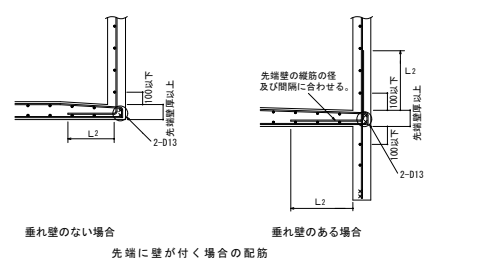
1) 片持ちスラブの基準配筋

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@	CS5	上 D10-200@
	下 D13-200@		下 D10-400@
CS2	上 D13-150@	CS6	上 D10, D13-200@
	下 D13-300@		下 —
CS3	上 D10, D13-150@	CS7	上 D10-200@
	下 D10, D13-300@		下 —
CS4	上 D10, D13-200@		
	下 D10-200@		



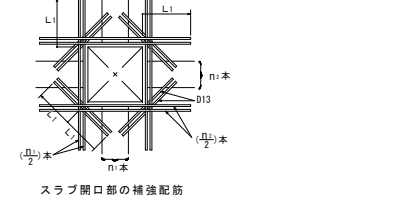
- (注)
- 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 - スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



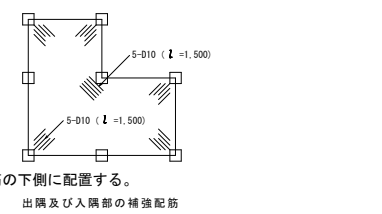
5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

- スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

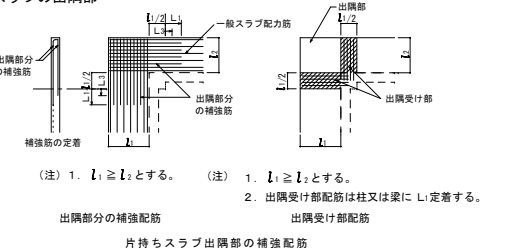


6. 出隅部及び入隅部の補強

1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部

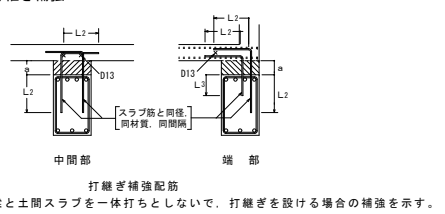


2) 片持ちスラブの出隅部

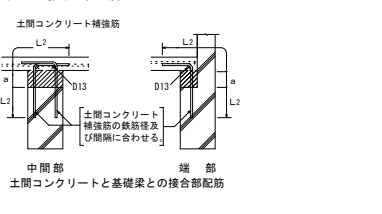


7. スラブの打継ぎ補強等

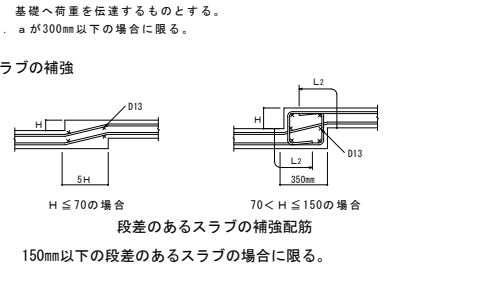
1) 土間スラブの打継ぎ補強



2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



8. 段差のあるスラブの補強



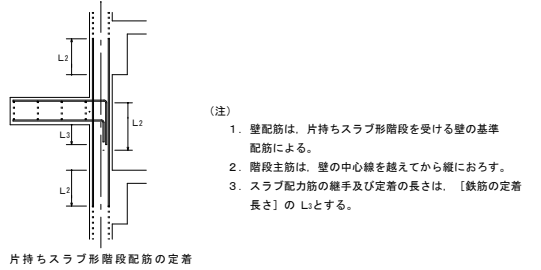
- (注)
- 先端の折曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
 - スラブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段

片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

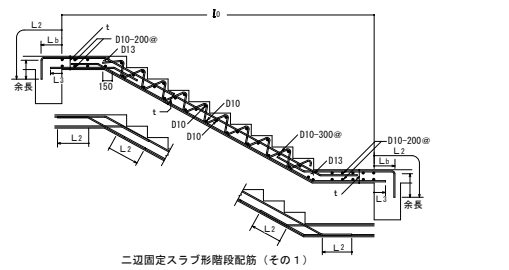
配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		



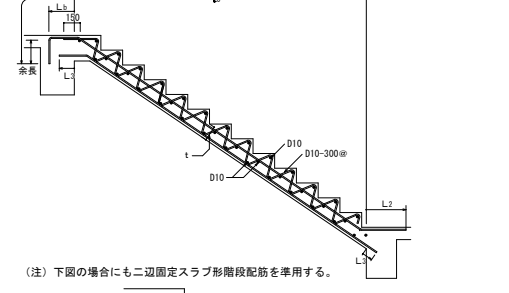
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

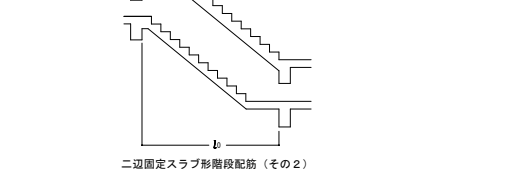
配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



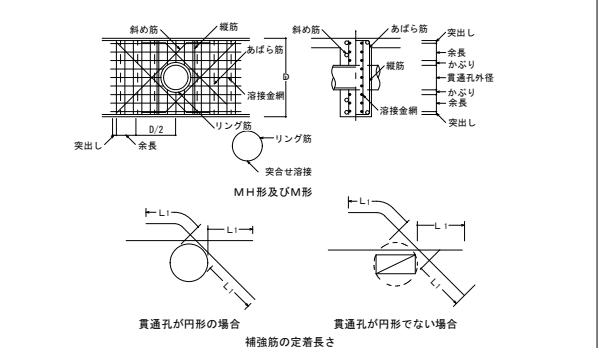
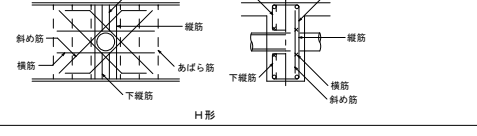
二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)



梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下横筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



2. 梁貫通孔の補強形式

配筋種別	H形配筋			配筋図
	斜め筋	縦筋	横筋	
H 1	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16			
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	
H 7	4-2-D22			

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13	なし	
M 3	4-2-D13		
M 4	6-2-D13	2-6φ-100@	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

MH形配筋

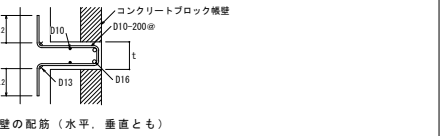
配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし	なし	
MH 2	2-2-D13	なし	なし	
MH 3	2-2-D13			
MH 4	4-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100@	
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100@	
MH 7	4-2-D19			

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

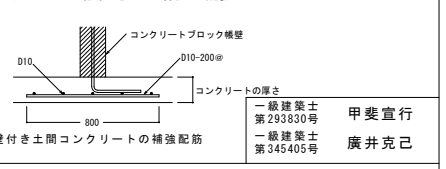
- (注)
- 大径認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

3. コンクリートブロック積壁との取合い

1) 控壁の配筋



2) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



一般建築士 第293830号 甲斐宣行
 一般建築士 第345405号 廣井克己

工事名称 福山市深津交流館改築工事

図面名称 鉄筋工事仕様書 No. 2

原設計株式会社

福山市

2023年3月
 図面 No.

S-003

木質工事特記仕様書（1）

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
(2) 設計図書
(3) 標準仕様書
(4) 設計図書の優先順位
(5) 疑義
(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
(7) 施工図及びプレカット図の提出
(8) 製作工場の選定、承諾
(9) 各種試験・検査報告書の提出

2. 材料の品質

2.1 木質材料

- (1) 構造用製材
(2) 下地用製材
(3) 広葉樹製材
(4) 丸太やそま角

- (2) 枠組壁工法構造用製材、枠組壁工法構造用たて組ぎ材
(3) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)
(4) 構造用合板、構造用パネル (OSB)
(5) 丸太やそま角

2.2 接合具

- ここに示す接合具などは、木質構造の接合部に適用する。
接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。
(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

- (2) ボルト、ナット、座金
(3) ドリフトピン、ラグスクリュー、ジベル (スプリットリング、シアプレート)、木栓

- (4) 接合金物、鋼材
(5) 接着剤 (接着接合)

3. 材料品質の検査方法

- (1) 構造用製材および枠組壁工法構造用製材
(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用合板、構造用パネルなど
(3) 接合具
(4) 接合金物

訂正 月 日

原設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214

担当 廣井 克彦
設計年月 2023年 3月
福山市建設局建築部営繕課

区 分 構造 (S)
縮尺 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%
図面番号 S-004

木質工事特記仕様書（2）		7. 運搬・建方	8. 軸組構法接合部の標準仕様																																				
<p>4. 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）</p> <p>(1) 木材の防腐・防蟻処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 高耐久材の使用（注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする） 工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる） <p>JAS保存処理材： K5 K4 K3 K2 K1 A0認証保存処理材： 1種 2種 3種</p> <p>○現場処理（注：接合部、電気部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。）</p> <p>○塗布 ・吹付 ・浸漬</p> <p>特記無き場合は、処理量：300 ml/m²、処理回数：2回</p> <p>使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>高耐久材</th> <th>工場処理材</th> <th>現場処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台</td> <td>☑ ひのき</td> <td>☐ K3 ☐ ()</td> <td>☑ 塗布</td> </tr> <tr> <td>外周柱下部1m</td> <td>☑ ひのき</td> <td>☐ K3 ☐ ()</td> <td>☑ (塗布)</td> </tr> <tr> <td>水周り</td> <td>☐ ()</td> <td>☐ K3 ☐ ()</td> <td>☐ ()</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>☐ ()</td> <td>☐ K4 ☐ ()</td> <td>☐ ()</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土壌処理</p> <p>☐防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）</p> <p>特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。</p> <p>☐防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）</p> <p>☐土壌処理省略 ☐北海道 ☐東北 ☐北陸 ☐（ ）</p> <p>注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。</p> <p>(3) 耐候処理（塗装）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>塗料の種類</th> <th>色の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・透膜型 ・含浸型</td> <td>・着色（色） ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透膜型 ・含浸型</td> <td>・着色（色） ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透膜型 ・含浸型</td> <td>・着色（色） ・透明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・透膜型 ・含浸型</td> <td>・着色（色） ・透明</td> </tr> </tbody> </table>		使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理	土台	☑ ひのき	☐ K3 ☐ ()	☑ 塗布	外周柱下部1m	☑ ひのき	☐ K3 ☐ ()	☑ (塗布)	水周り	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ ()	その他	☐ ()	☐ K4 ☐ ()	☐ ()	部位	塗料の種類	色の有無		・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明		・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明		・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明		・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明	<p>・下記接合部の項目について2.2接合具に記載された仕様での施工を確認する。</p> <p>・接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、耐力を低減する、接合具の本数を増加するなど監理者と協議して承認を得る。</p> <p>(2) 釘接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。 釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。 釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防蟻処理を施す。 自動釘打ち機を使用する場合は、面に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。 構造用面材に耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。 構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 木口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。 <p>(3) 木ネジ接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 木口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 木ネジの先孔の径：針葉樹 主材 0.6d、副材 0.8d (dはネジ径) 広葉樹 主材 0.8d、副材 1.0d (先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。) ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んでほならない。 ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油などを用いてもよい。 <p>(4) ボルト接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、産金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。 ボルトの締め付けは2回以上に分けて行い、1群のボルトの締め付けは一律となるように行う。 ボルトの締め付けは、産金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。 締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。 一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(5) ラグスクリュー接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造耐力上主要な部分において、ラグスクリューを引抜き方向に抵抗させることは避ける。 産金の厚さと大きさは、同じ径種のボルト接合部における規定値を用いる。 締め付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径等が施工箇所に適しているものであることを確認する。 ネジ部の先孔の径：比重 0.5以上の樹種・・・ネジ径の 60～75% その他の樹種・・・ネジ径の 40～70% (長さはネジ部の長さと同寸以上とする。) ラグスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んでほならない。 ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油などを用いてもよい。 胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。 一度ねじ込んだラグスクリューを抜き直し、再びねじ込みは避ける。 <p>(6) ドリフトピン接合</p> <ul style="list-style-type: none"> ドリフトピンは孔に密着させる。 一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 <p>(7) ジベル接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点がないよう注意し、影込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。 接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。 特殊ジベルは使用箇所、使用方法を確認する。 <p>(8) 接合金物による接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。 大断面材用の接合金物に関しては、それぞれの仕様に基づく。 <p>(9) 接着接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。 <p>(10) その他の方法による接合</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。 	<p>7. 運搬・建方</p> <p>(1) 輸送計画</p> <p>製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。</p> <p>☐ 輸送計画書の提出 []</p> <p>(2) 集積・保管</p> <p>集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないよう注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。</p> <p>☐ 集積場の確認 []</p> <p>(3) 建方計画</p> <p>☑ 建方計画書の提出</p> <p>アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。</p> <p>(4) 施工時の安全性</p> <p>建方作業中および作業後、構架材上に諸材料または機械などの重荷物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。</p> <p>☑ 施工時の安全性に対する検討書の提出 ☐ 施工時作業条件の通知</p> <p>(5) アンカーボルトの施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。 アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。 アンカーボルトはダブルナットとする。 ☐適用除外 [] 土台のあけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。 <p>(6) 建方精度</p> <ul style="list-style-type: none"> 建方の精度基準は下記による。 ☑ 建築物の割れ : ☑ e≦H/2500+10mm かつ e≦50mm ☐ [] ☑ 傾斜の水平度 : ☑ e≦L/700+5mm かつ e≦15mm ☐ [] (節点間のレベル差) ☑ 建築物のわん曲 : ☑ e≦L/2500mm かつ e≦25mm ☐ [] ☑ 柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置 柱据え付け面の基準高さからの誤差 : ☑ ±3mm以下 ☐ [] 通り芯からの誤差 : ☑ ±3mm以下 ☐ [] 陥高 : ☑ -5mm≦ΔH≦+5mm ☐ [] <ul style="list-style-type: none"> ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。 <p>(7) 施工状況の検査</p> <ul style="list-style-type: none"> アンカーボルト施工時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 目視による精度確認 ☑ 計測機器による精度確認 ☐ アンカーボルト径、間隔 ☑ 施工者自主検査記録の提出 [] 地組み時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 目視による精度確認 ☐ 計測機器による精度確認 ☐ 材料の加工寸法検査 ☑ 施工者自主検査記録の提出 [] 建方時の立会い検査 <ul style="list-style-type: none"> ☐ 目視による精度確認 ☑ 計測機器による精度確認 ☐ 材料の加工寸法検査 ☑ 施工者自主検査記録の提出 [] 建方後の施工状況の検査 <ul style="list-style-type: none"> ☑ 防腐・防蟻処理 ☐ 材料の加工寸法検査 ☑ 接合具の施工状況 ☑ 接合金物の施工状況 ☐ その他 [] ☑ 施工者自主検査記録の提出 [] 最終確認 <ul style="list-style-type: none"> 工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接合面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。 ☑ 施工者自主検査記録の提出 [] 	<p>8. 軸組構法接合部の標準仕様</p> <p>各接合部共通：プレカット製品を使用する場合はその形状および許容耐力に及ぼす影響を確認する。</p> <p>(1) 構架材どうしの継手</p> <ol style="list-style-type: none"> 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け継ぎ、腰掛け継ぎ <ul style="list-style-type: none"> せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。 柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。 土台の場合は、継手から男木側100mm付近にアンカーボルトを設ける。 <p>プレカット機械による継手・仕口</p> <ol style="list-style-type: none"> 曲げ応力や引張力を負担する継手 <ul style="list-style-type: none"> 腰掛け大径継ぎ、金輪継ぎ、尻抜き継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合 伝達できる曲げモーメントや引張力は母材全断面強度の20%以下と考えること。 <p>(2) 柱の継手</p> <ul style="list-style-type: none"> 階の中間部における柱の継手は原則として禁止する。 やむを得ず柱の継ぎ手をつける場合は、曲げと軸力による複合応力の検証を行い安全性を確認する。 <p>(3) 構架材どうしの仕口</p> <ol style="list-style-type: none"> せん断力が母材全断面強度の30%以下の仕口：（大入れ）腰掛け <ul style="list-style-type: none"> 長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。 逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。 男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせい0.2/3程度の高さをかける。
使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理																																				
土台	☑ ひのき	☐ K3 ☐ ()	☑ 塗布																																				
外周柱下部1m	☑ ひのき	☐ K3 ☐ ()	☑ (塗布)																																				
水周り	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ ()																																				
その他	☐ ()	☐ K4 ☐ ()	☐ ()																																				
部位	塗料の種類	色の有無																																					
	・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明																																					
	・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明																																					
	・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明																																					
	・透膜型 ・含浸型	・着色（色） ・透明																																					
<p>訂正 月 日</p>	<p>原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一般建築士事務所広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 第 293830号 甲斐 宣行</p>	<p>担当 設計年月 - 2023年3月 作図 東実年月 第 号</p>	<p>福山市建設局建築部営繕課</p>	<p>工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 木質工事特記仕様書（2） 縮尺</p>	<p>区分 構造(S) 図面番号 S-005</p>	<p>縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%</p>																																	

木質工事特記仕様書 (4)

部位
接合金物

柱頭・柱脚の仕口の接合 (告示 1460号2項)

部位
金物

かすがい
かど金物 CP・L
山型プレート VP
羽子板ボルト SB-F2, SB-E2
羽子板ボルト SB-F2, SB-E2

上端箇所金物施工箇所標準図

羽子板ボルト SB-F2
ホールダウン金物 S-HD10

2階隔柱緊結金物施工箇所標準図

かど金物 CP・L
短ざく金物 S短ざく金物 FS-360/82220
ホールダウン金物 S-HD10×2

中間箇所金物施工箇所標準図

かすがい
かど金物 CP・L
山型プレート VP
両引き羽子板金物 (L型 羽子板金物)
ホールダウン金物 S-HD10

基礎・土台部分金物施工箇所標準図

羽子板ボルト SB-F2

部位
金物

2階隔通し柱・胴差緊結金物施工箇所標準図
通し柱・胴差緊結金物施工箇所標準図

ホールダウン金物 S-HD15×2
ホールダウン金物 S-HD20×2
ホールダウン金物 S-HD25×2

ホールダウン金物 S-HD15
ホールダウン金物 S-HD20
ホールダウン金物 S-HD25

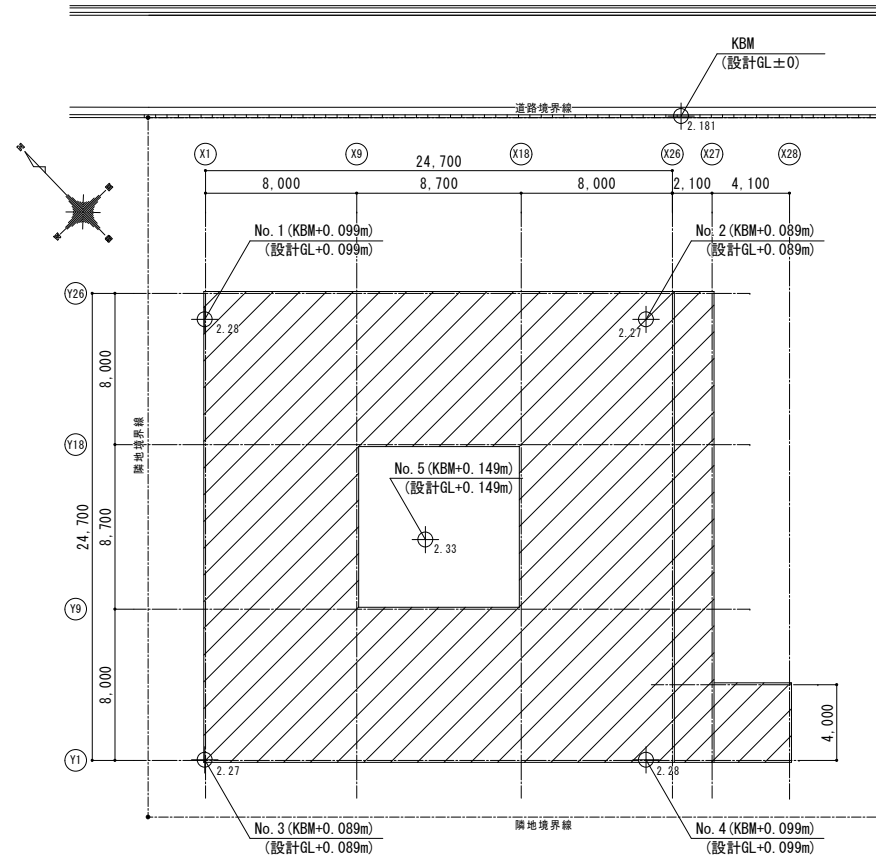
その他
特記事項

本工事において、基本的に県産材を使用する。
使用材料が、県産材であることが証明できる証明書を提出すること。

「県産材」とは、合法的な手続きを経て伐採された広島県内産の丸太を加工した木材をいい、次に掲げる方法で証明された木材をいう。
ア 広島県産材産地証明協議会発行の産地証明書により証明された木材
イ 『緑の循環』認証協議会(SGEC)又は森林管理協議会(FSC)により、認定された認定事業の認証林産物
ウ 森林・林業・木材産業関係団体が認定する合法木材供給事業者が、県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等で明記された木材
エ 森林法に基づく伐採に関する手続きが行われたことを証する書類(以下「伐採届出書等」という。)の写しにより、伐採の場所及び手法が明らかでない木材
なお、製品を購入する場合にあっては、伐採届出書等の写及び県内で伐採された丸太を利用していることを納品書等で明記した木材
オ アからエにより証明される広島県内産の丸太を60%以上使用した集成材

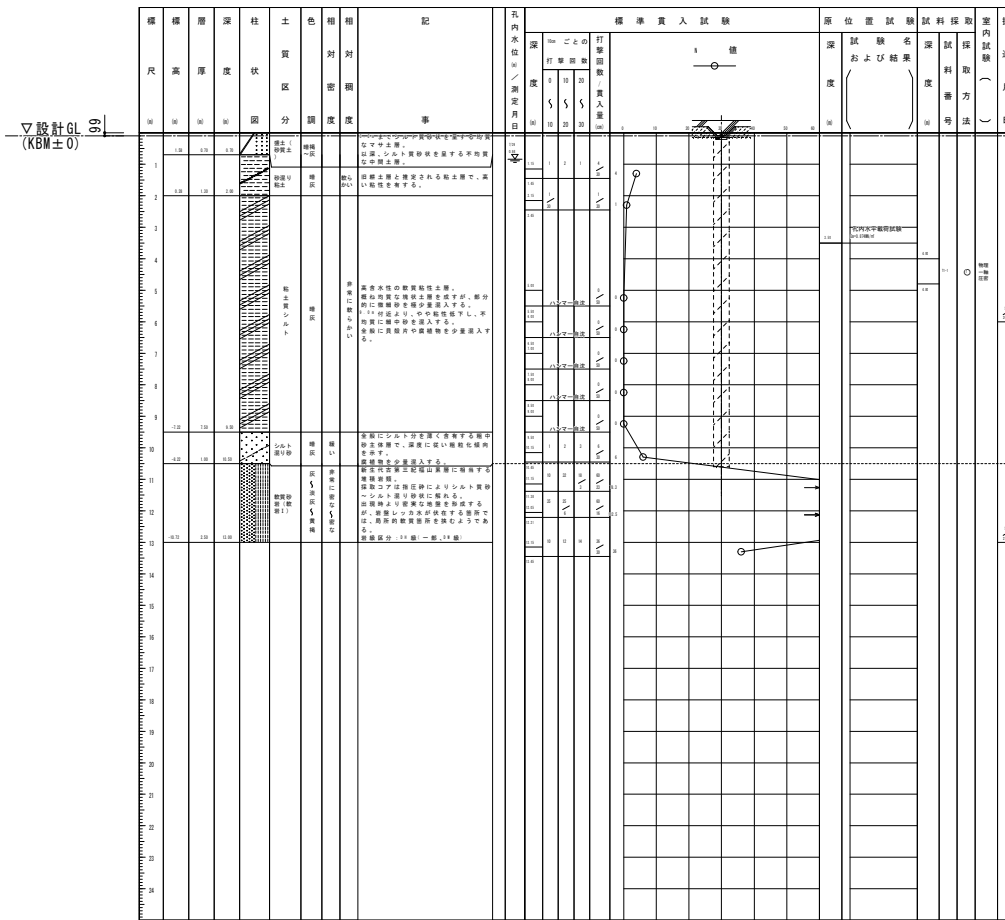
縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

訂正	月	日	<p>原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214</p>	<p>一級建築士 廣井 克彦 第345405号</p> <p>一級建築士事務所広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号</p>	<p>担当 - 設計年月 2023年3月</p> <p>作図 東更年月</p>	<p>福山市建設局建築部営繕課</p>	工事名称	福山市深津交流館改築工事	区分	構造(S)
							図面名称	木質工事特記仕様書(4)	縮尺	図面番号

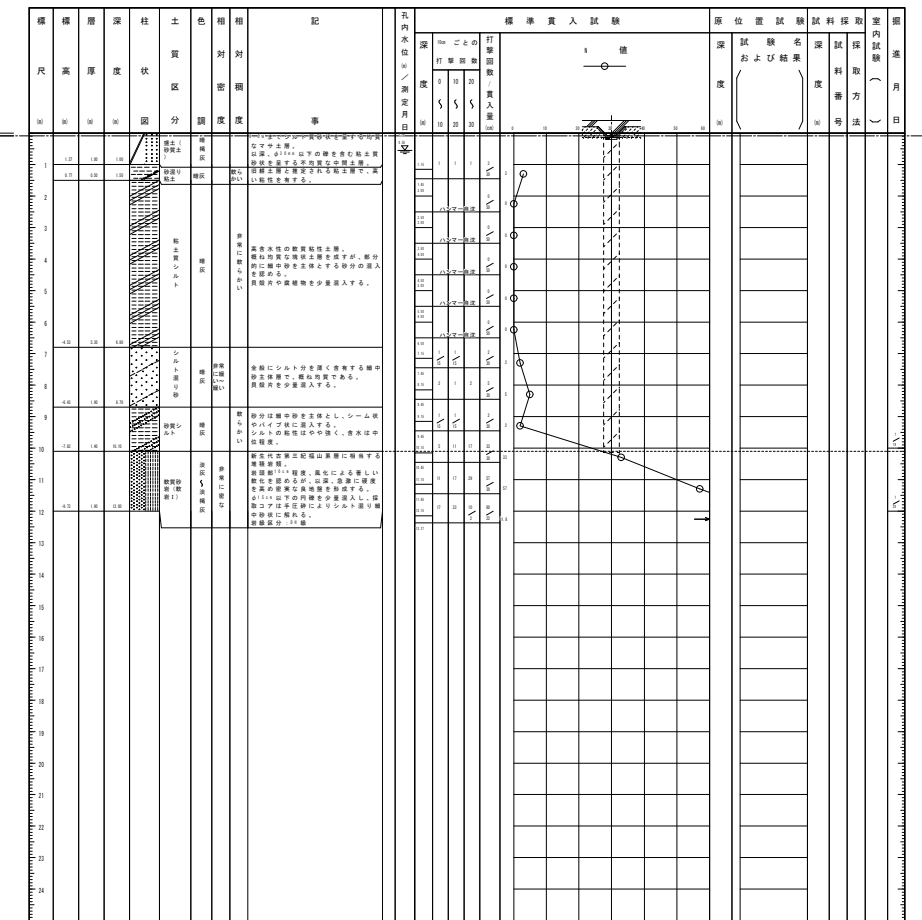


ボーリング位置図 S=1:200
・設計GL=KBM±0(H=2.181m)

ボーリング名	B-1	調査位置	福山市東深津町六丁目地内	北緯	34° 29' 40.12"
発注機関	広島県福山市建設局建築部営繕課	調査期間	2022年7月11日～2022年7月22日	東経	132° 23' 52.37"
調査業者名	株式会社 甲斐 宣行	主任技師	岡藤 隆臣	代理人	廣井 克彦
孔口標高	11.26m	方	東	角	0°
総掘進長	13.26m	地盤名	不明	試験機	ワイビーエム WBS-3型
		使用機種	不明	ポンプ	半自動潜水装置
		エンジン	ヤママー 4FD-3型		東邦地下工機 10-4型



ボーリング名	B-2	調査位置	福山市東深津町六丁目地内	北緯	34° 29' 40.12"
発注機関	広島県福山市建設局建築部営繕課	調査期間	2022年7月11日～2022年7月22日	東経	132° 23' 52.37"
調査業者名	株式会社 甲斐 宣行	主任技師	岡藤 隆臣	代理人	廣井 克彦
孔口標高	11.26m	方	東	角	0°
総掘進長	13.26m	地盤名	不明	試験機	ワイビーエム WBS-3型
		使用機種	不明	ポンプ	半自動潜水装置
		エンジン	ヤママー 4FD-3型		東邦地下工機 10-4型



訂正	月日	

原設計株式会社
〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
TEL 084-922-3213
FAX 084-922-3214

一級建築士事務所
広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
第 293830 号
甲斐 宣行

担当 廣井 克彦
第 345405 号

目録設計-調査士
第 号

設計年月 2023年3月
東更年月

福山市建設局建築部営繕課

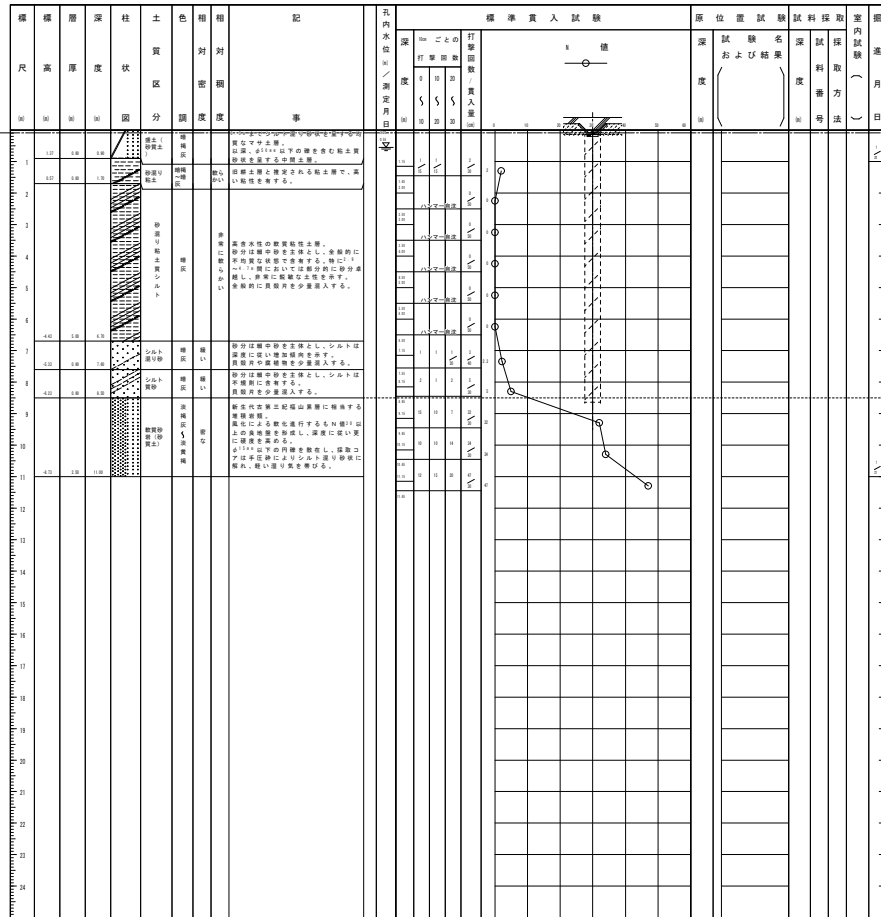
工事名称 福山市深津交流館改築工事
図面名称 地盤調査資料(1)

縮尺 1:200

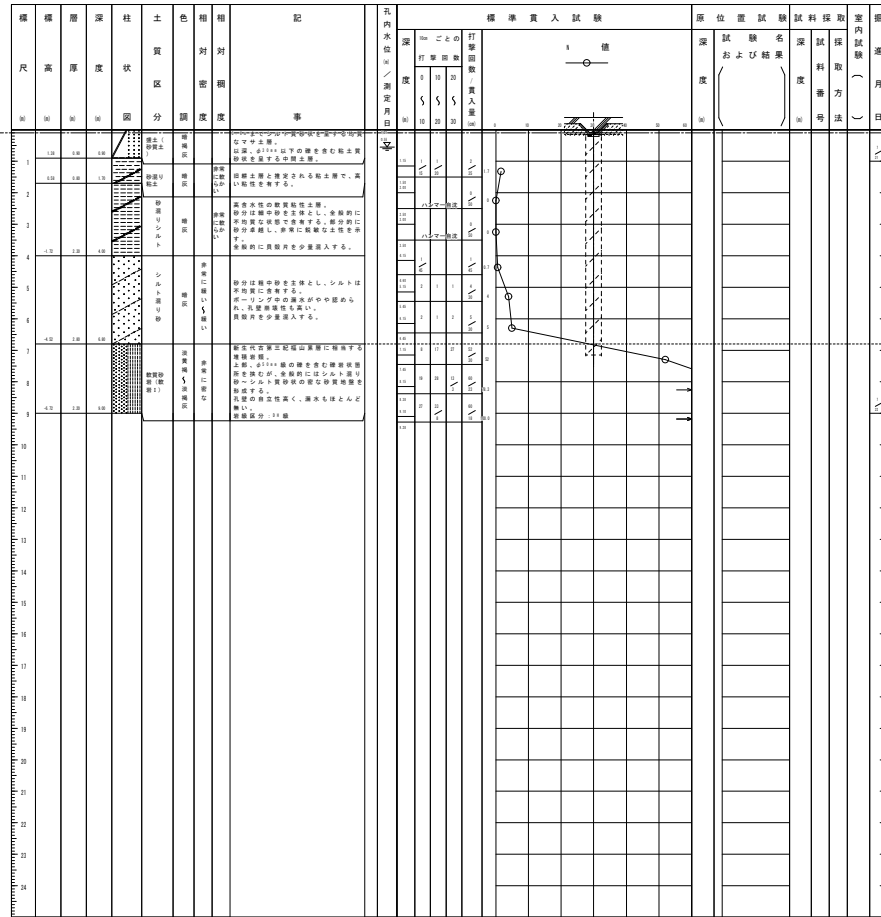
区分 構造(S)
図面番号 S-008

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

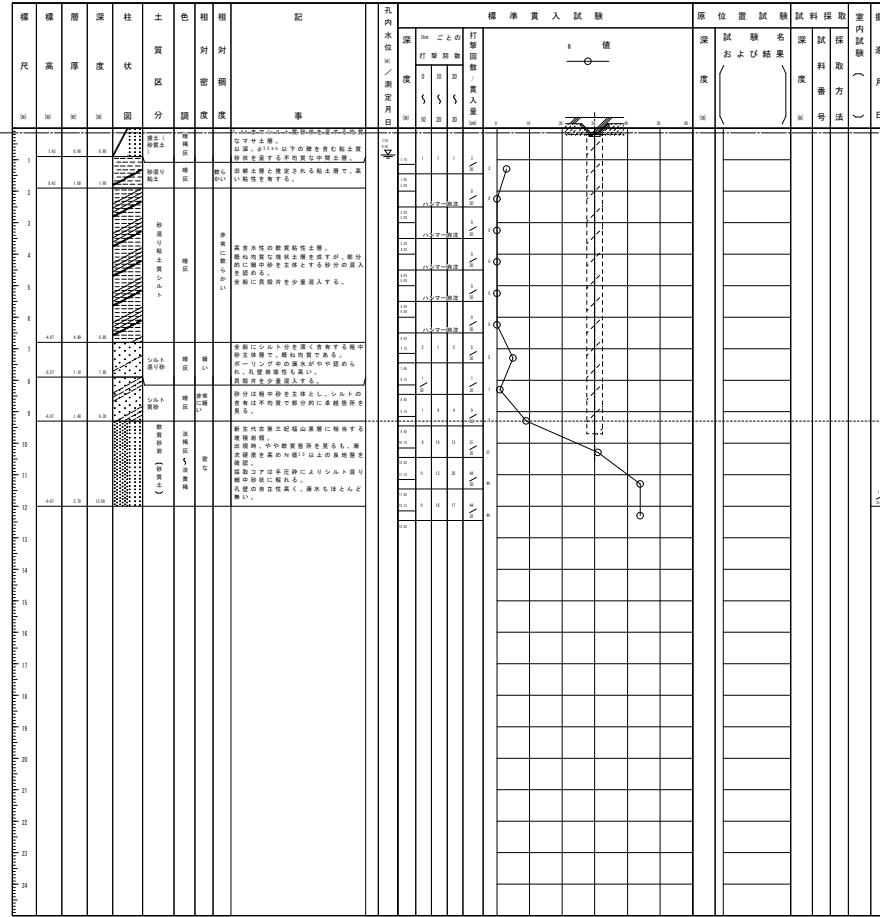
ボーリング名	Bor. No. 3	調査位置	福山市東深津町六丁目地内		北緯	34° 29' 49.13"
発注機関	広島県福山市建設局建築部営繕課	調査期間	2022年7月22日～2022年7月22日		東経	133° 23' 12.81"
調査業者名	株式会社 廣井 克彦	主任技師	廣井 克彦	資格	一等建築士	
代表者	廣井 光広	調査員	大池 健一	資格	地盤調査士	
孔口標高	▽設計GL (KBM±0)	試験機	ワイビーエム 188-03 型	ハンマー	落下用機	半自動落下装置
総掘進長	1.0m	エンジン	ヤンマー 1F3-1 型	ポンプ	東邦地下工機 81-4 型	



ボーリング名	Bor. No. 4	調査位置	福山市東深津町六丁目地内		北緯	34° 29' 39.17"
発注機関	広島県福山市建設局建築部営繕課	調査期間	2022年7月22日～2022年7月22日		東経	133° 23' 12.81"
調査業者名	株式会社 廣井 克彦	主任技師	廣井 克彦	資格	一等建築士	
代表者	廣井 光広	調査員	大池 健一	資格	地盤調査士	
孔口標高	▽設計GL (KBM±0)	試験機	ワイビーエム 188-03 型	ハンマー	落下用機	半自動落下装置
総掘進長	1.0m	エンジン	ヤンマー 1F3-1 型	ポンプ	東邦地下工機 81-4 型	




ボーリング名	Bor. No. 5	調査位置	福山市東深津町六丁目地内		北緯	34° 29' 49.13"
発注機関	広島県福山市建設局建築部営繕課	調査期間	2022年7月22日～2022年7月22日		東経	133° 23' 12.81"
調査業者名	株式会社 廣井 克彦	主任技師	廣井 克彦	資格	一等建築士	
代表者	廣井 光広	調査員	大池 健一	資格	地盤調査士	
孔口標高	▽設計GL (KBM±0)	試験機	ワイビーエム 188-03 型	ハンマー	落下用機	半自動落下装置
総掘進長	1.0m	エンジン	ヤンマー 1F3-1 型	ポンプ	東邦地下工機 81-4 型	



▽設計GL (KBM±0)

99

149

訂正	月日	 原 設計 株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一等建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行	一等建築士 廣井 克彦 第 345405 号	担当 2023年3月 作業	設計年月 2023年3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課 工事名称 福山市深津交流館改築工事 図面名称 地盤調査資料(2)	縮尺 -	区分 構造(S) 図面番号 S-009	

縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

スリーエスG工法特記仕様書

1. 工事概要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2. 一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（平成14年11月30日 財団法人 日本建築センター、以下指針という）による。

3. 特記事項

- コラムの径、掘削深度（改良長+空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
- コラム設計基準強度は $F_c=1300\text{kN/m}^2$ 、設計時に想定するF検定結果は既往の調査結果から変動係数の推定値を25%以下、不良率10%とする。
- 施工法は改良体の変動係数が25%以下であることが、公的機関で証明されている工法とする。
- 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
- セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。
- 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所における性能証明を有する工法を選定する。
- 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施工計画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| (1) 地盤概要 | (5) 施工機器及び仮設設備と配置 |
| (2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度） | (6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法 |
| (3) 工事期間及び工程 | (7) 建築技術性能証明書 |
| (4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等） | (8) その他、必要事項 |

5. 施工機械

- 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
- 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
- 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
- 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
- ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6. 配合試験

- 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

試験名	室内配合試験
試料箇所数	1箇所

7. 配合管理

- セメントスラリーに使用する固化材は、セメント又はセメント系固化材とする。
- 配合強度
配合管理目標変動係数を想定し、「8. 品質検査」に規定する抜き取り箇所数Nから表1を用いて α_t を決め、配合強度 X_f を設定する。

$$X_f = F_c \times \alpha_t$$

X_f : 配合強度

F_c : 設計基準強度

α_t : 割増係数

表1. 割増係数 (L(p)=80%, Vd=25%の場合)

配合管理目標Vd	抜き取り箇所数(N)	1	2	3	4~6	7~8	9~
25%	割増係数 α_t	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

- 配合量（固化材量とW/C）

室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$$X_i = X_f / \alpha_{fi}$$

X_i : 室内配合強度

X_f : 配合強度

α_{fi} : 現場/室内強度比（強度比0.65；実績より）

暫定配合量 $300(\text{kg/m}^3)$ 、W/C=70% 【最終的には配合試験により決定する。】

8. 品質検査

- 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数。
 - 検査対象群は概ねコラム300本を1単位とする。（※検査対象層は50cm以上の土層を対象とする。）
 - 検査対象層（砂混じり粘土、粘土質シルト、砂質シルト）であり設計対象層を（砂混じり粘土）とする。
 - 検査手法は強度のパラツキを想定する場合は検査手法Aによる。その場合は、選定工法による改良体の強度のパラツキデータを添付すること。
 - 調査箇所数（検査対象群に対して）

表2. 調査箇所数

検査手法A	頭部モールドコア試験試験		2箇所
	深部コア試験	全長ボーリングコア	1箇所
			モールドコア

注記) 深部コア採取の内、最低1箇所については機械ボーリングによる全長コア採取を行い、下記(2)コア採取率を調査する。他の箇所については、モールドコアで行ってもよい。

- コア採取率による調査

コアボーリング調査の内、検査対象群に1箇所の割合でコア採取率を調査する。

コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%、深さ1mごとに粘性土で85%、砂質土で90%以上であることを確認する。

- 合否の判定

- 設計対象層についての抜き取り1箇所に対して3個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
- 一軸圧縮試験は、公的機関、第三者機関または検査員立会いのもとに行うものとする。
- 検査手法は品質のパラツキを想定する場合は検査手法Aとする。
- 検査手法Aによる品質検査

合否の判定は設計対象層におけるN箇所(抜き取り箇所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$\bar{X}_N \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d$$

\bar{X}_N : N箇所の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m²)

X_L : 合格判定値 (kN/m²)

F_c : 設計基準強度 (kN/m²)

k_a : 合格判定係数

σ_d : 標準偏差 (kN/m²) ($\sigma_d = V_d \cdot \bar{q}_{ud}$)

V_d : 想定した強度の変動係数

\bar{q}_{ud} : 想定した平均一軸圧縮強さ (kN/m²)

抜き取り箇所数N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 k_a	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

- 六価クロム溶出試験

配合計画段階に、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。なお、試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

(環境庁第46号(土壌汚染に係る環境基準)による。)

検査検体数、検査対象層、基準値は下記のものとする。

検体数：1検体

対象層：設計対象層（砂混じり粘土）

基準値：0.05 (mg/L)以下

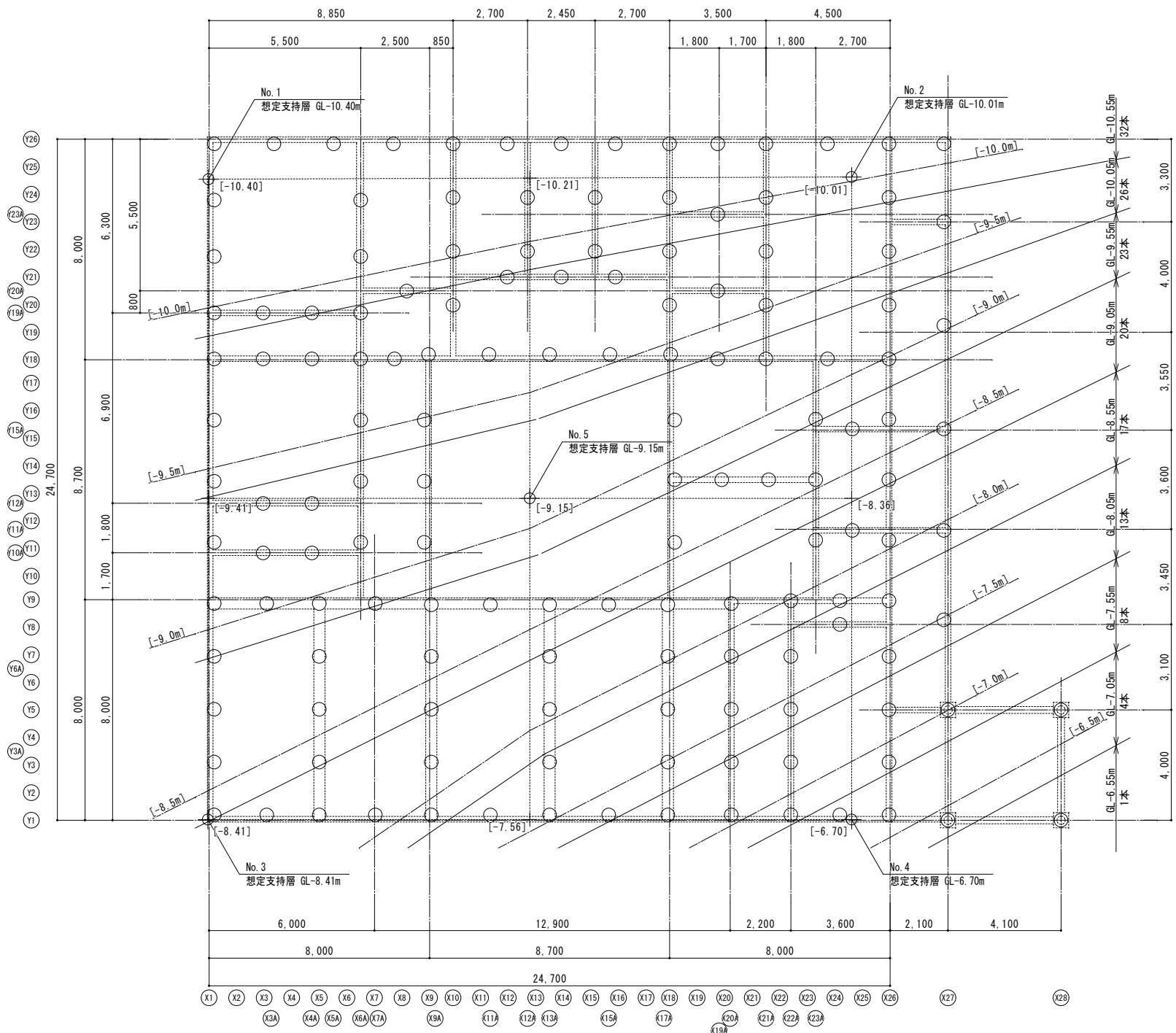
9. 工事報告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

- コラム伏図及び番号
- コラムの施工日
- コラムの径及び改良長
- 掘削深度
- 固化材の配合と使用量
- コア圧縮強度試験結果
- 合格判定結果

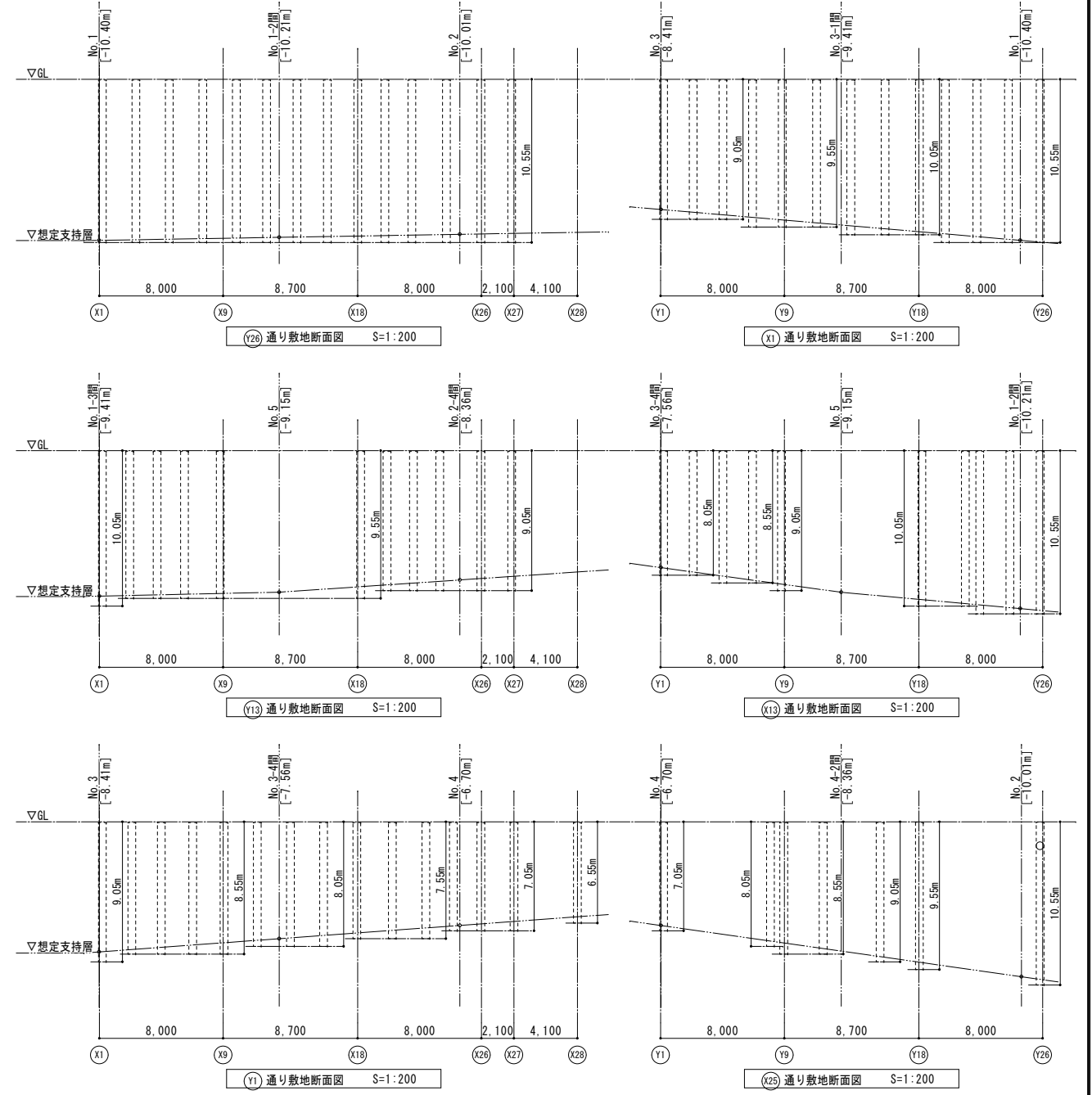
縮尺率
A-1: 100%
A-2: 71%
A-3: 50%

訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一級建築士事務所 広島県知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	一級建築士 第345405号 廣井 克彦	担当 - 作図 第 号	設計年月 2023年3月 東東年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 構造(S)
			図面名称 杭工法特記仕様書	縮尺	図面番号 S-010			



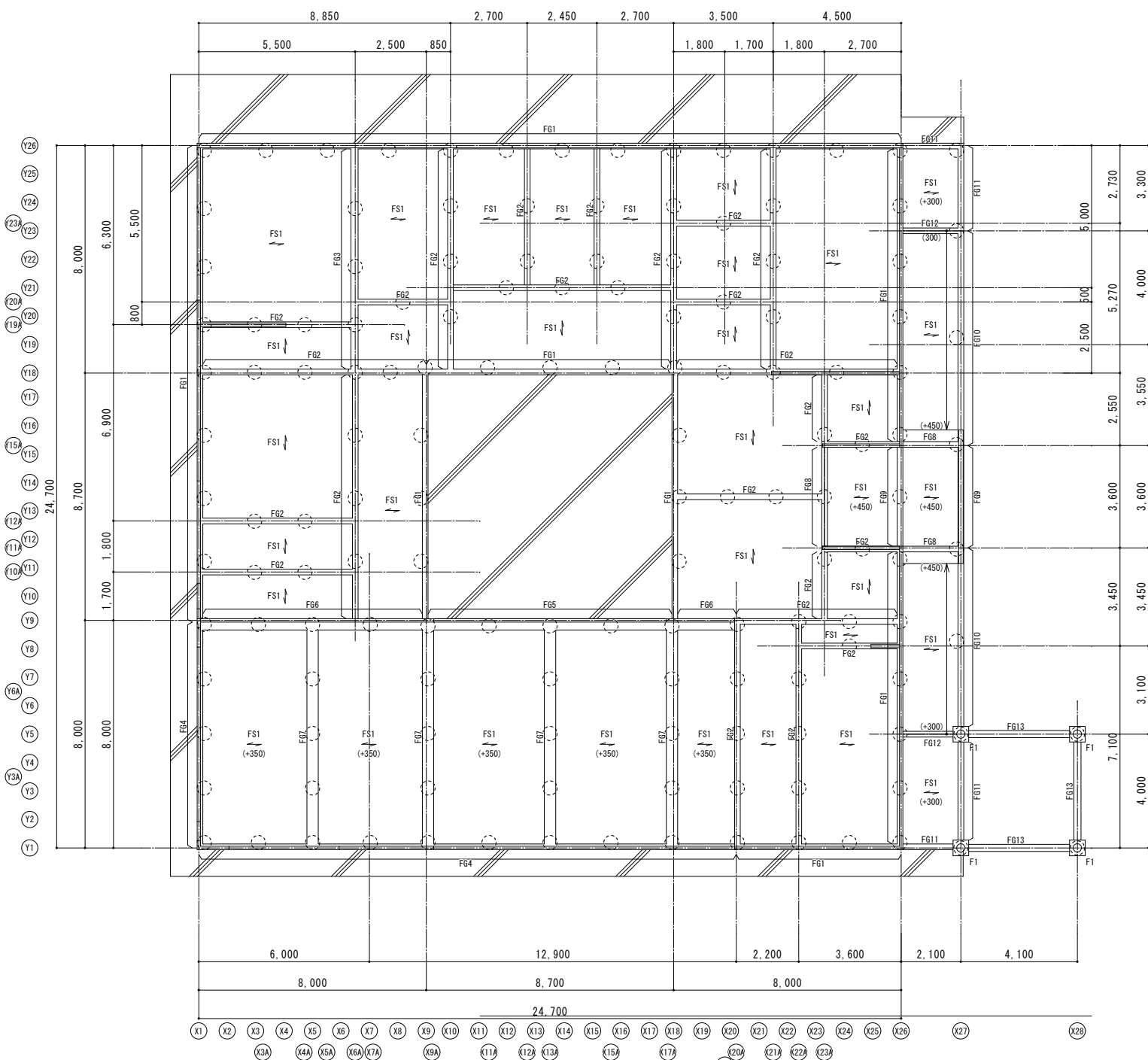
改良体伏図 S=1:100

特記なきは以下とする
 ・ []内は想定支持層レベルを示す※
 ・ 工法 : スリーエスG工法(掘削柱状改良)
 改良径 : φ500mm
 改良長 : 6.5m~10.5m※
 改良先端レベル : GL-50
 改良先端レベル : GL-6.550~10.550※
 本 数 : 144本
 設計基準強度 : Fc=13000N/m²
 長期設計地耐力 : Lf=20kN/m²
 ※改良長は支持力等の確認を行い、最終決定すること。



縮尺率
 A-1: 100%
 A-2: 71%
 A-3: 50%

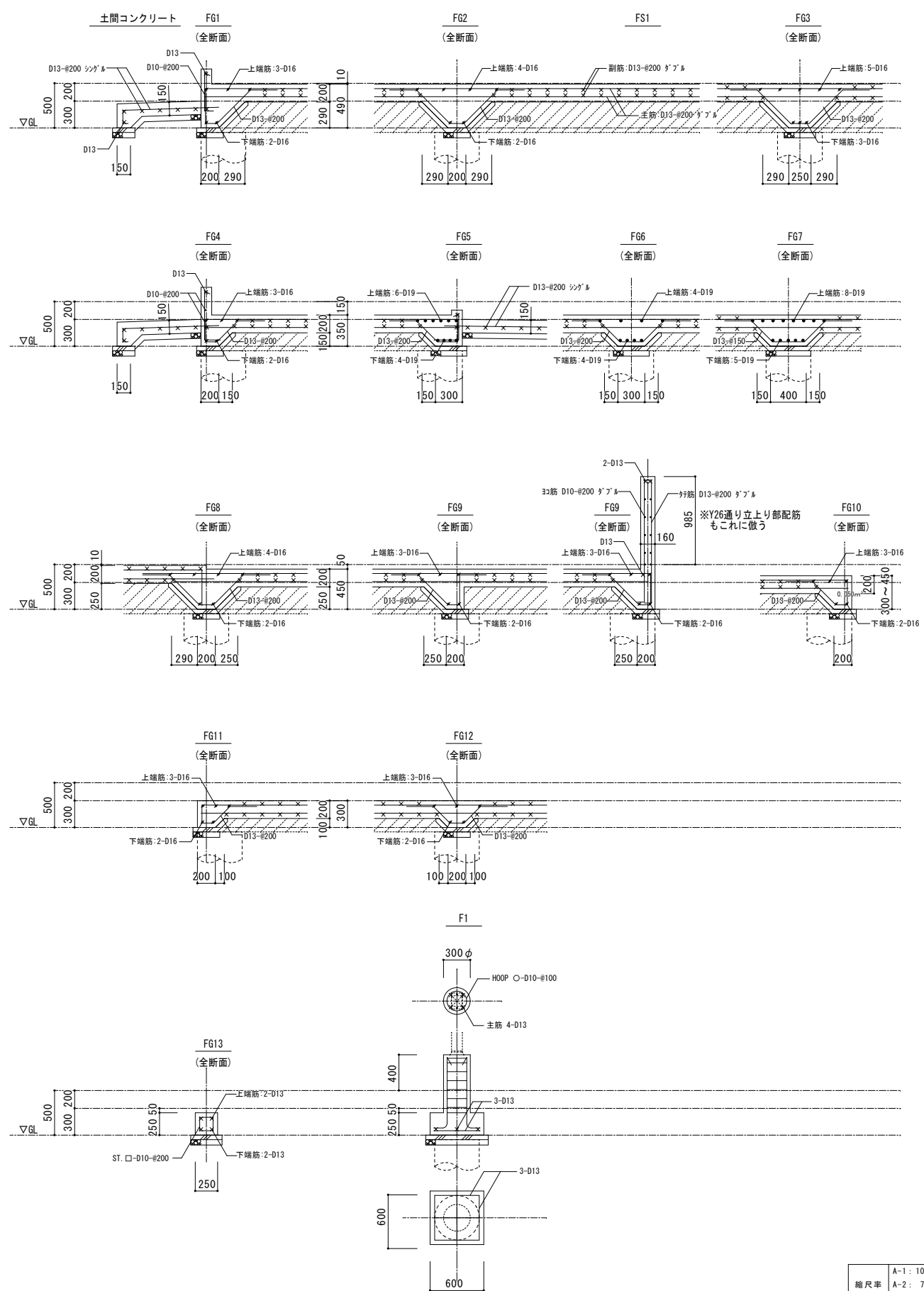
訂正	月 日	原 設 計 株 式 有 限 公 司 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 一般建築士事務所所長知事登録第22(1)0409号 TEL 084-922-3213 一級建築士 第293830号 甲斐 宣行 FAX 084-922-3214	専任設計-建築士 廣井 克彦 第345405号 専任設計-建築士 第 号	担当 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 構造(S)
			図面名称 地盤改良図	縮 尺 1:100, 1:200	図面番号 S-011		




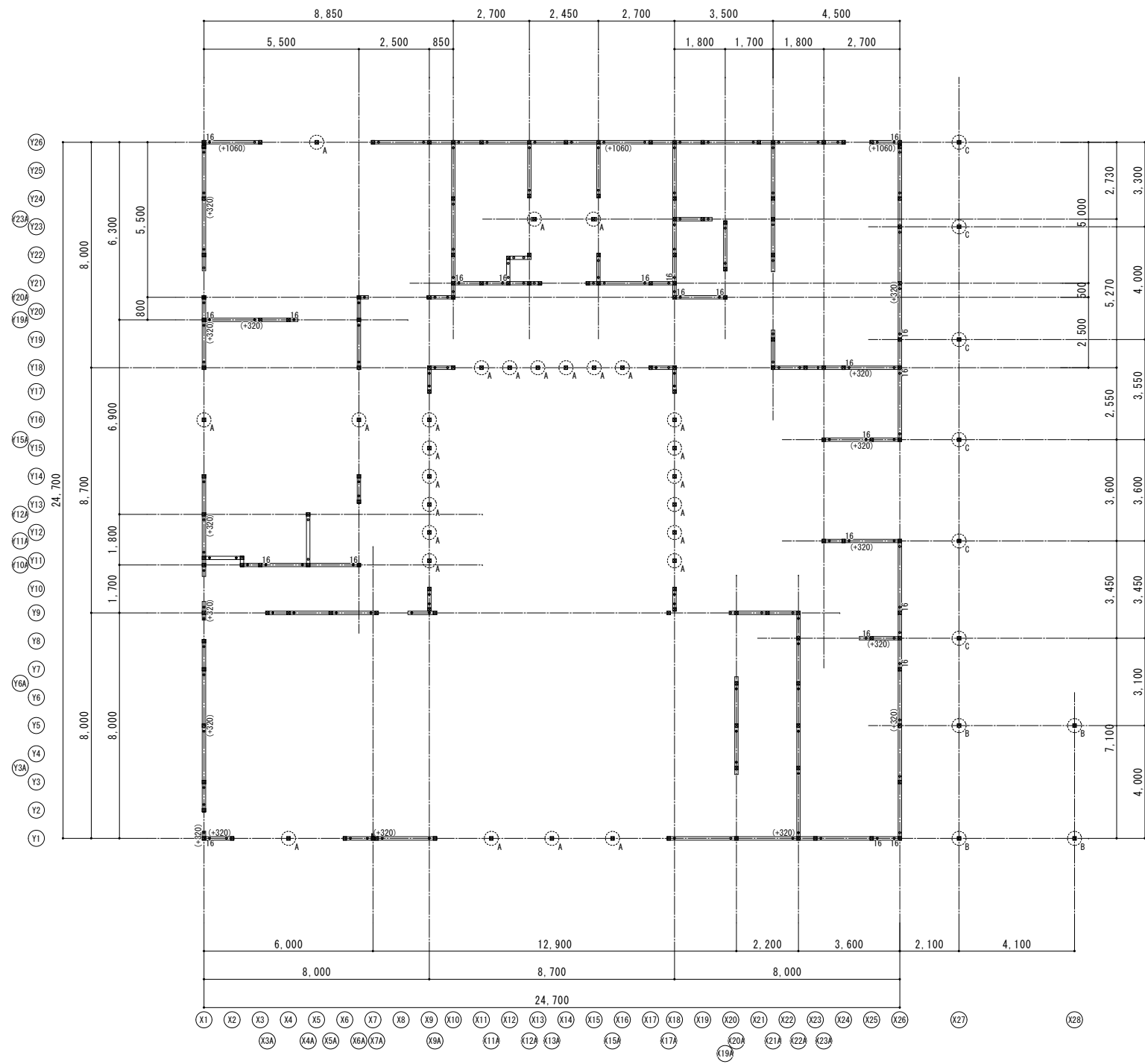
基礎伏図 S=1:100

特記なきは以下とする
 ・ 基礎 FS1
 ・ 主筋方向を示す
 ・ □内数値は、仮からの座標、基礎家天端 \uparrow を示す
 ・ 土間コンクリート 範囲
 ・ 基礎、土間下へ全面土壌処理(防蟻・防蟻措置)を行う

基礎関係リスト S=1:30

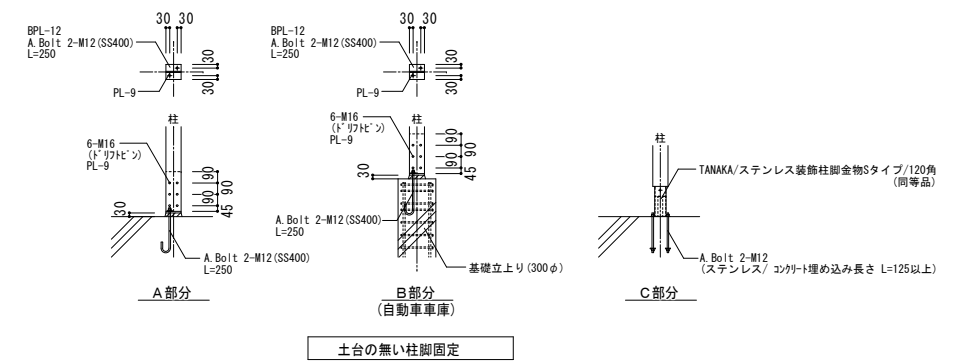
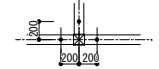


訂正	月日	 原設計株式会社 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号 一級建築士 甲斐 宣行 第 293830 号	一級建築士 廣井 克彦 第 345405 号 建築設計-一級建築士 第 号	担当 2023年 3月 変更年月	設計年月 2023年 3月 変更年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称 福山市深津交流館改築工事	区分 構造(S)
			図面名称 基礎伏図、基礎関係リスト	縮尺 1:100, 1:30	図面番号 S-012			

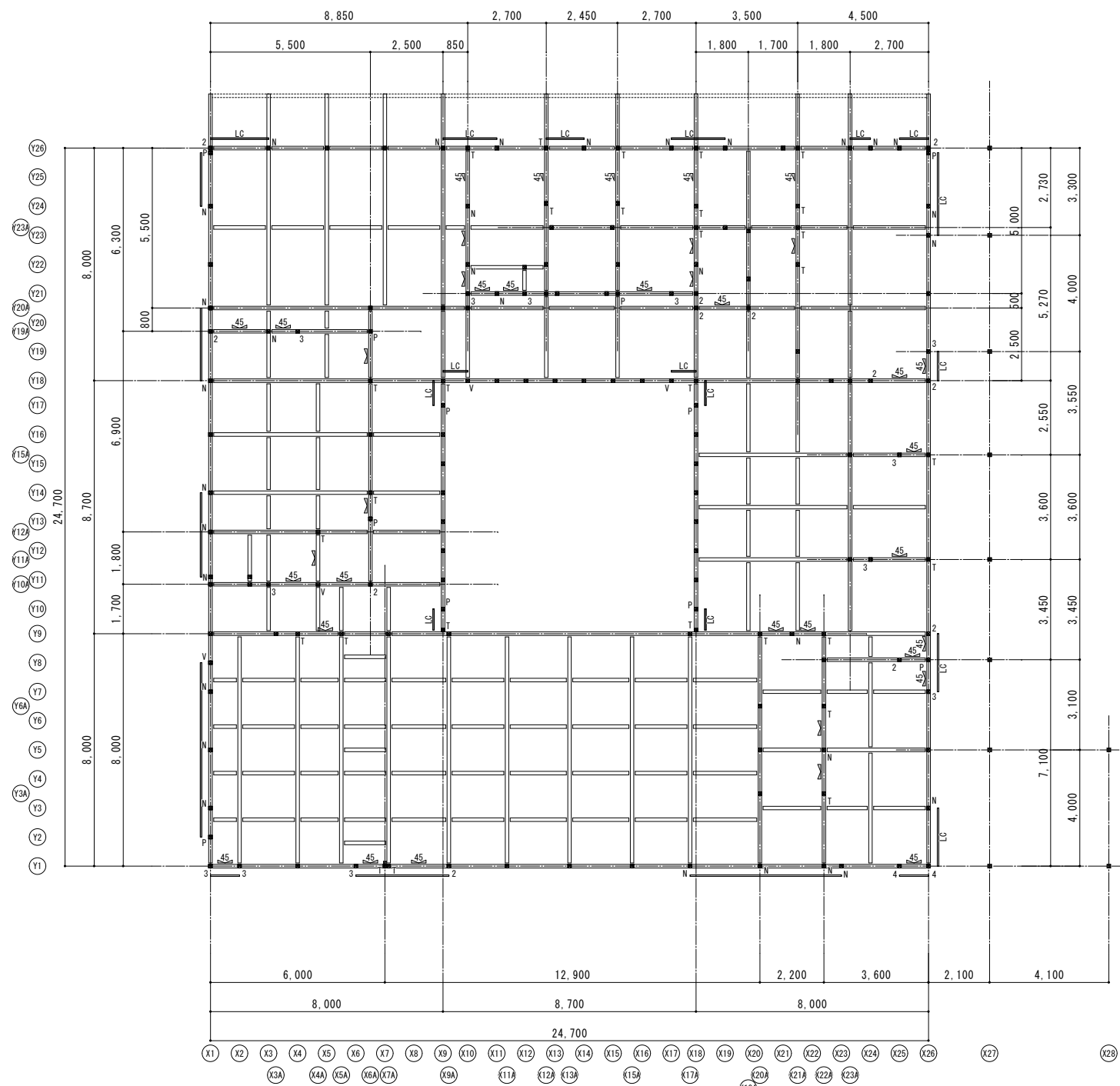


土台伏図 S=1:100

- 特記なきは以下とする
 - ・土台 120x120
 - ・O内数は、1FLからの土台天端バタを示す
 - ・アンカーボルト M12 コンクリート埋め込み長さ L=250 角座金 t=4.5mm 40mm角
 - ・アンカーボルト M16 コンクリート埋め込み長さ L=360 角座金 t=6.0mm 54mm角
 - ・10kN引き寄せ金物(2)以上については、アンカーボルト(M16)と直結すること
 - ・柱の接する地盤面より1,000までは防塵、防蟻処理を行うこと
- ・柱芯からのアンカーボルト位置



訂正	月日	原 設計 株式会社	代表取締役 廣井 克彦	担当	設計年月	福山市建設局建築部営繕課	工事名称	福山市深津交流館改築工事		区分
		〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214	一級建築士事務所 広島県知事登録第22(1)0409号 一級建築士 甲斐 宣行 第293830号	目録目次-1 表紙	2023年3月 変更年月		図面名称	縮尺	1:100	構造(S)
				作図		土台伏図				図面番号 S-013
										縮尺率 A-1: 100% A-2: 71% A-3: 50%



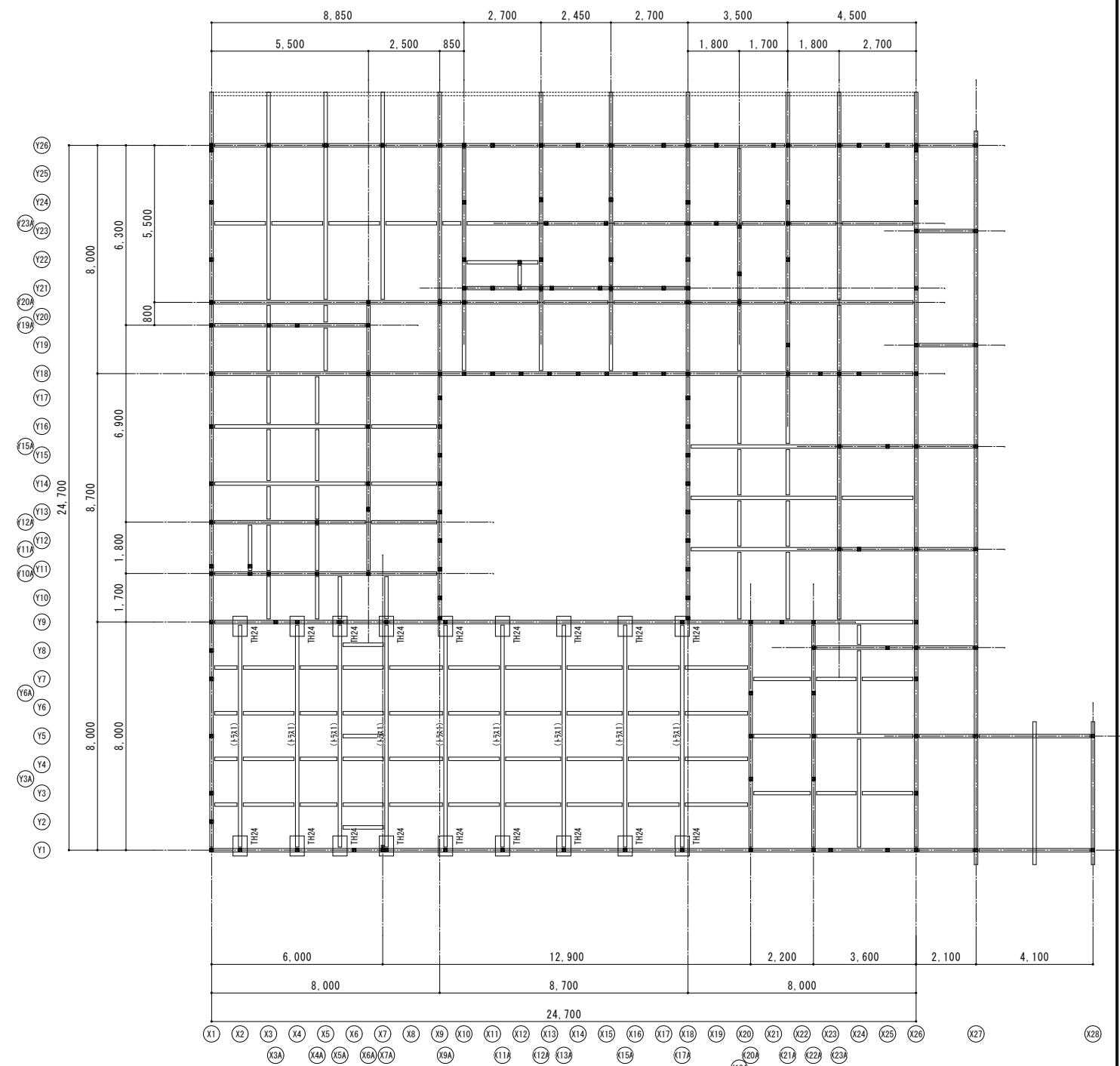
1階柱・壁伏図, 柱頭柱脚金物配置図 S=1:100

特記なきは以下とする
 ・柱 ■ C120x120
 ・筋違い 30x90(たすき掛け)
 45 45x90(たすき掛け)
 45 45x90(片側)
 ・耐力壁 構造用合板 t=9(有効部分)
 LC 構造用合板(2号付) t=9(有効部分)
 ・柱の接する地盤面より1.000までは防蟻, 防蟻処理を行うこと

柱頭柱脚金物の許容耐力

仕様	記号	Ta(kN)
短ほぞ差し+かすがい打	□(L/A)	1.08
CP-L	L(ろ)	3.38
長ほぞ差し込み栓打	N(ろ)	3.81
CP-T	T(は)	5.07
山形プレート	V(は)	5.88
羽子板*針	P(に)	7.50
短冊金物	I(に)	7.50
スクリュー釘併用羽子板*針	Ps(は)	8.50
スクリュー釘併用短冊金物	Is(は)	8.50
10kN 引き寄せ金物	2(へ)	10.00
15kN 引き寄せ金物	3(と)	15.00
20kN 引き寄せ金物	4(ち)	20.00
20kN 引き寄せ金物×2	42(ち×2)	40.00

※10kN引き寄せ金物(2)以上については, アンカーボルトと直結すること



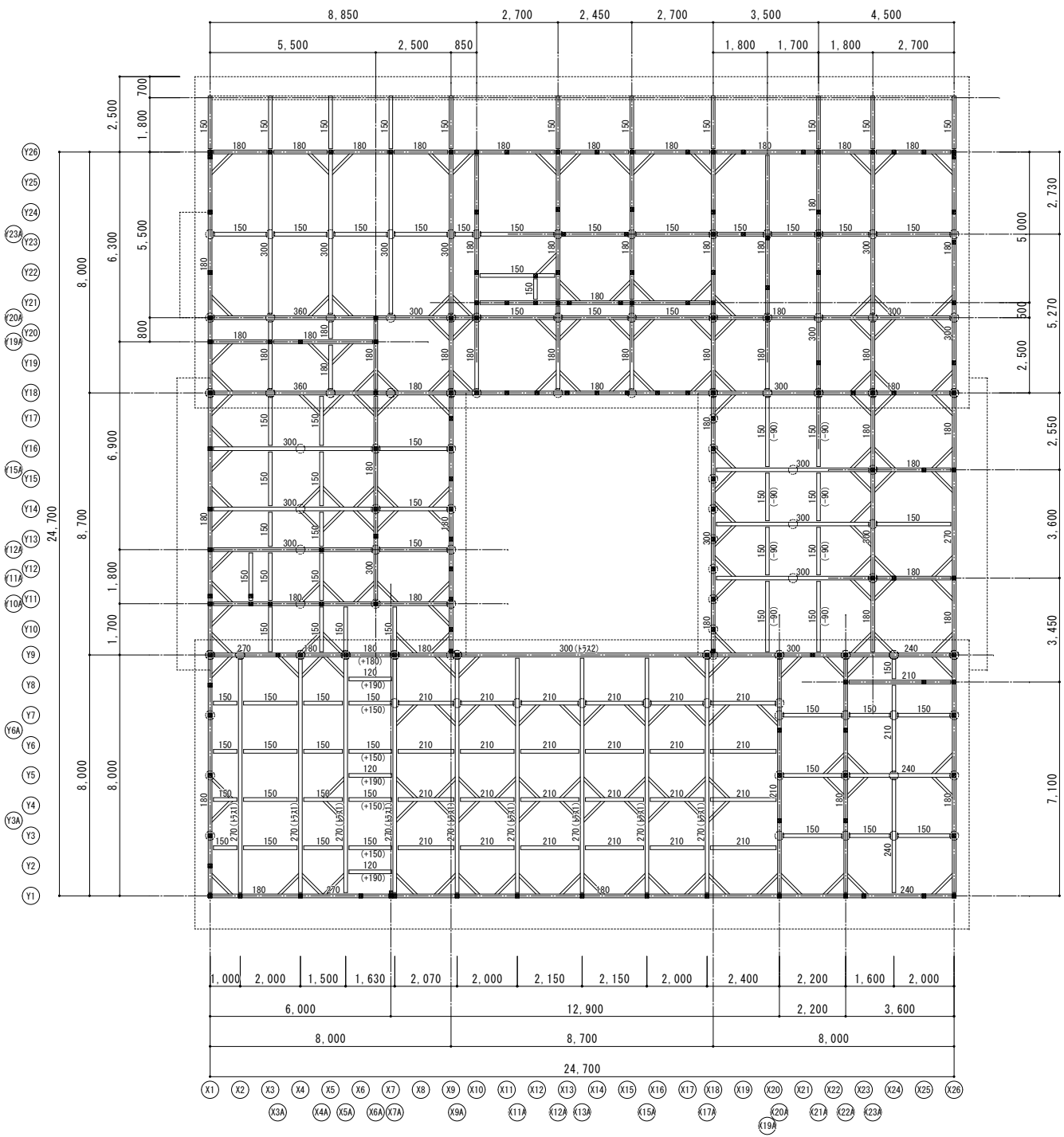
横架材仕口金物配置図 S=1:100

特記なきは以下とする
 ・横架材仕口金物 かね折り金物SA または羽子板ボルト
 ・トラス梁部分については, 別紙詳細図参照

梁受金物の許容耐力

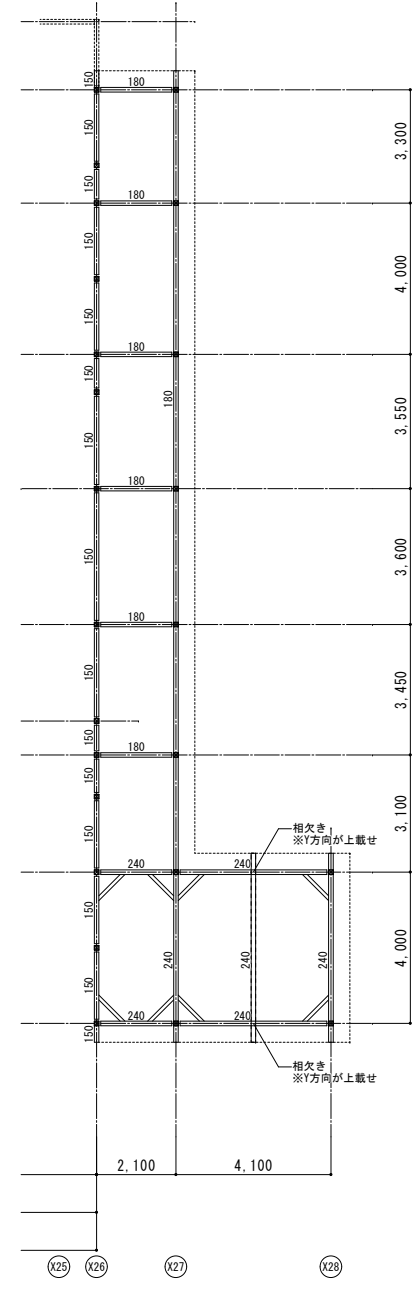
仕様	記号	短期基準せん断接合耐力 (kN)	短期基準逆せん断接合耐力 (kN)	短期基準引張耐力 (kN)
梁受金物 TH-10	TH10	8.0	9.2	13.6
梁受金物 TH-18	TH18	24.3	20.9	27.1
梁受金物 TH-24	TH24	34.9	23.8	34.8
梁受金物 TH-33	TH33	41.5	41.7	40.3
登梁受金物 GD0240	GD0240	31.2	29.6	21.5

※タツミ テックワン金物同等品とする



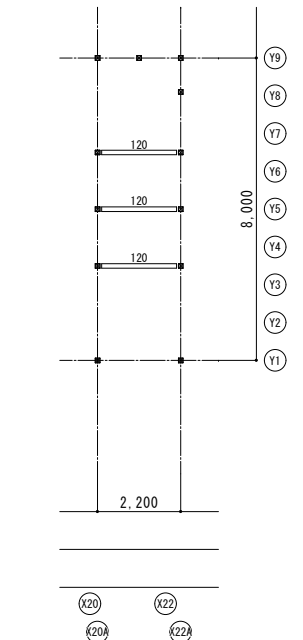
陸梁面 梁伏図 S=1:100

- 特記なきは以下とする
- ・柱 ■ C1 120x120
 - ・小屋梁 □ C1 120x120
 - ・火打ち梁 〰 90x90
 - ・()内数値は、軒高からの梁天端へを示す



下屋部分小屋伏図 S=1:100

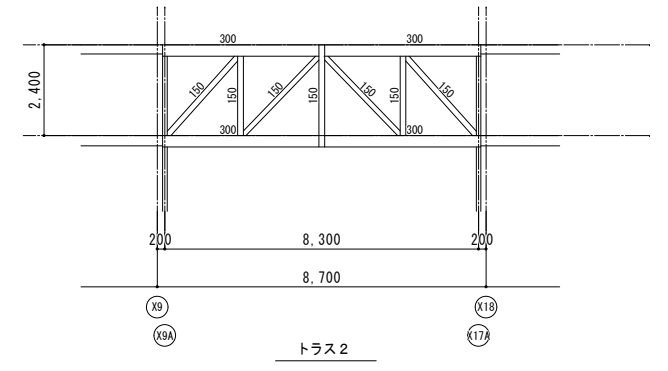
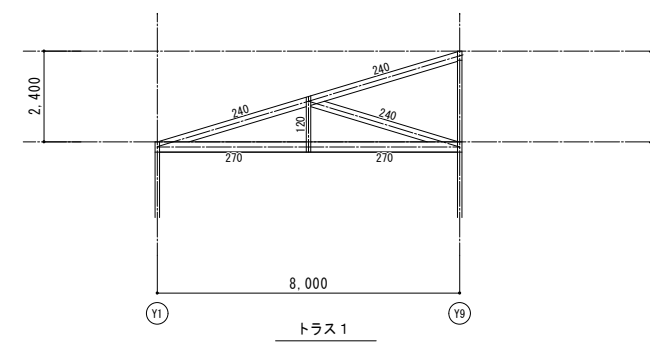
- 特記なきは以下とする
- ・柱 ■ C1 120x120
 - ・火打ち梁 〰 90x90
 - ・母屋 □ 120x120 #1000
 - ・垂木 〰 2x45x90 #400 ※詳細は意匠図参照
 - ・屋根面仕様：構造用合板 t=12
 - ※軒桁上、垂木の継目が乗る母屋上に転び止め有り



FL+2000面伏図 S=1:100

- 特記なきは以下とする
- ・柱 ■ C1 120x120

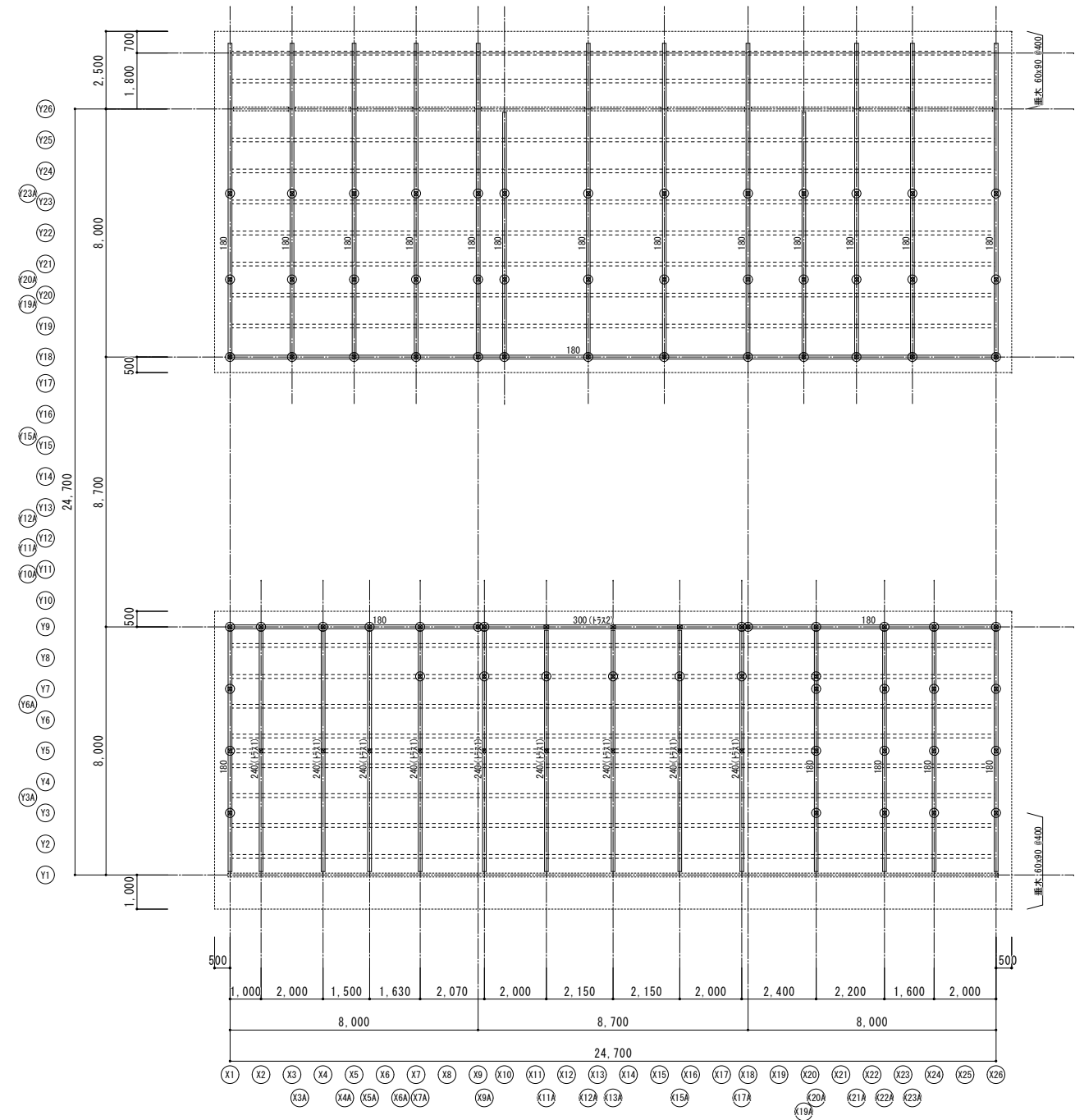
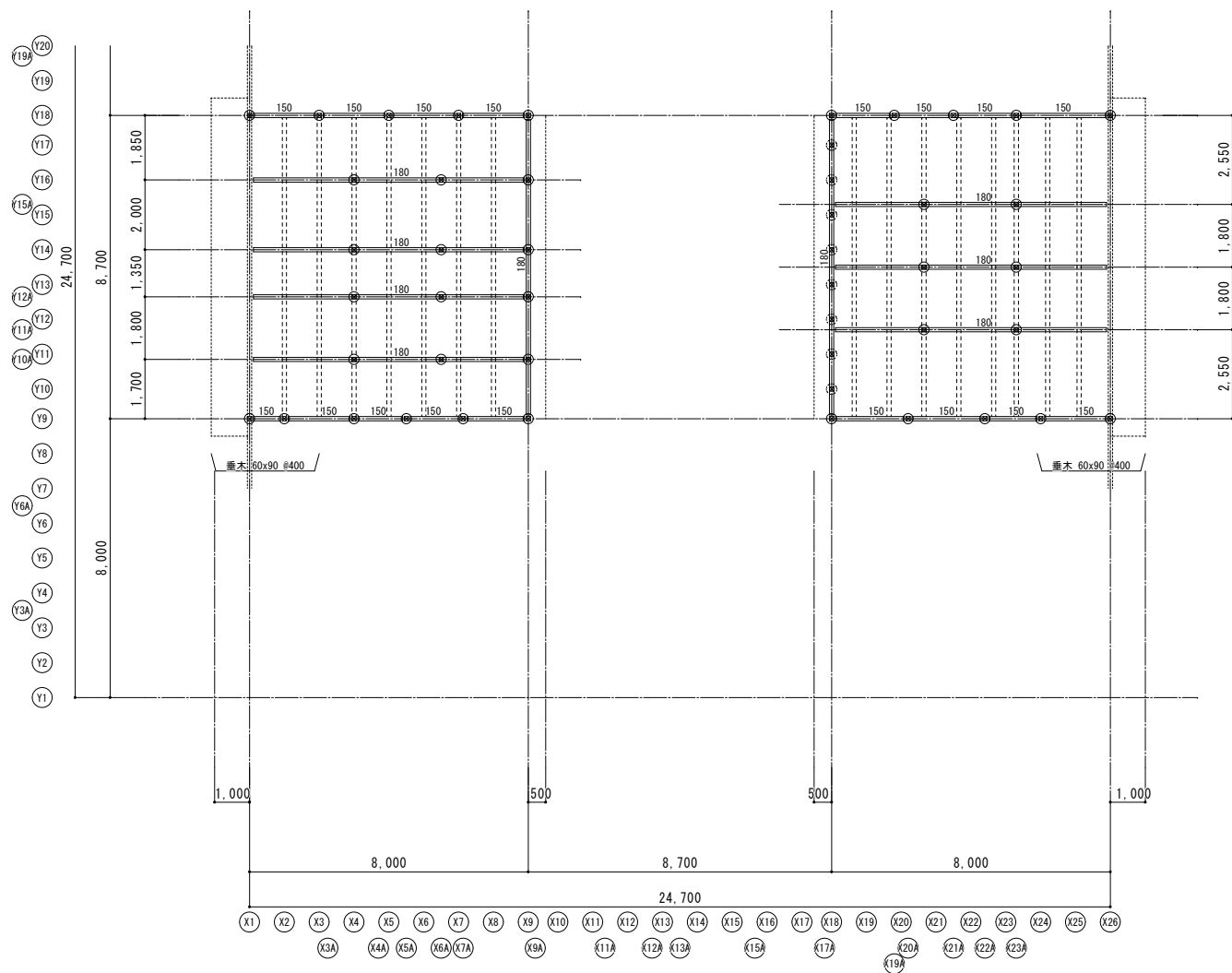
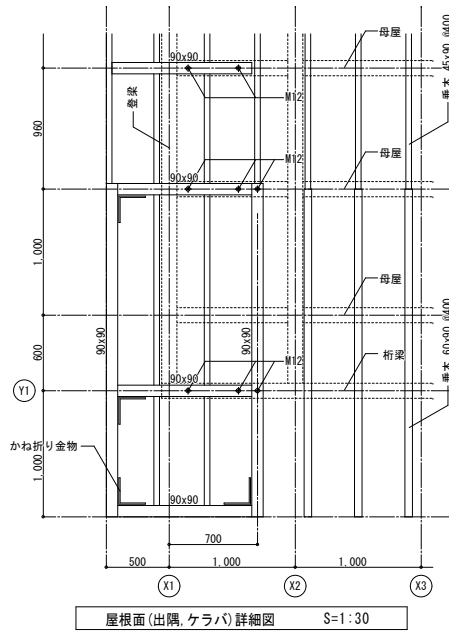
符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱、小屋梁
360	ハブ 1/2 集成材 (E120-F330)	120×360	小屋梁等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ペイマツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ペイマツ (E110) スギ (無等級)	120×120	母屋 #1000
垂木	スギ (無等級)	45×90	#400
開柱	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはね出し部)
土台	ヒノキ (E90)	120×120	"
火打ち梁	ヒノキ (E90)	90×90	"



縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

部材リスト

符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱, 小屋束
360	パワースタッド集成材 (E120-F330)	120×360	小屋束等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ペイマツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ペイマツ (E110)	120×120	母屋 #1000以下
番木	スギ (無等級)	45×90	#400
	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはね出し部)
間柱	スギ (無等級)	30×120	#500
土台	ヒノキ (E90)	120×120	
火打ち梁	ヒノキ (E90)	90×90	



特記なきは以下とする
 ・小屋束 ① C1 120x120
 ・母屋 ② ③ 120x120 #1000
 ・番木 ④ ⑤ 45x90 #400
 ・間柱 ⑥ 30x120 #500
 ・屋根面仕様 構造用合板 7-12
 ※軒桁上、番木の端目が乗る母屋上に転び止めあり

訂正	月日	

原設計株式会社
 〒720-0805 福山市御門町一丁目12番15号
 TEL 084-922-3213 FAX 084-922-3214
 一級建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
 一級建築士 第 293830 号 甲斐 宣行

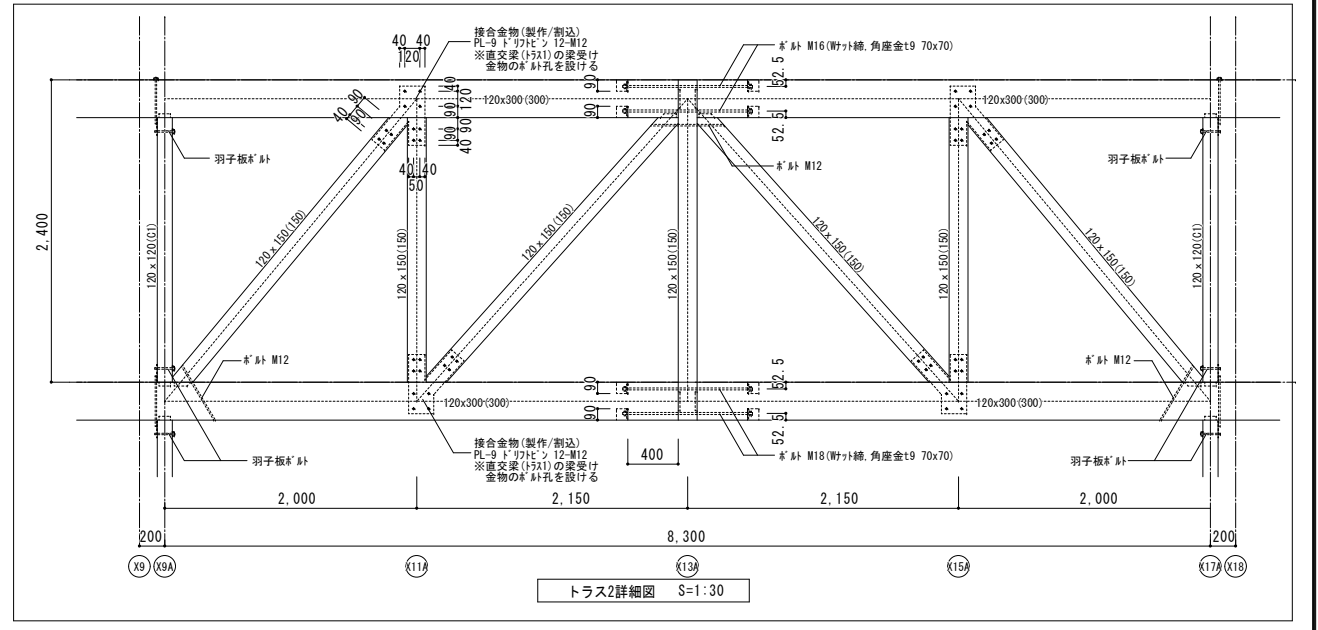
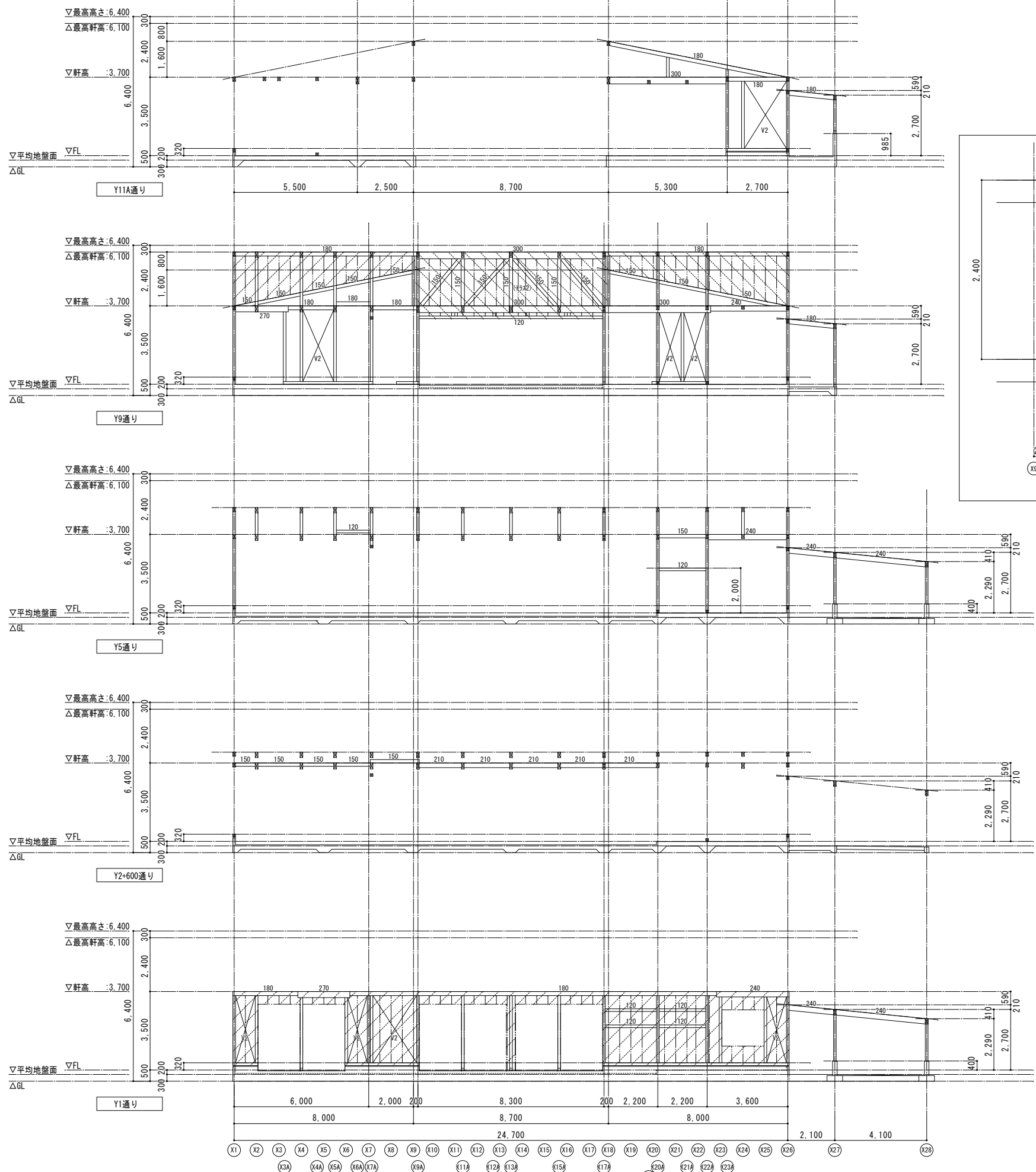
一級建築士 廣井 克彦
 第 345405 号
 建築士事務所 広島県知事登録第 22 (1) 0409 号
 一級建築士 第 293830 号

担当
 設計年月 2023年 3月
 作図 東実年月

福山市建設局建築部営繕課
 図面名称 小屋伏図

工事名称 福山市深津交流館改築工事
 縮尺 1:100
 図面番号 S-016

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



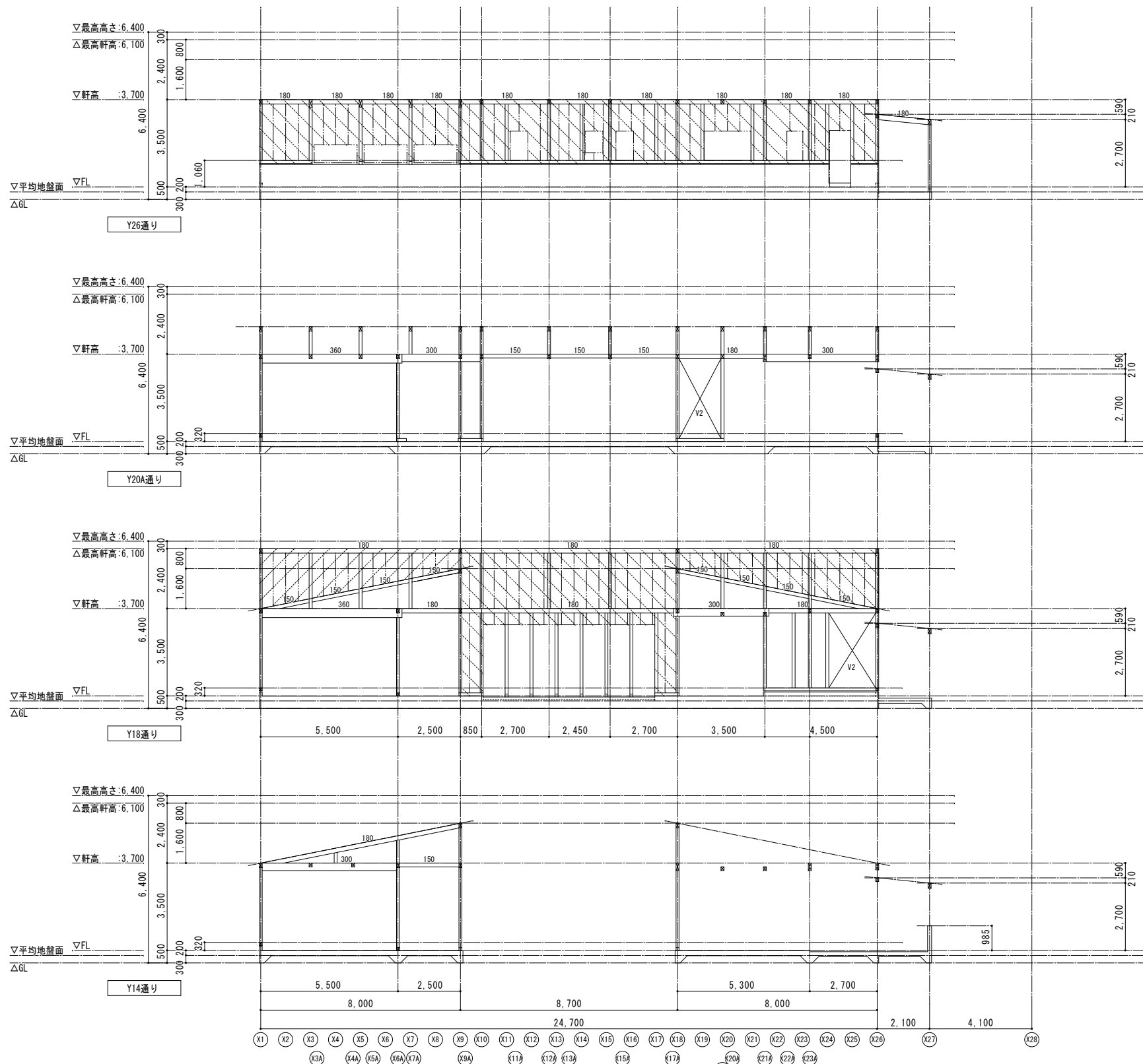
部材リスト

符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱, 小屋束
360	hV2 材 (E120-F330)	120×360	小屋束等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ベイヤツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ベイヤツ (E110)	120×120	母屋 #1000
垂木	スギ (無等級)	45×90	#400
	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはね出し部)
間柱	スギ (無等級)	30×120	#500
土台	ヒノキ (E90)	120×120	
V1	ヒノキ (無等級)	30×90 (たすき)	筋かい
V2	ヒノキ (無等級)	45×90 (たすき)	筋かい
V3	ヒノキ (無等級)	45×90 (片側)	筋かい

軸組図 (1) S=1:100

特記なきは以下とする
 柱, 小屋束 C1 120x120
 範囲 構造用合板 t=9
 範囲 構造用合板 t=9 (53kg)

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



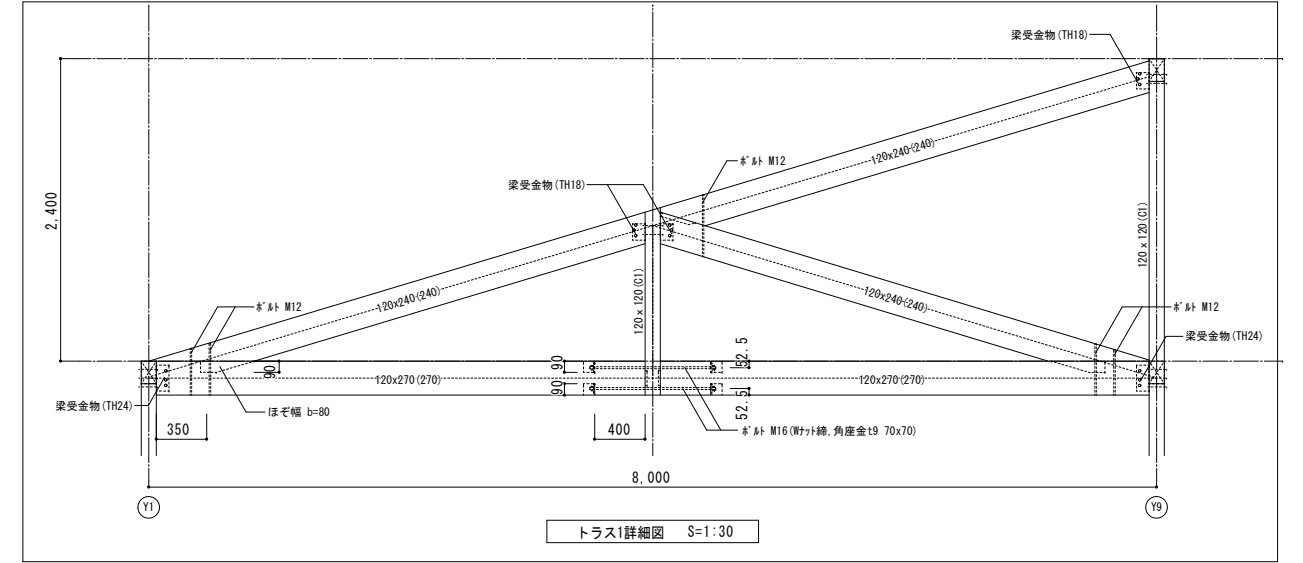
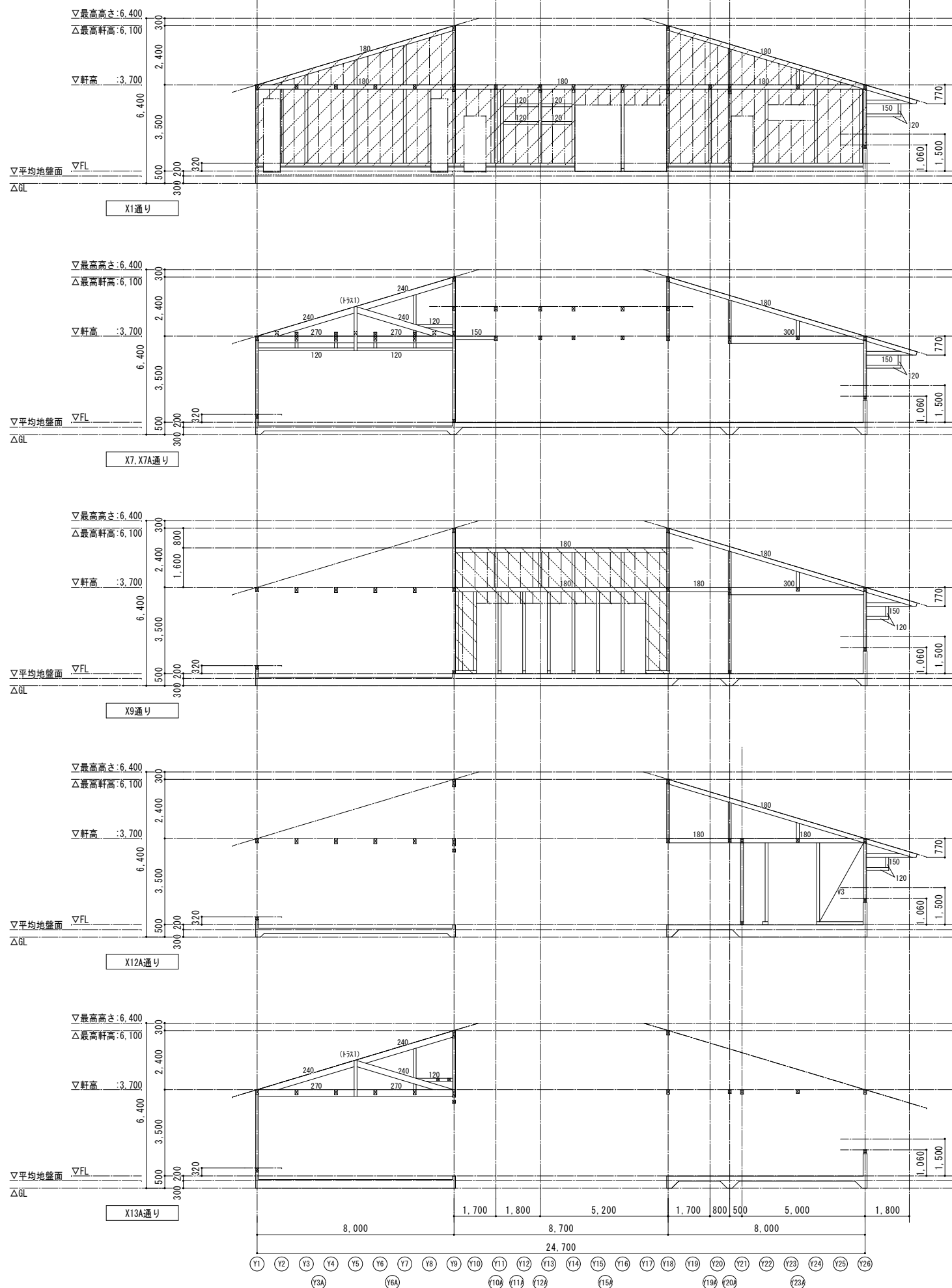
部材リスト

符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱, 小屋束
360	パワースタッド集成材 (E120-F330)	120×360	小屋束等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ベイヤツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ベイヤツ (E110)	120×120	母屋 #1000
垂木	スギ (無等級)	45×90	#400
	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはね出し部)
間柱	スギ (無等級)	30×120	#500
土台	ヒノキ (E90)	120×120	
V1	ヒノキ (無等級)	30×90 (たすき)	筋かい
V2	ヒノキ (無等級)	45×90 (たすき)	筋かい
V3	ヒノキ (無等級)	45×90 (片側)	筋かい

軸組図 (2) S=1:100

特記なきは以下とする
 柱, 小屋束 C1 120×120
 範囲 構造用合板 t=9
 範囲 構造用合板 t=9 (5枚以上)

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



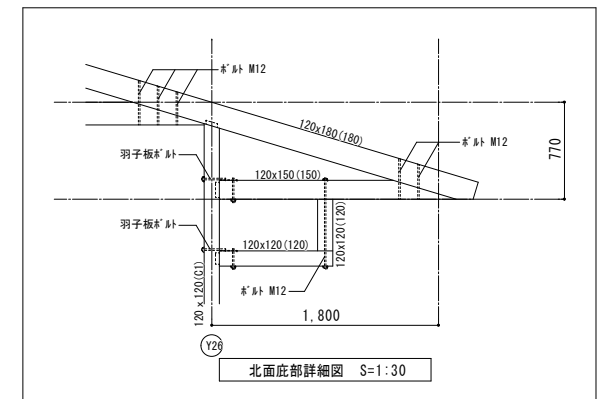
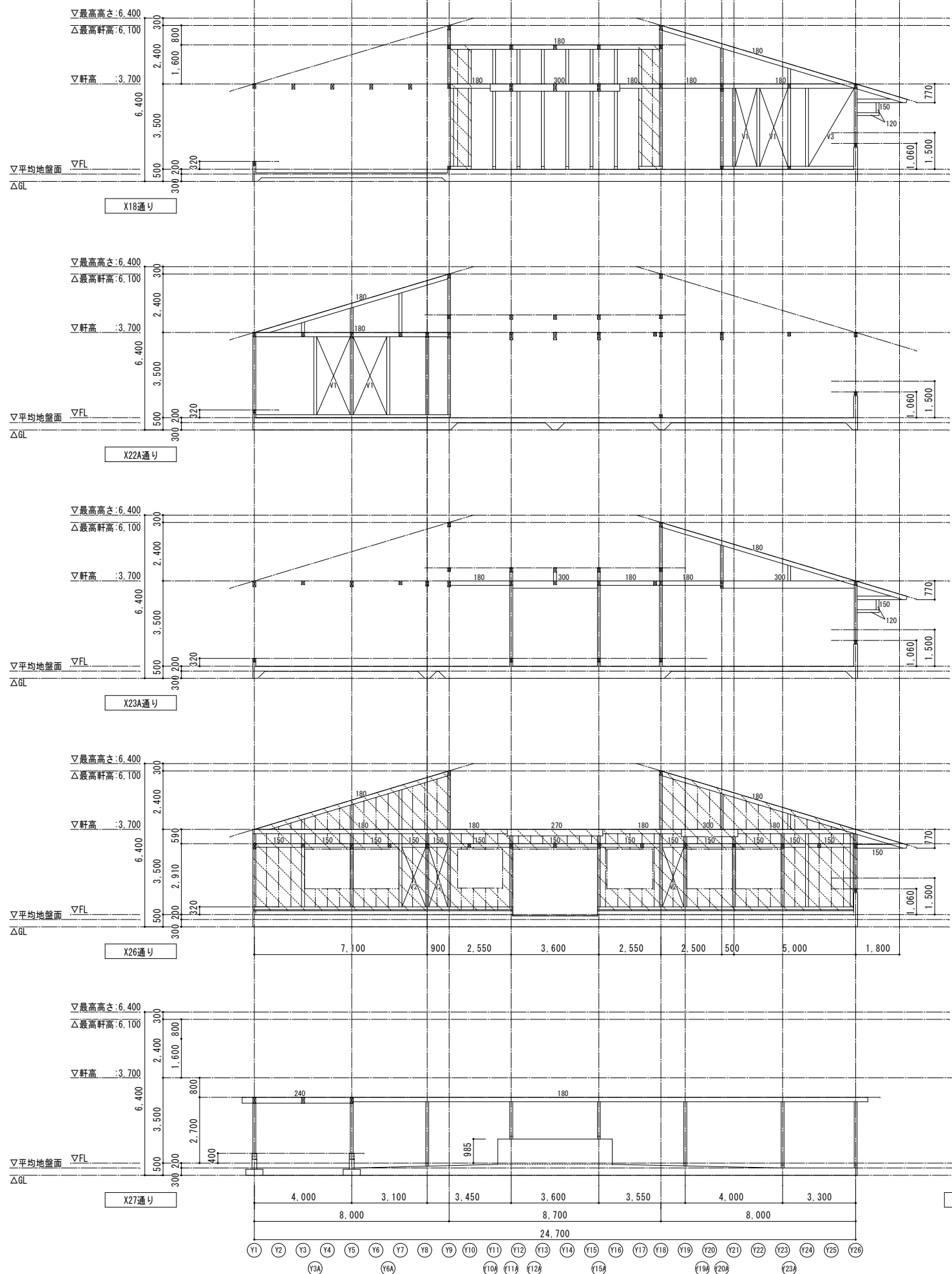
部材リスト

符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱, 小屋束
360	hV' J' J' 集成材 (E120-F330)	120×360	小屋束等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ベイマツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ベイマツ (E110)	120×120	母屋 #1000
垂木	スギ (無等級)	45×90	#400
	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはね出し部)
間柱	スギ (無等級)	30×120	#500
土台	ヒノキ (E90)	120×120	
V1	ヒノキ (無等級)	30×90 (たすき)	筋かい
V2	ヒノキ (無等級)	45×90 (たすき)	筋かい
V3	ヒノキ (無等級)	45×90 (片側)	筋かい

軸組図 (3) S=1:100

特記なきは以下とする
 柱, 小屋束 C1 120x120
 範囲 構造用合板 t=9
 範囲 構造用合板 t=9 (5ヶ所)

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%



部材リスト

符号	樹種	寸法	備考
C1	ヒノキ (E90)	120×120	柱, 小屋束
360	パフ'リット'集成材 (E120-F330)	120×360	小屋梁等
300	"	120×300	"
270	"	120×270	"
240	"	120×240	"
210	"	120×210	"
180	ベイマツ (E110)	120×180	"
150	"	120×150	"
120	"	120×120	"
M1	ベイマツ (E110)	120×120	母屋 #1000
番木	スギ (無等級)	45×90	#400
	スギ (無等級)	60×90	#400 (1mはわし部)
間柱	スギ (無等級)	30×120	#500
土台	ヒノキ (E90)	120×120	
V1	ヒノキ (無等級)	30×90 (たすき)	筋かい
V2	ヒノキ (無等級)	45×90 (たすき)	筋かい
V3	ヒノキ (無等級)	45×90 (片側)	筋かい

軸組図(4) S=1:100

特記なきは以下とする
 柱, 小屋束 C1 120x120
 範囲 構造用合板 t=9
 範囲 構造用合板 t=9(3xおた)

縮尺率	A-1: 100%
	A-2: 71%
	A-3: 50%

参考数量書

§ 工事名称 福山市深津交流館改築工事

§ 工事場所 福山市東深津町六丁目7番1号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市深津交流館改築工事
工事場所 福山市東深津町六丁目 7 番 1 号

【工事概要】

構造：木造平家建
規模：延べ面積 579.90㎡
附属建物：交流館附属物置 11.35㎡

【別途工事】

電気設備工事
給排水衛生設備工事
冷暖房換気設備工事
ガス設備工事
カーテン取付工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
交流館棟	1	式		
屋外施設等	1	式		
計				

交流館棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

交流館棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	柱状改良	1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		
計					
タイル	外部	1	式		
タイル	内部	1	式		
計					
木工	構造	1	式		

交流館棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
木工	造作 外部	1	式		
木工	造作 内部	1	式		
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具	アルミウム製建具	1	式		
建具	折れ扉	1	式		
建具	鋼製建具	1	式		
建具	木製建具	1	式		
建具	ガラス	1	式		
計					
塗装	外部	1	式		
塗装	内部	1	式		
計					

交流館棟					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
内外装	外部	1	式		
内外装	内部	1	式		
計					
エント及びその他	外部	1	式		
エント及びその他	内部	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処理	1	式		
計					

屋外施設等					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
交流館付属倉庫		1	式		
計					
歩道切下げ		1	式		
計					
屋外排水		1	式		
計					
その他		1	式		
計					
解体		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

交流館棟		土工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	38.6	m ³			
床付け	つぼ, 布掘り	534	m ²			
盛土(B種)	発生土	8.4	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	2	往復			
計						

交流館棟		地業			地業	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
砂利地業	再生クワッシュ	186	m ³			
土間下断熱材敷き	2種b 厚さ25	477	m ²			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	534	m ²			
計						

交流館棟		地業		柱状改良		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工費	φ500mm 掘削長9.44m (空堀長0.15m) 平均長	144	本			
セメント系固化材	フルコン	87	t			
杭頭処理費		144	本			
機械運搬費	小型杭打機12t級	1	セット			
管理試験費	事前配合・六価クロム溶出試験	1	式			
管理試験費	頭部モルタルコア試験	2	ヶ所			
管理試験費	深部モルタルコア試験	1	ヶ所			
管理試験費	全長ボースリンク試験	1	ヶ所			
事前配合試験用 サンプル土採取		1	回			
法定福利費		1	式			
計						

交流館棟		鉄筋		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.3	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	18.1	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	3.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	1.9	t			
スクラップ 控除	H2	▲0.6	t			
鉄筋加工組立	木造 基礎	23.9	t			
鉄筋運搬費	10 t 車 30km程度	23.9	t			
計						

交流館棟		コンクリート			躯体	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm 捨てコンクリート	16.5	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 Fc=21N/mm ² S=15cm 基礎部	187	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 Fc=21N/mm ² S=18cm 壁部	6	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0012
コンクリートポンプ圧送基本料金		1	式			別紙 00-0013
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0010
計						

交流館棟		型枠		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	89.2	m ²			
型枠	普通合板型枠	27.1	m ²			
型枠	打放合板型枠B種	119	m ²			
ホ ^ッ ト型枠		1	式			
面木		145	m			
目地	打継目地	41	m			
金物取付費	手間のみ 柱脚金物 土台金物	1	式			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	239	m ²			
計						

交流館棟		防水		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	64.3	m			
計						

交流館棟		防水			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	一般部 シリコン系 (SR-1) 6×6	88.1	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	50	m			
計						

交流館棟		タイル			外部	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床タイル張り	磁器質タイル 300×300 平	27.6	m ²			
視覚障害者用床タ イル	300x300 誘導 線状	43	枚			
視覚障害者用床タ イル	300x300 警告 点状	6	枚			
計						

交流館棟		タイル		内部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
床タイル張り	磁器質タイル 300×300 平	7.9	㎡			
視覚障害者用床タイル	300x300 誘導 線状	5	枚			
視覚障害者用床タイル	300x300 警告 点状	6	枚			
汚垂石	D600	2.6	m			
計						

交流館棟		木工		構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
横架材		1	式			別紙 00-0001
柱・束材		1	式			別紙 00-0002
端柄材		1	式			別紙 00-0003
基本加工費		1	式			別紙 00-0004
別途加工費		1	式			別紙 00-0005
野地板	針葉樹構造用合板 t=12	580	枚			
野地板	ラワン合板 T=12	580	枚			
壁合板	針葉樹構造用合板 t=9	60	枚			
ラケット合板	t=9	160	枚			
構造金物	柱脚金物含む	1	式			
防腐防蟻材塗り		54.5	m ²			
防蟻・防腐処理 (土壌処理)	クレンネットMC同等 1m ² あたり10	534	m ²			
防蟻・防腐処理 (土壌処理)	施工手間	1	式			
建方費		1	式			別紙 00-0011
諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

交流館棟		木工		造作 外部		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
空調取付下地	杉120 x 120	28.2	m			
外部木製ルーバー	杉60 x 30	84.7	m			
押さえ縁	杉30 x 30	2.8	m			
見切り縁	杉40 x 40	21.4	m			
広小舞	桧24 x 105	25.7	m			
野地板	化粧杉板 t 12	87.8	m ²			
計						

交流館棟		木工		造作 内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床フローリング張り	杉 t=12 木下地部 大建工業 WPC加工同等 UV抗菌耐摩耗塗装	148	m ²			
壁 横胴縁組	米松 18x45 @303	1,062	m ²			
壁見切	杉15×30	213	m			
壁見切	杉35×35	19.2	m			
壁見切	米梅75×30	6	m			
建具枠	杉 W210×25	170	m			
ライニング	下地組 60 x 45 ワン合板張り t=12	4	か所			
天井見切	杉30×30	11.1	m			
天井見切	杉15×25	88.8	m			
幅木	杉 15 x 75	143	m			
腰板張り	杉羽目板 t 9	142	m ²			
天井板張り	杉羽目板 t 9	46	m ²			
天井下地	野縁受@900 野縁@455 吊木共	516	m ²			
天井 開口補強	450角	25	か所			
天井 開口補強	600角	2	か所			
カーテンボックス	杉集成材150 x 120	28	m			
カーテン取付下地	杉60×30	16.4	m			
額縁	杉25 x 150	198	m			
天井木製ルーバー	杉60 x 30@90	611	m			
ルーバー下地	杉60 x 60	135	m			

交流館棟		木工		造作 内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
点検歩廊	杉足場板30 x 300	12.6	m ²			
壁杉板	1100 x 500 x 20	12.7	m ²			
吊り束	桧90 x 60	6	m			
落とし掛け	桧45 x 90	7.7	m			
壁ルーバー	桧30 x 45	124	m			
上枠	桧30 x 90	7.7	m			
木手摺	35Φ プラケット共	43.3	m			
木手摺	下地補強 18x90	43.3	m			
空調取付下地	杉120 x 120	3.8	m			
空調取付下地	杉90 x 90	3.8	m			
木製はしご	L1800	1	か所			
計						

交流館棟		屋根及びとい		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
屋根たてハセ葺き	カーGL t=0.5	808	m ²			
屋根下地	アスファルトルーフィング ⁹⁴⁰	808	m ²			
屋根フェノールフォーム	t=30	721	m ²			
片棟仕舞	止面戸 エブ ¹ ロン共 カーGL t=0.5 タテ換気棟(片棟S形)同等	68.8	m			
軒先唐草	キャップレス 補強下地板 t=0.8 カーGL t=0.5 W=220	96.5	m			
けらば取合水切	カーGL t=0.5 W=450	36.8	m			
水上取合水切	止面戸 エブ ¹ ロン共 カーGL t=0.5 タテ換気棟(雨押えS型)同等	24.7	m			
けらば唐草	補強下地板 t=0.8共 カーGL t=0.5 W=220	60.4	m			
軒樋	タテ HACO GH12号同等 正面打ち吊金具 @400	96.5	m			
落とし口	丸落とし90Φ	16	ヶ所			
縦樋	タテガ ¹ ルパ ¹ リウム丸たてとい90Φ同等 掴み金物+足 @1200共	58	m			
材料運搬費		1	式			
諸経費		1	式			
計						

交流館棟		金属			外部	
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
アルミ庇	L3500 × D 900	1	か所			
SUSクレーシク*	床板(すべり止め型) 25×30	0.6	m ²			
SUS丸かん	30Φ	32	か所			
SUS排水目皿	クットテッキ部	2	か所			
計						

交流館棟		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SUS幅木	SUS HL H75	5.8	m			
床目地棒	ステンレス製 6×15	16.2	m			
カーテンボックス用ブレード	スチール t=3.2	28	か所			
ヒクチャーレール	アルミ製 シルハ- 天井埋込みタイプ ボート厚 9.5	34.6	m			
ヒクチャーレール	アルミ製壁付	26.2	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	25	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	2	か所			
自動ドア防護柵	FB-50 x 9焼き付け塗装	2	か所			
計						

交流館棟		左官		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	33.7	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごと 直均し仕上げ	118	m ²			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	50.1	m			
打放し面補修	A 種 コン処理 目違いばらい無	61	m ²			
計						

交流館棟		左官			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床モルタル塗り	木ごと 一般タイル下地 厚37	9.7	m ²			
床モルタル塗り	木ごと ビール系床材下地 厚28	33.7	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	木ごと 直均し仕上げ	151	m ²			
床コンクリート木目均し	木目2回 定盤均し共	490	m ²			
セルフベリング材塗	セメント系 t=10	339	m ²			
セルフベリング材塗り	コンクリート下地 セメント系 t10	77.5	m ²			
	土台下		m			
壁珪藻土塗り	ボード面 下地(石こうプaster)塗総厚5.0	201	m ²			
計						

交流館棟		建具		アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AD-1	片引き戸自動扉+片開き扉 エンジン装置含む	1	か所			
AD-2	片開き扉	2	か所			
AD-3	片開き扉+突出し排煙窓 排煙ホドレータ-含む	1	か所			
AD-3A	片開き扉+FIX窓	1	か所			
AW-1	欄間+引違い窓	6	か所			
AW-2	突出し排煙窓 排煙ホドレータ-含む	1	か所			
AW-3	欄間+引違い窓	1	か所			
AW-3A	欄間+引違い窓	1	か所			
AW-4	引違い窓	7	か所			
AW-5	引違い窓	1	か所			
AW-6	引違い窓	3	か所			
AW-7	縦滑り出し窓	3	か所			
AW-7A	縦滑り出し窓	1	か所			
AW-8	FIX窓	2	か所			
AW-9	FIX窓	4	か所			
AW-9A	FIX窓	2	か所			
AW-10	FIX窓+突出し排煙窓 排煙ホドレータ-含む	3	か所			
AW-10A	FIX窓+FIX窓	1	か所			
AW-11	FIX窓+突出し窓	6	か所			
AW-11A	FIX窓+突出し窓	3	か所			

交流館棟		建具			アルミニウム製建具	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AW-12	FIX窓	3	か所			
AW-12A	FIX窓+突出し排煙窓 排煙ホウレータ-含む	4	か所			
設計費		1	式			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

交流館棟		建具		鋼製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
LSD-1	片開き玄関扉（K3仕様）	1	か所			
STD-1	片引き自動扉+片開き扉 エンジン装置含む	1	か所			
SRW-1	天井収納型電動間仕切 取付下地金物含む タイルシート同等貼り含む	1	か所			
SP-1	鋼製間仕切	1	か所			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

交流館棟		建具		木製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
WD-1	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	2	か所			
WD-1A	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	7	か所			
WD-1B	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-2	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-2A	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-2B	片引き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-3	引分け戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-4	引違い戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-4A	引違い戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-5	片開き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WD-6	片開き戸 しな合板t=4 塗装別途	1	か所			
WW-1	上下窓 FIX窓 集成材 塗装別途	1	か所			
同上建具金物		1	式			
同上切嵌め		1	式			
運搬、諸経費		1	式			
計						

交流館棟		建具		ガラス		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	1.8	㎡			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 4.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	6	㎡			
複層ガラス	FL3+A12+FL3 特寸2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	0.2	㎡			
複層ガラス	FL4+A6+FL4 特寸2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	20.4	㎡			
複層ガラス	TG5+A6+TG5 特寸2.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	134.1	㎡			
複層ガラス	TG5+A6+TG5 特寸4.0㎡以下 ガラスとめ材別途 清掃別途	5.6	㎡			
ガラスとめ(シリク)	シリコン 1成分形 SR-1 8×6	41.8	m			
ガラスとめ(シリク)	シリコン 1成分形 SR-1 8×10	1,008	m			
衝突防止マーク	SUS-HL 30Φ 内外	10	ヶ所			
強化ガラス	厚さ 4mm 1.8㎡以下 (木製建具部分) 清掃別途	7.4	㎡			
強化型板ガラス	厚さ 4mm 1.8㎡以下 (木製建具部分) 清掃別途	3.7	㎡			
運搬諸経費		1	式			
ガラス清掃		221	㎡			
計						

交流館棟		塗装			外部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
透湿撥水アクリルシリコン系ワヤ	コンクリート打ち放し面	61	㎡			
WP塗り	木部 (B種) 素地ごしらえ含む	160	㎡			
WP塗り	木部糸幅 (B種) 素地ごしらえ含む	159	m			
計						

交流館棟		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
NP塗り	木部 (B種) 素地ごしらえ含む	414	m ²			
NP塗り	木部糸幅 (B種) 素地ごしらえ含む	1,460	m			
UC塗り	工程B種 素地ごしらえ含む	6.9	m ²			
計						

交流館棟		内外装		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
金属系サイディング	ガルスパン同等 スライブ t=15	159	m ²			
モルタル下地 +塗壁仕上	ジョリパット同等	253	m ²			
出隅コーナー		17	m			
下地シート		412	m ²			
下地通気胴縁		412	m ²			
土台水切り	アルミ	126	m			
よろい張り	杉板 t 18	15	m ²			
破風板	木目調 t=16 H=210	200	m			
軒天ボード	板目調 t=12	166	m ²			
中間水切り		16	m			
シーリング	破風板取合い	200	m			
シーリング	軒下取合い	250	m			
シーリング	サッシ取合い	301	m			
防水テープ	開口部	200	m			
運送費		1	式			
諸経費		1	式			
計						

交流館棟		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁ボード張り	PB12.5 木軸下地	603	m ²			
壁ボード張り	耐水PB12.5 木軸下地	185	m ²			
界壁ボード張り	PB12.5+9.5 木軸下地	176	m ²			
壁ボード張り	PB12.5+シナ合板張り 木軸下地	137	m ²			
壁ボード張り	PB12.5 GL工法 (腰壁RC部)	22.7	m ²			
壁ケイカル板張り	t=12 木軸下地	6.2	m ²			
壁グラスウール充填	グラスウール t=100 24K	491	m ²			
壁断熱材吹付け	硬質ウレタンフォーム A種1H t=20	22.7	m ²			
複層ビニル床タイル	木目調 t=3.0	168	m ²			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループパイル 一般事務室用	34.5	m ²			
複層ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	30.9	m ²			
複層ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	28.6	m ²			
複層ビニル床シート	マーブル 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	51.3	m ²			
複層ビニル床シート	t=2.8 発泡	39.5	m ²			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	1.9	m ²			
ビニル幅木	高さ75	57.4	m			
床シート巻上げ	高さ75	2.9	m			
畳敷き	標仕D種 畳表C2 柄へり Ht 畳床KT-III 一畳 施工規模30枚以下程度	12	枚			
収納棚	押入ボード t9	9.2	m ²			
メラミン不燃化粧板	t=3	17.8	m ²			

交流館棟		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁クロス張り	AA 不燃	166	m ²			
壁クロス張り	掲示板用	48.4	m ²			
壁紙張り	ホワイトボード	43.5	m ²			
壁化粧ケイカル板	t=6	176	m ²			
幕板	耐水PB t9.5+化粧ケイカルt6 実習室ミキシン 給湯室流し台部分	2	m ²			
巾木見切り		38.3	m			
天井ボード張り	PB9.5 下張り	378	m ²			
天井ロックウール吸音板	t=9	378	m ²			
天井ボード張り	化粧PB t=9.5	83.6	m ²			
天井廻り縁	塩ビ	295	m			
計						

交流館棟		エント及びその他			外部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(ウットデッキ)						
ウットデッキ	ウットデッキSW同等 H=250 厚30×幅145 床下点検口2箇所含む 高耐食性床下地共	1	式			
運搬・諸経費		1	式			
小計						
(その他)						
屋外掲示板	1850 x 1250	1	か所			
小計						
(サイン)						
館名文字	SUS箱文字200 x 200 x 20	8	か所			
蝙蝠マーク	SUS 300 x 300 x 4	1	か所			
身障者駐車場サイン	400x400x3 アルミ複合板 シート切り文字	1	か所			
小計						
計						

交流館棟		エント及びその他		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(フリーフロア)						
乾式2重床	フクビ フリーフロア-SDG同等 H=138 エアロビクスシステム	148	m ²			
下地板張り	フロン合板 t=12	148	m ²			
小計						
(トイレブース)						
TB-1	アルミエッジ マラミン化粧板 t=40	1	か所			
TB-2	アルミエッジ マラミン化粧板 t=40	1	か所			
TB-3	アルミエッジ マラミン化粧板 t=40	1	か所			
TB-4	アルミエッジ マラミン化粧板 t=40	1	か所			
トイレブース諸経費		1	式			
小計						
(トイレ設備)						
多目的シート	折りたたみ式	1	か所			
ベビーカーチェア	YKA15S同等	2	か所			
ベビーカーシート	YKA25S同等	1	か所			
カウンター	ホウロウ一体型(2連) 男子 照明付きカミ 材工共	1	か所			
カウンター	ホウロウ一体型(2連) 女子 照明付きカミ 材工共	1	か所			
ミラー		5	枚			
L型手すり	T112CL10同等	6	か所			
小便器用手すり	T112CU22同等	1	か所			

交流館棟		エント及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
跳上げ手すり	T112HK8R同等	1	か所			
小計						
(家具)						
コンパ ^レ キッチン台	実習室 L=1800 コンパ ^レ 吊戸棚一式	4	台			
流し台	給湯室 L=1200 吊戸棚一式	1	台			
①食器棚	1800×500/600×2650	2	ヶ所			
②掃除用具入れ	600×600×2650	1	ヶ所			
③収納ボックス	1940×400×1500	1	ヶ所			
④下足入れ	1800×400×870	1	ヶ所			
⑤ベンチ	2670×500×500	2	ヶ所			
⑥試食台	1800×900×800	5	ヶ所			
⑦作業台	1700×600×800	1	ヶ所			
⑧流し台	850×600×800	1	ヶ所			
⑨陳列ケース	1800×450×920	3	ヶ所			
⑩-d座布団収納棚	640×620×1820	1	ヶ所			
⑩-aベンチ	300×900×300	3	ヶ所			
⑩-b絵本棚	900×300×600	1	ヶ所			
⑩-c収納棚	900×320×600	1	ヶ所			
⑩-dフロアマット	600×600×50	6	ヶ所			
DT-13行事予定表	1800W×1200H	1	ヶ所			

交流館棟		エント及びその他		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
カウンター	カ ^ハ 集成材 t 36 ボ ^ル SUS32φ L=700	1	か所			
面台	ボ ^ス フォーム t 20	13.7	m			
小計						
(その他)						
バ ^ト ン受け	70 x 84	3	か所			
バ ^ト ンパ ^イ プ	SUS25φ x 4000	1	か所			
掃除具入れフック	SUS	3	か所			
棚	掃除用具入れ ボ ^ス フォーム200 x 700同等	1	か所			
消火器ボ ^ク ス	埋込型	2	か所			
消火器ボ ^ク ス	半埋込型	1	か所			
消火器用フック	SUS	1	個			
消火器	ABC10型	4	個			
手摺り点字シール		1	式			
小計						
(サイン)						
サイン	室名札250 x 80杉集成材クリ ^ア 塗装 平付	9	か所			
サイン	室名札200 x 200杉集成材クリ ^ア 塗装 平付	4	か所			
サイン	室名札200 x 200杉集成材クリ ^ア 塗装 突出	1				
小計						
計						

交流館棟		発生材処理		運搬		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬	残土 ダンプトラック 10t積	28.3	m3			
建設発生材運搬	木材類 ダンプトラック 10t積	1.6	m3			
建設発生材運搬	廃石こうボード ダンプトラック 10t積	1.4	t			
建設発生材運搬	鉄くず(スクラップ)	0.6	t			
計						

交流館棟		発生材処理			処理	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材処分	残土 ダンプトラック 10t積	28.3	m ³			
建設発生材処分	木材類	1.6	m ³			
建設発生材処分	廃石こうボード類	1.4	t			
計						

屋外施設等		交流館附属倉庫					
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
プレハブ物置	物置 エルモ LMD-5122HW同等	1	棟				
計							

屋外施設等		歩道切下げ				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
乗り入れ用ブロック		4.2	m			
屋外配管埋設	硬質塩化ビニル管 Φ150	7.2	m			
アスファルト舗装	A-5-15 密粒 クラッシュラン 500㎡未満	7.2	㎡			
アスファルト舗装撤去		0.2	m ³			
カッター入れ		14.5	m			
計						

屋外施設等		屋外排水				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 (フレキャスト)	FV側溝 300×700 グレーチング蓋 T-20 細目	28	m			
屋外配管埋設	硬質塩化ビニル管 Φ100	75.2	m			
屋外配管埋設	硬質塩化ビニル管 Φ125	57.6	m			
屋外配管埋設	硬質塩化ビニル管 Φ150	53.2	m			
雨水樹	RC1 グレーチング蓋 T-20 細目	6	か所			
雨水樹	RC2 グレーチング蓋 T-20 細目	7	か所			
雨水樹	RC3 グレーチング蓋 T-20 細目	6	か所			
計						

屋外施設等		その他				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(擁壁)						
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	70.2	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	38.7	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
砂利地業	再生クラッシュ	6.6	m ³			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.5	t			
鉄筋加工組立	RC7- ノ 構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	1.1	t			
スクラップ 控除	H2	▲0.1	t			
鉄筋運搬費	10 t 車 30km程度	1.1	t			
普通コンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm 捨てコンクリート	1.3	m ³			
普通コンクリート	JIS A5308 Fc=21N/mm ² S=15cm 基礎部	13.8	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0022
笠木天端コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 幅300	66.2	m			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	5.6	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	106	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	112	m ²			
小計						
(構内舗装)						
すきとり	積み込み共 H300程度	23.3	m ³			

屋外施設等		その他				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土(B種)	発生土	12.4	m ³			
コンクリート舗装	車道C-15-15(溶接金網共) 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生クラッシュラン	54.2	m ²			
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン 500mm未満	167	m ²			
舗装機械運搬		1	式			別紙 00-0023
縁石	9-11-7,9 再生クラッシュラン	17.2	m			
小計						
計						

屋外施設等		解体				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(自転車置場)						
土間コンクリート解体	RC造 大型ブレーカ、圧砕機併用 集積共	1.5	m ³			
鉄筋切断	集積共	1.5	m ³			
碎石解体	大型ブレーカ、圧砕機併用 集積共	0.7	m ³			
鉄骨上屋解体	S造 鉄骨カッター主体 集積共	6.7	m ²			
(倉庫)						
基礎コンクリート解体	RC造 大型ブレーカ、圧砕機併用 集積共	4.3	m ³			
CB解体	CB造 地上からの解体 圧砕機主体 集積共	4.5	m ³			
鉄筋切断	集積共	4.3	m ³			
碎石解体	大型ブレーカ、圧砕機併用 集積共	2.3	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
内部造作材撤去		6.4	延m ²			
(歩道切下げ)						
境界ブロック撤去		4.2	m			
(工作物)						
土間コンクリート解体	RC造 大型ブレーカ、圧砕機併用 集積共	3	m ³			
鉄骨上屋解体	S造 鉄骨カッター主体 集積共	38.4	m ²			
排水溝撤去	PC150	125	m			
境界ブロック撤去		87.1	m			
コンクリート平板撤去	300 x 300 x 60	93.5	m ²			

屋外施設等		解体				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキング撤去	t 60	22.1	m ²			
レンガ撤去	210 x 100 x 60	4	m ²			
フェンス撤去	H2.0	99.7	m			
フェンス撤去	H3.0	34.2	m			
フェンス撤去	H1.2	13.6	m			
グレーチング撤去	150	125	m			
ネット支柱撤去		4	か所			
ベンチ撤去	L1800	6	か所			
ゴミステーション移設	1.5 x 0.85	1	か所			
石碑移設		2	か所			
(樹木)						
低木撤去	2.0m 伐根共	15	本			
中低木撤去	伐根共	48	m ²			
高木撤去	5.0m 伐根共	6	本			
高木撤去	12.0m 伐根共	11	本			
埋戻し(A種)	- 山砂の類	13.6	m ³			
整地		1	式			
計						

屋外施設等		発生材処理			運搬	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設発生材運搬	無筋コンクリート アスファルト ダンプトラック 10t積	21.5	m3			
建設発生材運搬	がれき類 ダンプトラック 10t積	6.6	t			
建設発生材運搬	鉄くず(スクラップ)	0.1	t			
建設発生材運搬	木材類 ダンプトラック 10t積	5.8	m3			
建設発生材運搬	残土 ダンプトラック 10t積	40.3	m3			
建設発生材運搬	柱状改良残土 ダンプトラック 10t積	45	m3			
計						

屋外施設等		発生材処理			処分	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材処分	コンクリート アスファルト	21.5	m ³			
建設発生材処分	がれき類	6.6	t			
建設発生材処分	木材類	5.8	m ³			
建設発生材処分	残土 ダンプトラック 10t積	40.3	m ³			
建設発生材処分	柱状改良残土	45	m ³			
スクラップ 控除	H2	▲4.8	t			
計						

交流館棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0014
遣方	一般	640	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0015
墨出し	一般 -	640	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0016
養生	一般 -	640	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0017
整理清掃 後片付け	一般 -	640	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0018
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 共用90日賃料 修理費 基本料含む 12m未満	957	m ²			
安全手すり	枠組本足場用(手すり先行方式) 供用日数90日	151	m			
計						

交流館棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0019
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 掛払い手間 60日賃料 基本料 修理費含む	594	m ²			
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 平家用 掛払い手間 60日賃料 基本料 修理費含む	46.1	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0020
養生シート張り	防災I類 掛払い手間 90日賃料 基本料 修理費含む	957	m ²			
水平ネット(建方用)		656	m ²			
親網設置		1	ネット			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0021
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	957	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	151	m			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	46.1	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		957	m ²			
計						

交流館棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墜落制止用器具 胴ヘルト型・フルハーネス 型・ランヤード		1	式			別紙 00-0024
墜落制止用器具 胴ヘルト型・フルハーネス 型・ランヤード	墜落制止用器具費月額損料（差額分） ×月数区分 月数区分 12か月まで	1	式			
計						

交流館棟		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0012
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ 打設 30m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	16.5	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ 打設 100m3/回以上 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	187	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ 打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	6	m3			
計						
コンクリートポンプ 圧送 基本料金		1	式			別紙 00-0013
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	100m3/回以上	3	回			
コンクリートポンプ 圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	210	m3			
計						
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0010
構造体強度補正	補正值6N/mm2	193	m3			
計						

交流館棟		木工		構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
横架材		1	式			別紙 00-0001
土台	桧KD E90 120×120 L=4000	27	本			
土台	桧KD E90 120×120 L=3000	25	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×300 L=6000 3面現し	3	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×270 L=4000 3面現し	18	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×240 L=5000 3面現し	3	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×210 L=4000 3面現し	6	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×210 L=3000 3面現し	12	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×360 L=6000 3面現し	2	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×300 L=7000 3面現し	2	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×300 L=6000 3面現し	12	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×300 L=5000 3面現し	1	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×300 L=4000 3面現し	5	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×270 L=5000 3面現し	5	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×270 L=4000 3面現し	2	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×240 L=4000 3面現し	3	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×240 L=3000 3面現し	2	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×210 L=5000 3面現し	1	本			
桁・梁	ハイブリッドE120 120×210 L=4000 3面現し	3	本			
桁・梁	ドライビームAE110 120×180 L=6000 特一等	5	本			

交流館棟		木工		構造		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
横架材		1	式			別紙 00-0001
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×180 L=5000 特一等	10	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×180 L=4000 特一等	18	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×180 L=3000 特一等	21	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=4000 特一等	19	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=3000 特一等	21	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×120 L=5000 特一等	1	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×120 L=4000 特一等	8	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×120 L=3000 特一等	6	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 105×105 L=5000 特一等	9	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 105×105 L=4000 特一等	5	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 105×105 L=3000 特一等	12	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×180 L=5000 3面現し	1	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×180 L=4000 3面現し	5	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=4000 3面現し	2	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=3000 3面現し	7	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×120 L=5000 3面現し	4	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 90×90 L=5000 3面現し	2	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=4000 4面現し	5	本			
桁・梁	トブラヒビ-AE110 120×150 L=3000 4面現し	1	本			

交流館棟		木工		構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
横架材		1	式			別紙 00-0001
桁・梁	トラス材-AE110 120×120 L=4000 4面現し	5	本			
桁・梁	トラス材-AE110 120×120 L=3000 4面現し	11	本			
登梁	ハイブリッドE120 120×240 L=5000 3面現し	2	本			
登梁	ハイブリッドE120 120×240 L=3000 3面現し	2	本			
登梁	ハイブリッドE120 120×240 L=5000 3面現し	27	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=6000 特一等	16	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=5000 特一等	14	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=4000 特一等	4	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=3000 特一等	5	本			
登梁	トラス材-AE110 120×150 L=4000 特一等	3	本			
登梁	トラス材-AE110 120×150 L=3000 特一等	14	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=5000 3面現し	11	本			
登梁	トラス材-AE110 120×180 L=3000 3面現し	6	本			
母屋	ハイブリッドE120 120×300 L=5000	2	本			
母屋	ハイブリッドE120 120×270 L=6000 3面現し	1	本			
母屋	ハイブリッドE120 120×270 L=3000 3面現し	1	本			
母屋	トラス材-AE110 120×180 L=6000 特一等	1	本			
母屋	トラス材-AE110 120×180 L=5000 特一等	4	本			
母屋	トラス材-AE110 120×180 L=4000 特一等	5	本			

交流館棟		木工		構造		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
横架材		1	式			別紙 00-0001
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×180 L=3000 特一等	1	本			
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×120 L=6000 特一等	1	本			
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×120 L=4000 特一等	81	本			
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×120 L=3000 特一等	103	本			
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×120 L=4000 4面現し	9	本			
母屋	トブラ化 ^レ -AE110 120×120 L=3000 4面現し	6	本			
1F火打梁	桧KD 90×90 L=1000 4面現し	20	本			
1F火打梁	桧KD E90 90×90 L=1000 4面現し	172	本			
計						
柱・束材		1	式			別紙 00-0002
管柱	桧KD E90 120×120 L=6000	2	本			
管柱	桧KD E90 120×120 L=4000	133	本			
管柱	桧KD E90 120×120 L=3000	27	本			
ホーチ柱	桧KD 120×120 L=3000 4面現し	10	本			
小屋束	桧KD 120×120 L=3000 4面現し	8	本			
小屋束	桧KD E90 120×120 L=3000	58	本			
計						

交流館棟		木工		構造		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
端柄材		1	式			別紙 00-0003
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 45×75 L=4000	500	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 45×75 L=3000	180	本			
1 F垂木	杉KD 90×90 L=4000	10	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 90×90 L=3000	26	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 60×90 L=4000	160	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 60×90 L=3000	4	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 45×90 L=4000	273	本			
1 F垂木	杉KD 材のみ搬入 45×90 L=3000	200	本			
1 F間柱	杉KD 材のみ搬入 120×30 L=4000	150	本			
1 F間柱	杉KD 材のみ搬入 120×30 L=3000	80	本			
1 F間柱	杉KD 120×30 L=4000	130	本			
1 F間柱	杉KD 材のみ搬入 120×30 L=3000	33	本			
2 F間柱	杉KD 120×30 L=4000	15	本			
2 F間柱	杉KD 材のみ搬入 120×30 L=3000	81	本			
1 F筋違	桧KD 45×90 L=4000	37	本			
1 F筋違	桧KD 45×90 L=3000	6	本			
1 F筋違	桧KD 材のみ搬入 30×90 L=4000	24	本			
窓台	杉KD 材のみ搬入 120×45 L=4000	4	本			
窓台	杉KD 材のみ搬入 120×45 L=3000	60	本			

交流館棟		木工			構造	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
端柄材		1	式			別紙 00-0003
計						
基本加工費		1	式			別紙 00-0004
基本加工料		162	坪			
ホーチ		20.7	坪			
端柄	窓台・まぐさ	45	本			
端柄	筋違	67	本			
端柄	垂木	162	坪			
端柄	間柱	162	坪			
合板	野地	580	枚			
計						

交流館棟		木工		構造		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別途加工費		1	式			別紙 00-0005
運賃		210	坪			
ケラハ [°] 垂木		52	本			
垂木欠き		597	ヶ所			
長尺梁	2~6m	77	本			
長尺梁	7m	2	本			
金具取付		113	ヶ所			
トラス		10	組			
合掌下端加工		11	ヶ所			
柱脚金物仕口		36	ヶ所			
梁勾配カット		36	ヶ所			
柱モルタル	3m	10	本			
柱紙巻	3m	10	本			
化粧梁	印字消・超仕上げ	464	m			
化粧梁紙巻		464	m			
化粧束・火打 [°] プレー [°] 仕上げ		42	本			
化粧束・火打紙巻		42	本			
計						

交流館棟		木工			構造	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建方費		1	式			別紙 00-0011
建方費		162	坪			
計						

屋外施設等		その他				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0022
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ 打設 30m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	1.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 擁壁、囲障の基礎等 S15～S18 - -	13.8	m3			
計						
舗装機械運搬		1	式			別紙 00-0023
舗装機械運搬 (振動ローラ)		1	往復			
舗装機械運搬 (アスファルトフィニッシャー)		1	往復			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	成形鋼板 H=2.0m 供用日数210日	228	m			
ハネゲート	W=6.0 H=1.8	1	か所			
交通誘導員B		5	人日			
ラフleen/leen (油圧伸縮ｼﾌﾞ型)	25t吊り ハネゲート付き 賃料 標準	12	日			
室内空气中化学物 質濃度測定	対象物質5項目 文部科学省学校環境衛生基準	1	式			
計						